

令和7年度
(2025年度)

沖縄県立博物館・美術館
博物館教育普及活動



あなたの沖縄に出会う



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

ごあいさつ

博物館は様々な資料を分かりやすく展示し、多くの人々に見ていただくことを大きな使命としています。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中核施設であることも求められています。

そのような中、当館の教育普及活動は、大きく二つの事業に分け推進してきました。一つ目は、学校連携授業です。学校連携授業では、地域と博物館との連携のモデルをめざし、学校団体支援体制の強化を推進し、その受入の充実を図りました。また「出前授業等」では、学芸員と教職員、教育に関わる方々が連携した授業を、小学校・中学校・高等学校、さらには学校以外の多様な学びの場で実施することができました。

二つ目は博物館が広く県民へサービスを提供する事業です。まずはボランティア養成講座を行いました。県民がボランティアとして参加することで、学芸員だけでなく幅広い方々に博物館活動へ関わってもらえることが出来ます。

令和7年度の文化講座は、「ゲノムから見た沖縄の人類史」を皮切りに全12回実施しました。その他にも、学芸員講座を12回、常設展示解説会とバックヤードツアーをそれぞれ12回実施し、中には定員を超えた講座もあり大変好評でした。7月には「夏休み!こどもフェスタ」も実施し、学芸員による子ども向けのイベントを全8教室開催しました。1月には恩納村博物館で22日間にわたって移動展を開催し、ジオツアーをはじめ8つのワークショップでイベントを盛り上げました。

展覧会関連については、特別展「沖縄戦後80年 戦災文化財」と企画展「いのちのカタチ展」を開催しました。特別展「沖縄戦後80年 戦災文化財」は9月末から11月末まで開催し、沖縄戦で被害を受けた文化財を通じて戦争の傷ましさを知り平和の重要性を考えるとともに、先人が築いた沖縄独自の文化財を取り戻してきた軌跡を紹介しました。企画展「いのちのカタチ展」は12月より始まり、沖縄県立博物館・美術館が所蔵する約50,000点の生物標本の中から、厳選した標本を展示しました。それぞれ関連催事として、展示解説会や文化講座、学芸員講座、お笑い公演、体験学習教室、バックヤードツアーなどを行いました。

最後に令和7年度の博物館教育普及事業の実施にあたり、ご講演、ご指導いただきました講師の方々をはじめ、ご協力いただきました博物館ボランティアの皆様、ならびに関係者各位に厚くお礼を申し上げます。

令和8年3月

沖縄県立博物館・美術館
館長 里井 洋一

博物館教育普及活動

目次

ごあいさつ

I 博物館活動について……………1

- 1 はじめに
- 2 博物館活動（四つの車輪）
資料収集/保存管理・調査活動・展示活動・教育普及活動
- 3 博物館の機能
- 4 博物館の施設
- 5 令和7年度博物館教育普及活動について

II 学校連携……………8

- 1 学校団体受入要項
- 2 「民具体験学習」の概要
- 3 「民具体験学習」の実施状況
- 4 「来館学習プログラム」の概要
- 5 「来館学習プログラム」の実施状況
- 6 「出前授業等」の実施要項
- 7 「出前授業等」の実施状況

III 博物館体験学習教室……………21

- 1 体験学習教室の実施要項
- 2 体験学習教室の実施状況

IV 博物館文化講座……………24

- 1 文化講座の実施要項
- 2 文化講座の実施状況

V 博物館学芸員講座……………30

- 1 学芸員講座の実施要項
- 2 学芸員講座の実施状況

VI 博物館常設展展示解説会……………36

- 1 展示解説会の実施要項
- 2 展示解説会の実施状況

VII バックヤードツアー……………37

- 1 バックヤードツアーの実施要項
- 2 バックヤードツアーの実施状況

VIII 夏休み！こどもフェスタ 2025……………38

- 1 夏休み！こどもフェスタの実施要項
- 2 夏休み！こどもフェスタ

IX ふれあい体験室……………41

- 1 ふれあい体験室の概要
- 2 体験キットの種類
- 3 ふれあい体験室の運営状況
- 4 ふれあい体験室の取組み

X ボランティア養成事業……………47

- 1 目的
- 2 ボランティアの活動内容
＜別紙資料＞ ボランティア募集要項
＜別紙資料＞ 令和7年度（2025）
ボランティア通信
＜別紙資料＞ ボランティア活動一覧表

XI その他……………78

- 1 移動展
- 2 職場体験
- 3 教育普及資料の活用
- 4 ボランティアによる展示ガイド
- 5 特別展・企画展関連事業
- 6 常設展に関する取組み
- 7 新聞・雑誌等掲載一覧
- 8 印刷物一覧

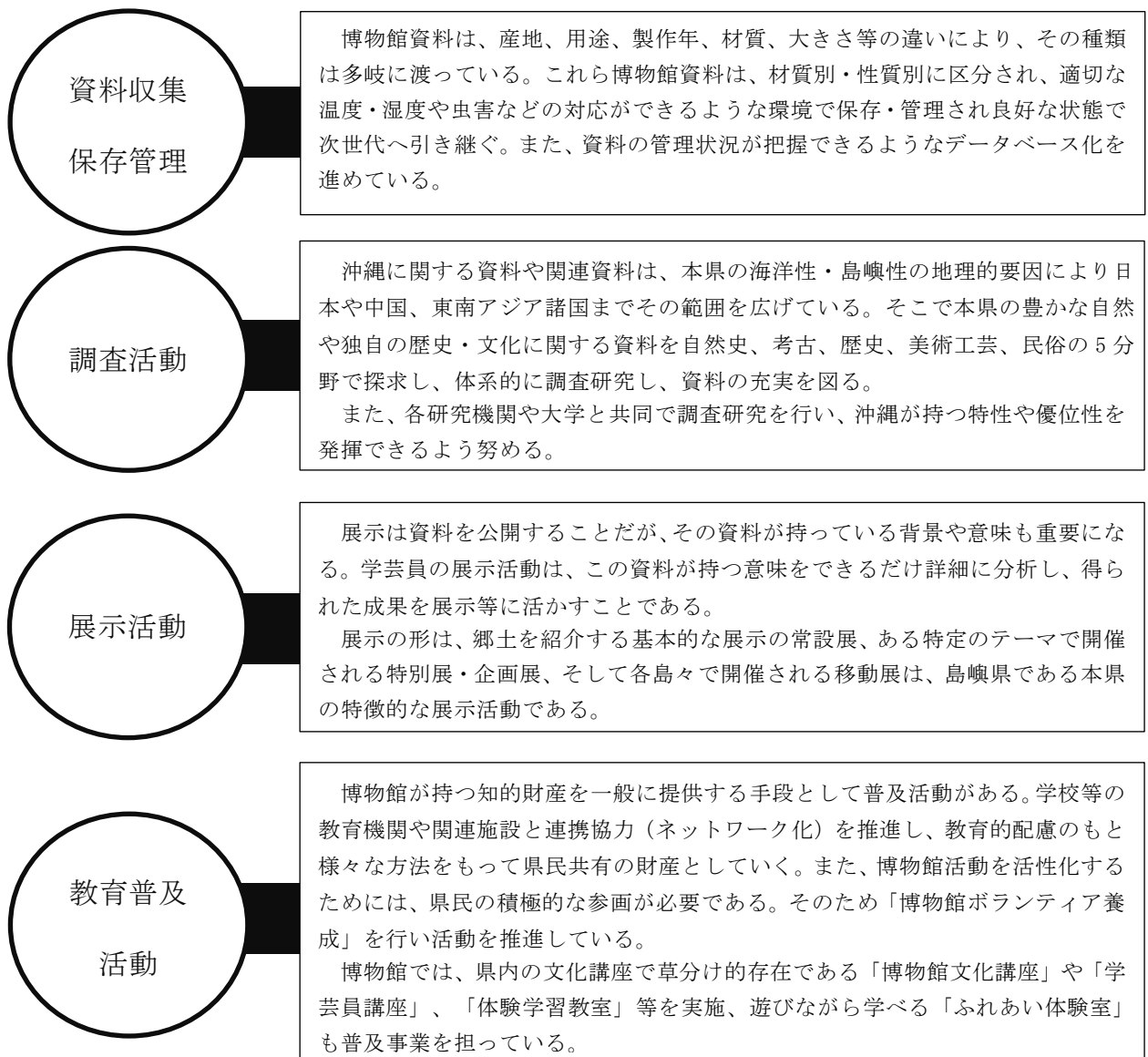
I 博物館活動について

1 はじめに

博物館は、資料収集・保存管理、調査、展示、教育普及の四つを活動の車輪としている。それら車輪を機能させるために下記（１）～（４）に基づいた活動を構築している。

- （１）琉球王国時代の文化(王朝文化)を体系化し、現在につなげる視点からの活動。
- （２）人類学をはじめ、沖縄の特性を生かし、沖縄の優位性を発信する調査研究活動。
- （３）沖縄の自然、歴史、文化の独自性を発信する活動。
- （４）博物館が動き、観覧者が動く博物館活動の展開。

2 博物館活動（四つの車輪）



3 博物館の機能

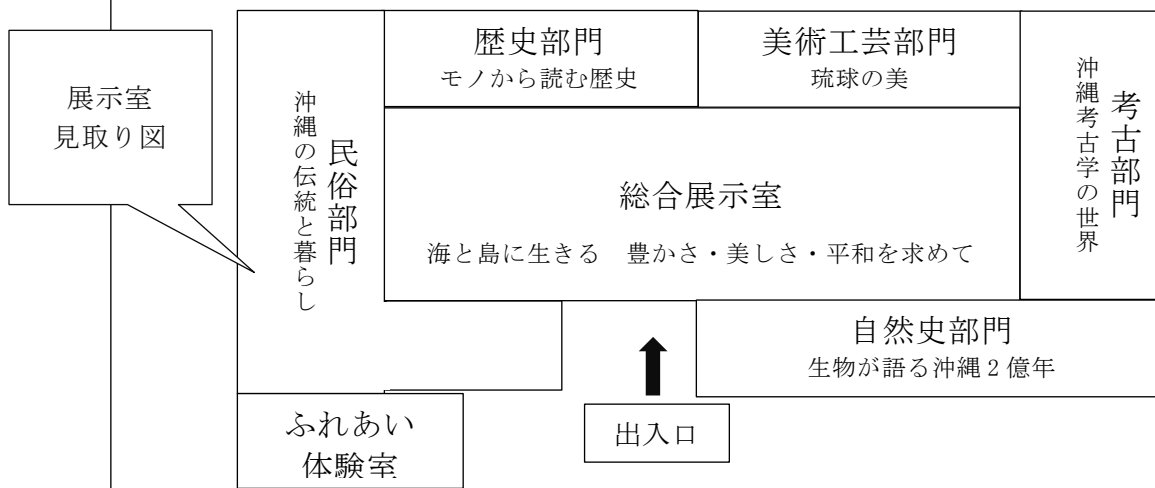
博物館は、様々な資料を収蔵している施設である。資料は収蔵されるだけでなく、できるだけ長くきれいな状態を維持するために整理・保存していく。しかし、保管しているだけではなく、調査研究により、いつ・誰が・どこで・何のために作ったかを解明し、来館者へ紹介していく。資料は、展示や講座、論文、インターネットなど、いろいろな媒体を通して県民の知的財産として蓄積されていく。いつでも誰でもが利用できるようにするために、博物館にはいろいろな機能がある。

資料を保存する収蔵庫

博物館には、自然史・化石・特別（歴史・美工・民俗）・考古陶磁器・民俗・大型収蔵庫が設置され、それぞれの収蔵庫で、温度や湿度そして害虫などから資料を保護する。

資料を公開する展示室

博物館には、総合展示室・部門展示室・屋外展示・ふれあい体験室が配され、常設の展示を行っており、特別・企画展示室では、期間を限定して沖縄をはじめ、国内外の自然・歴史・文化に関する展覧会が開催される。



学習する場としての展示室・講座室

博物館は、「沖縄」について知り、そして将来の沖縄像を考える場所である。郷土学習に利用できる資料が分かりやすく展示されている。また講演や体験を通して学習を行う講座室等がある。

資料を研究する学芸員研究室

博物館資料に関するあらゆる調査・研究は、学芸員研究室を中心に行われる。8分野の学芸員が各々または共同で、様々なテーマに取り組む。ここで蓄積された研究成果は、研究資料室や情報センターに保管され、展覧会や講演会などで公開される。また、博物館紀要論文はホームページで公開される。

博物館施設を管理する諸室

博物館の電気、空調施設などを管理するための機械室や、館を運営している職員が事務を行うための部屋がある。

4 博物館の施設

(1) 常設展示

「常設展示」のメインテーマは、「海と島に生きる～豊かさ、美しさ、平和を求めて～」である。

沖縄は、立地・環境的に「海洋性」と「島嶼性」という特性を持ち、そこに住む人々は絶えず「豊かさ」と「平和」を求め続けてきた歴史がある。その風土、自然のなかで育んできた歴史、文化を人類史・自然史の流れの中に位置付け、普遍的に海と島に生きていくことをメインテーマとしている。

その展示構成は、沖縄の歴史を時間で追いながら自由動線で観覧することのできる「総合展示」と、自然史・考古・美術工芸・歴史・民俗の5つの「部門展示」に分かれている。

< 総合展示 >

展示テーマ

- ・「ニライカナイの彼方から」
- ・「シマの自然と暮らし」
- ・「海で結ばれた人々」
- ・「貝塚のムラから琉球王国へ」
- ・「王国の繁栄」
- ・「薩摩侵攻と琉球王国」
- ・「王国の衰亡」
- ・「沖縄の近代」
- ・「戦後の沖縄」
- ・「沖縄の今、そして未来へ」

「総合展示」は、上記の10のテーマで、琉球列島の生い立ちから現代までの約2億年にわたる沖縄の歴史をたどる。中国や日本の文化を取り入れながら、独特の文化を創造してきた琉球王国の時代、王国解体後の近代化する沖縄、現在の沖縄までを紹介する。

中央に配した「シマの自然と暮らし」のエリアでは、沖縄の「海洋性」・「島嶼性」を大型地形模型によって実感することができる。また、情報端末機で島ごとに異なる表情を持った自然や暮らしなどを調べることができる。

< 部門展示 >

「部門展示」は、総合展示を取り巻く展示である。自然史・考古・美術工芸・歴史・民俗の5つの部門展示室では、収蔵資料を活用しながら、各分野のテーマをより深め、展示替えの頻度を高める展示を目指す。

自然史部門展示

「生物が語る沖縄2億年」をテーマに島の成り立ちや、島々で独特の進化をとげた生き物の世界を展示する。自然観察コーナーでは、顕微鏡で化石や昆虫、岩石の破片、植物標本などを見ることができる。

考古部門展示

「沖縄考古学の世界」と題し、沖縄考古学のこれまでの成果と課題を示しながら、「沖縄考古学」を体系的に学び、古代の人々の生活を追体験することができる。

美術工芸部門展示

「琉球の美」をテーマに、1年に3回展示替えを行い、琉球王国時代の美術工芸品を紹介する。染織品、やきもの、漆芸品、絵画、彫刻、書跡などの資料をじっくり鑑賞することができる。

歴史部門展示

「モノから読む沖縄の歴史」とし、歴史の中で産出された様々な「モノ」資料を通して、その資料のもつ時代的な意味を解き明かしていく。年数回展示替えをしつつ「那覇港」をテーマにした展示では、近世に制作された屏風絵を軸に、そこで暮らした人々の息づかい、ひいては歴史的、文化的意味を紐解いている。

民俗部門展示

民俗部門展示のテーマは「沖縄の伝統と暮らし」である。民俗の宝庫といわれる沖縄の様々な生活シーンの中で創造されてきた民具や信仰などを通して、戦前から伝わる沖縄の民俗世界を追体験することができる。また、現代に息づく民俗の変容した姿を紹介する。

(2) 屋外展示

高倉	高倉は、穀物を貯蔵する倉庫である。床を上げて風通しを良くし、湿気やネズミの害を防ぐ工夫がなされている。構造の違いにより、「沖縄式」と「奄美式」に分かれる。この高倉は、昭和初期に建てられたものを、昭和 51 年（1976）に奄美から移築した。
民家	沖縄の伝統的な民家は、高温多湿の気候風土に適した構造をしている。門扉が無く、母屋も雨戸を全開にして風を通す。また、母屋の正面にあるヒンプン（屏風）は、外部への目隠しとなる。この建物は、資料としてのみならず、講座や多種イベントの際にも会場の一部として活用されており、開館中は靴を脱いでの内覧も可能となっている。
湧田窯	湧田窯は 17 世紀頃の窯跡で、平窯の構造が特徴である。主に、屋根瓦を焼いた窯である。琉球・沖縄の焼き物の歴史を考える上で貴重な資料である。
屋外鐘楼 (旧大聖禅寺鐘)	屋外に設置された梵鐘は、沖縄県内で最も古いものの一つで、景泰七（1456）年に製作されたものである。本梵鐘は、沖縄戦の混乱の中、アメリカへ渡ったもので、琉米歴史研究会の活動によって、沖縄へ返還された。古琉球の歴史・文化を考える上で重要な資料である。

(3) ふれあい体験室

博物館常設展示室の手前にある「ふれあい体験室」には、37 種類の体験キットが準備されている。これらは展示と関連しており、展示資料を深く理解できるように工夫されている。キットは、パズルのように組み立てるものなど、操作することによって、より理解が深まる仕組みとなっており、体験することで五感を通して沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」にふれることができる。

（詳細については「IX ふれあい体験室」を参照）

(4) 情報センター

情報センターは博物館・美術館の共用施設として、閲覧・検索用の座席を 38 席設けた情報提供のための部屋である。博物館の収蔵資料の検索や、DVD やビデオの視聴ができる。また、沖縄の自然、歴史、文化、美術等に関する専門図書、地方出版図書も配架され、来館者の調べ学習に対応できる。

(5) 講堂・講座室等

講 堂	講演会、シンポジウム、映画上演などを行うことができる。 212 席(車いす 2 人含む)の収容が可能。
講座室	100 名規模の講演会や会議などを開催できる。
実習室	体験学習や実技講習会などを開催できる。 30 名程度の収容が可能。

(6) 救護室

来館中における、軽度の気分不良の際には、休憩をとることが可能である。（ベッド数 1 台）

(7) 駐車場

一般車両 158 台（身障者用 4 台含）、バス 10 台が駐車可能である。特別支援学校などの大型車両を横付けできるように、庇付きの玄関を用意している。また、盲導犬のトイレを駐車場側と公園側に整備している。

(8) コインロッカー

使用後に 100 円が返金される、無料のコインロッカーを 262 個準備している。大きな荷物を持参する際は、他の観覧者に迷惑にならないよう、手荷物を預けてからの入館となる。

(9) バリアフリー

博物館・美術館は、不特定多数の人々が利用するため、誰でも安全に利用しやすい施設にする必要があることから、以下のような整備を行っている。

- 観覧者が利用するトイレには、車イス使用者や乳児連れ、オストメイトに対応した機能を設けている。
- 講堂や講座室に磁気誘導ループを設置して難聴者をサポートしている。
- 館入口に音声誘導装置を設置して視覚障害者をサポートしている。
- 車イスや使用者駐車スペースには、雨天時の乗降に考慮して雨よけを設置している。
- 道路や公園からの主な敷地通路に誘導ブロックを設け、総合案内まで連続して敷設している。
- 高齢者や体の弱い人がゆっくり観賞できるように、展示室内に休憩室や椅子を準備している。
- 案内表示は日本語と英語の 2ヶ国語表示としている。

(10) 環境への配慮

■雨水及び再生水の有効利用

地下に雨水タンクを設けて、トイレ洗浄水や灌水に利用している。

■夜間電力を利用した氷蓄熱方式空調設備の導入

夜間の安価な電力で作った氷を館内の冷房に利用することにより割高な昼間電力の増加を抑えている。

■総合的有害生物管理（IPM：Integrated Pest Management）施設

博物館・美術館では、有害生物（虫・菌等）から文化財を保護するために IPM を行っている。IPM は、施設を取り巻く環境状況や有害生物の繁殖などの動きを考慮して、生物的防除、科学的・物理的防除を組み合わせることで、虫菌害を抑える管理方法である。

博物館の利用に際して、館内への飲み物、食べ物の持ち込みを禁止している。遠足等の行事の際にも、荷物を車で管理する等の配慮、ご協力をお願いしている。

5 令和7年度博物館教育普及活動について

博物館の教育普及活動は、大きく2つの事業に分けることができる。1つ目は、学校の計画する授業・行事等で博物館を活用する際に支援する「学校連携事業」である。2つ目は、博物館が企画運営する「文化講座」等の各種講座、「常設展展示解説」等の各種解説会、「体験学習教室」、「ボランティア養成」等の事業である。

(1) 学校連携事業

学校連携事業では、各学校の計画による団体観覧の支援で、教育課程の一環として博物館を利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携し実践する学習プログラムを作成した。また、コロナやインフルエンザの流行に気を抜けない現状において、感染症対策を行いながら、学校連携事業に取り組んだ。

〈今年度の取り組み〉

令和3年度(2021)から実施している「学校連携事業」において、民具体験、出前授業、来館学習などの館内学習プログラムの充実を図るほか、離島地域における出前授業を推進した。

(2) 文化講座

文化講座では、博物館の展示内容と関連する各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の講演を行った。県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施した。

(3) 学芸員講座

学芸員講座では、博物館の学芸員が、研究成果や収蔵品の紹介等の講演・展示解説などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施した。各分野の学芸員の充実した講話は、博物館をより身近に捉え、観覧者の層を拡大する大切な役割を担った。

(4) 展示解説会

展示解説会では、学芸員が博物館の展示内容に関する資料などの解説を、学芸員の広い視点からわかりやすく解説した。当館における展示資料がどのようなねらいのもと、それぞれの展示室に設置されているかを理解し、参加者が総合博物館ならではの資料のつながりを知る機会とした。また、人数制限を行い実施した。

(5) 体験学習教室

体験学習教室は沖縄の自然や歴史、文化に関わる体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵などを学ぶ機会である。博物館の各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の展示や企画展等に関連した内容を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供した。また、募集人数を少なく設定し実施した。

(6) バックヤードツアー

博物館に備えられている、調査・研究・保存の各機能を担う諸室の見学を実施した。普段は、入ることのできない収蔵庫やトラックヤードなどの機能を理解し、博物館についてより知ってもらう機会とした。

(7) 夏休み！子どもフェスタ 2025

学芸員が、夏休み中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究の導入のとなる内容を検討し、体験型の教室を開催した。可能な限り博物館の情報を提供するなど郷土への興味・関心を高める場を提供した。

(8) ボランティア養成講座

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、また当施設のふれあい体験室での来館者サービスをサポートする人員として活動している。現在総勢 63 名の博物館ボランティアが登録している。また、資料整理ボランティアは 34 名が登録している。

令和 7 年度は総合展示ガイドボランティア養成講座を行い新規に 7 名の博物館ボランティアが登録した。

(9) その他

①移動展

普段、当館に足を運ぶことができない離島や遠隔地の方々に、移動展の展示を見てもらうことによって、沖縄県の自然、歴史、文化の広域普及を図り、博物館資料や美術作品を観賞する機会を提供した。今年度は、恩納村で開催した。

②教育普及資料貸出

今年度は、教育機関へ 4 件を貸し出した。

II 学校連携

1 学校団体受入要項

(博物館施設の学校団体見学・体験学習・校内研修等の利用について)

(1) ねらい

- ①博物館への学校団体をはじめとする入館者の増加を図る。
- ②博物館における団体受入を計画的に準備し、運営を行う。
- ③博物館を利用する学校団体に、博物館来館を年間計画の中に位置づけてもらうことにより、計画的な学習支援を行う。

(2) 博物館施設利用の申請から実施までの流れ【県内(小・中・高・特支)学校向け】

【児童・生徒向け】申請から実施までの流れなど

①館内の自由見学(見学サポート有り): 申請(様式2) → 相談・打合せ等 → 実施
※博物館は少人数グループ(20名以下)対象

②館内の自由見学(見学サポート無し): 申請(様式2) → 来館

③民具体験(ボランティアサポート有り): 申請(様式4-①) → 下見・打合せ → 実施
※15校程度受入予定(申請期限6月30日、申請多数の場合、抽選後に結果連絡)
受入可能期日については別添資料をご参照ください。

④民具体験(ボランティアサポート無し): 申請(様式4-②) → 下見・打合せ → 実施

⑤夏季課題学習(主に高校)

⑥キャリア教育プログラム(職場見学、職場体験、インターンシップなど)

⑦出前授業、教育普及資料(民具、体験キット、アートカード等)の貸出 など

【学校職員向け】

⑧校内研修、自主研修、中堅研等教職員研修

⑨教員向け講座(8月第1週に開催)

⑩ボランティアによる展示室解説ガイド

※申込み及び詳細については、以下の連絡先にお問い合わせください。

※その他のご要望についてもご相談に応じます。

①～④: 情報センター TEL: 098-941-1187 FAX: 098-941-3530

※申請書様式は当館HPよりダウンロード URL: <https://okimu.jp>

⑤⑥⑩: (一財)沖縄美ら島財団 教育普及担当 TEL: 098-941-8200 FAX: 098-941-2392

⑦～⑨: 沖縄県立博物館・美術館 博物館班 TEL: 098-851-5401 FAX: 098-941-3650

美術館班 TEL: 098-851-5402 FAX: 098-941-3730

2 「民具体験学習」の概要

令和7年度の民具体験学習プログラムの詳細

【民具体験学習プログラム】 ボランティアサポートあり

小学校第3学年の社会科及び総合的な学習の時間の授業として、ボランティアによる民具体験を実施した。具体的には、着衣体験など民具の実演や展示室での解説などを行い、ボランティアが児童の学習をサポートした。その際、事前に教職員との下見を行い、当日の運営が円滑にできるよう努めた。

【自主民具体験学習プログラム】 教師主導による授業活用

展示解説マニュアルを活用し、教職員が博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導等を事前に行った。当館は教職員の授業における活用を支援する取り組みを推進した。また下見の際、学校ごとに来館してもらい時間短縮による打合せを実施した。

3 「民具体験学習」の実施状況

項目	学校	期日	見学数
民具体験学習プログラム (ボランティアによる 実演・解説実施) 全6校	那覇市立真嘉比小学校	11月6日(木)	3クラス87人
	豊見城市立上田小学校	11月20日(木)	5クラス151人
	那覇市立小禄小学校	12月5日(金)	2クラス49人
	那覇市立大道小学校	12月11日(木)	1クラス45人
	那覇市立宇栄原小学校	12月17日(水)	3クラス82人
	那覇市立天久小学校	1月28日(水)	3クラス104人
自主民具体験学習プログラム (教師主導による授業活用) 全6校	糸満市立高嶺小学校	11月14日(金)	2クラス45人
	那覇市立銘苺小学校	11月27日(木)	3クラス86人
	糸満市立潮平小学校	12月3日(水)	3クラス87人
	南城市立船越小学校	12月19日(金)	2クラス82人
	西原町立西原小学校	12月25日(木)	3クラス97人
	浦添市立浦城小学校	1月22日(木)	4クラス152人
合計	12校		

【民具体験学習プログラム】

ボランティアによる実演・解説実施の様子

真嘉比小学校の着衣体験の様子。



真嘉比小学校の運搬の道具体験の様子。



真嘉比小学校の洗濯体験の様子。



真嘉比小学校の運搬の道具体験の様子。



上田小学校の集合風景。



上田小学校の着衣の様子。



上田小学校の運搬の道具体験の様子。



上田小学校の運搬の道具体験の様子。



小禄小学校の運搬の道具体験の様子。



小禄小学校の洗濯体験の様子。



小禄小学校の展示室見学の様子。



小禄小学校の展示室見学の様子。



大道小学校の運搬の道具体験の様子。



大道小学校の洗濯体験の様子。



大道小学校の着衣体験の様子。



大道小学校の展示室見学の様子。



天久小学校の着衣体験の様子。



天久小学校の運搬の道具体験の様子。



天久小学校の運搬の道具体験の様子。



天久小学校の展示室見学の様子。



【自主民具体験学習プログラム】教職員による授業活用の様子

高嶺小学校の着衣体験の様子。



高嶺小学校の着衣の道具体験の様子。



高嶺小学校の運搬の道具体験の様子。



高嶺小学校の運搬の道具体験の様子。



銘苺小学校の着衣体験の様子。



銘苺小学校の運搬の道具体験の様子。



銘苺小学校の運搬の道具体験。



銘苺小学校の展示室見学の様子。



潮平小学校の着衣体験の様子。



潮平小学校の運搬の道具体験。



潮平小学校の洗濯体験の様子。



潮平小学校の運搬の道具体験。



西原小学校の展示
室見学の様子。



西原小学校の運搬
の道具体験。



西原小学校の集合
風景。



西原小学校の運搬
の道具体験。



浦城小学校の洗濯
体験の様子。



■ 3クラスの組み合わせ例

令和7年度 民具体験 学習プログラム 〇〇市立 〇〇小学校 3学年

実施日程： 〇〇 月 〇〇 日 (水) 9:00 ~ 11:30
 博物館到着時間： 9:00 博物館出発時間： 11:45 移動手段： 〇〇
 児童数：〇〇〇人 引率教師： 4 名 ヘルパー： 1 名 保護者： 名 (有料・団体1人あたり420円)
 担任 1組：〇〇 〇〇 先生 2組：〇〇 〇〇先生 3組：〇〇 〇〇先生 支援クラス： 先生
 児童数 1組：〇〇名 2組：〇〇名 3組：〇〇名
 その他：各展示室の観覧の際、誘導が必要。

《社会科》
 《ねらい》
 《ポイント》

- 確認事項・・・①ワークシート：有り
 ②持ち物：水筒 ③名札の準備：(クラスごとのカラーテープを学校で配布)
 ※名札について、民具実演見学ローテーションのチームを記載
 ※鉛筆以外の使用不可
 ※水筒は持ち込み不可、博物館が保管カートを3つ用意。入館時は鉛筆と探検バッグのみ。

プログラム タイムスケジュール

	9時					10時										11時													
	9:00	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20
1組	博物館到着	トイレ・チケット受け取り	オリエンテーション	民具 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分					移動	常設2 自然史部門 25分					移動	常設1 民俗部門 30分					移動								
2組				常設1 民俗部門 30分					移動	民具 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分					移動	常設2 自然史部門 25分					移動	まとめ							
3組				常設2 自然史部門 30分					移動	常設1 民俗部門 25分					移動	民具 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分					移動								

民具体験は各クラス4チーム(約8~9人ずつ)に分けて、ローテーションします。※移動時間各1分



円滑な運営のためにも
 下記2点のご協力を
 お願いいたします。
 ~~~~~  
 事前…班分け  
 当日…ガムテープでクラス・  
 グループの表記

| 学習プログラム役割     | 担当者               |
|---------------|-------------------|
| 民具実演解説        | 博物館職員 (博物館ボランティア) |
| 常設展示解説・各クラス誘導 | 各クラスの担任           |
| タイムキーパー       | 博物館職員 (博物館ボランティア) |

■民具配置の例

# 民具体験・配置図

民具体験実施日：○月 ○日 (○)

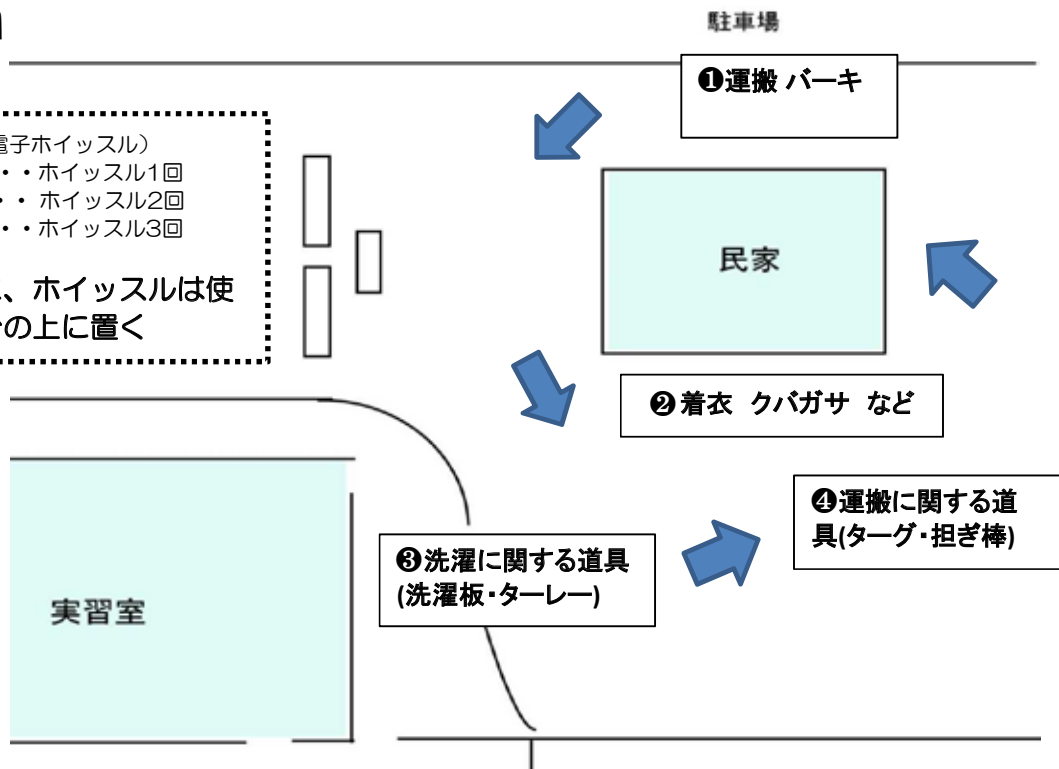
- ・ (○○) 小学校、(3) クラス、児童 (30から32) 名
- ・ 民具体験 (4) 種類 /
- ・ 各コーナー (6) 分+移動1分 合計35分
- ・ 1グループ (7から8) 名

## ■ 晴れの日

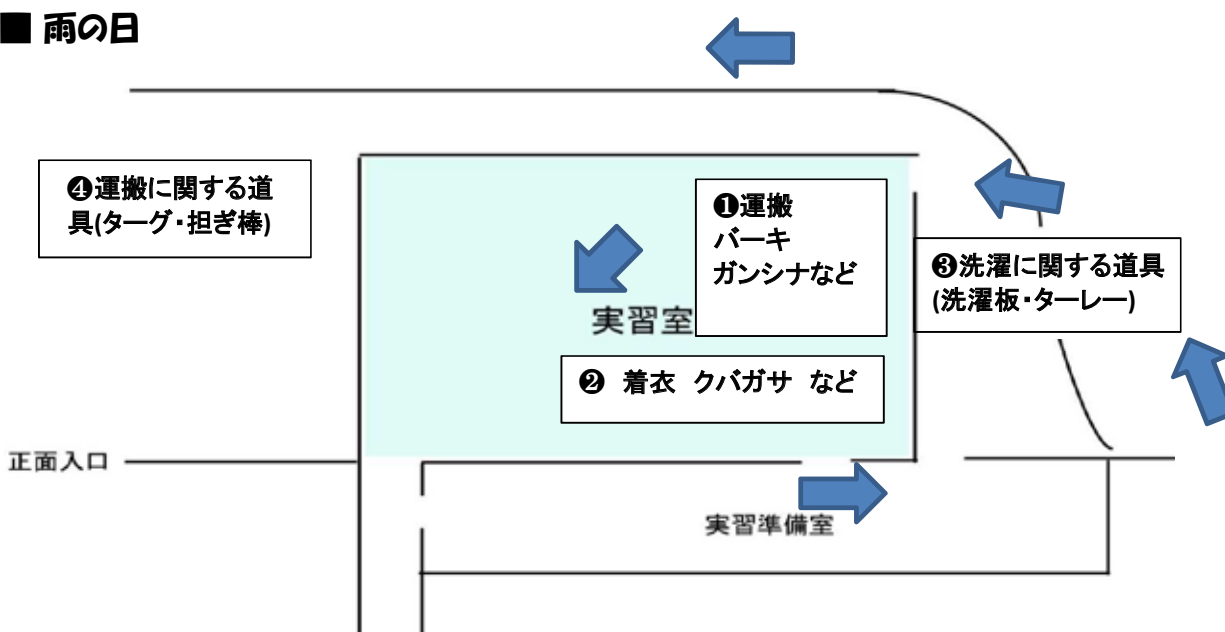
移動の合図 (電子ホイッスル)

- ・ スタート・・・ホイッスル1回
- ・ 2分前・・・ホイッスル2回
- ・ 終了・・・ホイッスル3回

※使用後に、ホイッスルは使  
必ず流し台の上に置く



## ■ 雨の日



\* 2026年3月現在

#### 4 「来館学習プログラム」の概要

##### 令和7年度の来館学習プログラムの詳細

本取組については教育課程の一環として、博物館を学校側が利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設、職員、博物館学芸員の支援体制を考慮して館内で行う来館学習プログラム等を実施した。

#### 5 「来館学習プログラム」の実施状況

|   | 期日        | 担当学芸員                                       | 実施校及び施設         | 人数  |
|---|-----------|---------------------------------------------|-----------------|-----|
| 1 | 4月10日(金)  | 新山 颯大(地質)                                   | 琉球大学理学部地学系地質コース | 11名 |
| 2 | 8月15日(金)  | 玉城 早苗(美術館教育普及)<br>平川 信幸(博物館教育普及)            | 県民カレッジ          | 24名 |
| 3 | 9月18日(木)  | 平川 信幸(教育普及・美術工芸)<br>森下 愛子(民俗)<br>渡辺 みどり(人類) | 那覇市立天久小学校       | 24名 |
| 4 | 11月18日(火) | 宇佐美 賢(地学)                                   | 沖縄県高等学校地学教育研究会  | 15名 |
| 5 | 11月27日(木) | 平川 信幸(教育普及・美術工芸)                            | 沖縄県立泊高等学校       | 20名 |
|   |           |                                             | 合計              | 94名 |

## 6 「出前授業等」の実施要項

\*令和7年度学校連携事業

### (1) 趣旨

博物館の持つ資源(もの、情報、人)を、出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用する。

### (2) 内容

①学校での授業や教員の研修会などに学芸員を講師として派遣する。

②授業では、ティーム・ティーチングの手法により、学芸員は教員と共同し、博物館資料を活用するなどして児童・生徒の学習を支援する。

### (3) 対象

県内公立学校及び私立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)

※クラス単位もしくは学年単位

### (4) 実施時間

1～2時間程度(調整可)

### (5) 実施場所

当該校

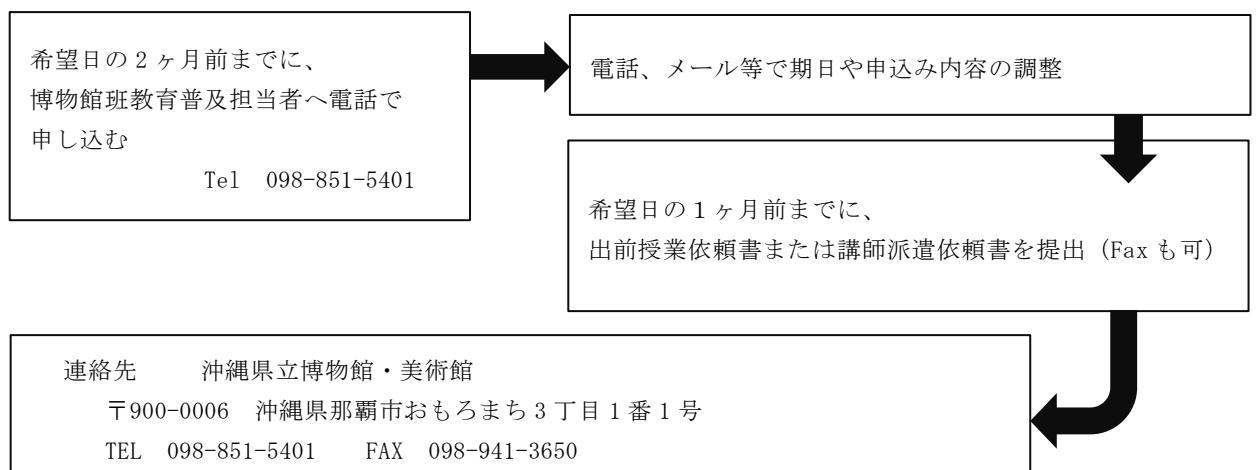
### (6) 申し込み方法

※別紙参照

### (7) その他

各学校から依頼の「出前授業等」に係る学芸員の派遣旅費(交通費)は、沖縄県立博物館・美術館で負担する。

### (8) 出前授業等の申し込み方法と連絡先



○申込み方法

希望日の2ヶ月前までに、  
教育普及担当者へ電話で申し込む      TEL098-851-5401



電話、メール等で期日や申込み内容の調整



希望日の1ヶ月前までに、  
出前授業依頼書または講師派遣依頼書を提出  
(Fax、E-mailも可)

○連絡先

沖縄県立博物館・美術館  
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号  
TEL 098-851-5401      FAX 098-941-3650

教育普及担当

※事業等の関係からご希望の日時に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

(9) 学芸員紹介

|      | 担当分野    |                          | 氏 名                                   |
|------|---------|--------------------------|---------------------------------------|
| 博物館班 | 自然史     | 生物                       | 菊川 章                                  |
|      |         | 地質・地学                    | 新山 颯大<br>宇佐美 賢                        |
|      |         | 人 類                      | 山崎 真治<br>渡辺 みどり                       |
|      | 美術工芸    | 染織・陶器・三線・絵画<br>・書跡・彫刻・漆器 | 伊禮 拓郎<br>景山 千裕(4月～6月)<br>國吉 史乃(7月～3月) |
|      | 歴史      | 古琉球・近世                   | 大城 直也                                 |
|      |         | 近 現 代                    | 崎原 恭子                                 |
|      | 考 古     |                          | 山本 正昭                                 |
|      | 民 俗     |                          | 森下 愛子                                 |
|      | 教 育 普 及 |                          | 平川 信幸                                 |

○沖縄県の自然、歴史、文化をはじめ、上記内容について、学芸員が博物館の持つ資源（もの、情報）を活用し、児童・生徒の学習を支援する。

※校内研修等で博物館活用について、レクチャーする。

※「講師派遣依頼書」は、ホームページでダウンロードして使用可能。

7 「出前授業等」の実施状況

|    | 期日        | 担当学芸員      | 実施校及び施設                      |
|----|-----------|------------|------------------------------|
| 1  | 6月11日(水)  | 崎原 恭子 (歴史) | 沖縄県立前原高等学校 1年生から3年生          |
| 2  | 6月19日(木)  | 崎原 恭子 (歴史) | 名護市立屋部小学校 3年生から6年生           |
| 3  | 6月28日(土)  | 崎原 恭子 (歴史) | 那覇市立石嶺公民館                    |
| 4  | 9月21日(日)  | 森下 愛子 (民俗) | 嘉手納町東自治会<br>区民・在住在勤一般町民 11名  |
| 5  | 9月24日(水)  | 新山 颯大 (地質) | うるま市立中原小学校 6年生 140人          |
| 6  | 9月25日(木)  | 新山 颯大 (地質) |                              |
| 7  | 9月30日(火)  | 山本 正昭 (考古) | 浦添市てだこ学院大学学院生 44名<br>理事 3～4名 |
| 8  | 10月8日(水)  | 新山 颯大 (地質) | 浦添市立宮城小学校 6年生 104人           |
| 9  | 10月9日(木)  | 宇佐美 賢 (地学) | 那覇市立城北中学校 1年4組 34名           |
| 10 | 10月24日(金) | 森下 愛子 (民俗) | 大宜味村大兼久公民館 大兼久婦人会            |

|    |           |                   |                                        |
|----|-----------|-------------------|----------------------------------------|
| 11 | 10月31日(金) | 伊禮 拓郎 (美術工芸)      | 宜野湾市立宜野湾中学校 4年生<br>4クラス 137名           |
| 12 | 11月18日(火) | 伊禮 拓郎 (美術工芸)      | 沖縄県立北中城高等学校<br>1年1組, 2組, 3組 40名        |
| 13 | 11月19日(水) | 伊禮 拓郎 (美術工芸)      | 沖縄県立北中城高等学校<br>1年4組、5組 39名             |
| 14 | 11月21日(金) | 伊禮 拓郎 (美術工芸)      | 沖縄県立北中城高等学校<br>1年6組、7組 38名             |
| 15 | 11月19日(水) | 平川 信幸 (教育普及・美術工芸) | 沖縄県立泊高等学校 定時制課程午前部<br>世界史探求・地理探求       |
| 16 | 11月19日(水) | 森下 愛子 (民俗)        | 那覇市立城西小学校 3学年 75人                      |
| 17 | 11月21日(金) | 宇佐美 賢 (地学)        | 浦添市てだこ学院大学院 49名<br>理事3名                |
| 18 | 11月21日(金) | 森下 愛子 (民俗)        | 沖縄市立美原小学校 3年生 127名                     |
| 19 | 11月26日(水) | 森下 愛子 (民俗)        |                                        |
| 20 | 11月28日(金) | 新山 颯大 (地質)        | 名護市立真喜屋小学校 6年生                         |
| 21 | 11月28日(金) | 山崎 真治 (人類)        | 沖縄県立向陽高等学校 1年生 240名                    |
| 22 | 11月30日(日) | 山本 正昭 (考古)        | ガイドの会所属の会員他                            |
| 23 | 12月1日(月)  | 山本 正昭 (考古)        | 沖縄県立博物館友の会 40名                         |
| 24 | 12月24日(水) | 森下 愛子 (民俗)        | 南城市立大里北小学校 3年生 80名                     |
| 25 | 1月14日(水)  | 宇佐美 賢 (地学)        | 沖縄県立中部農林高等学校定時制 4年生 20名                |
| 26 | 1月15日(木)  | 菊川 章 (生物)         | 中部農林高等学校 3年生 15名                       |
| 27 | 1月20日(火)  | 森下 愛子 (民俗)        | 南城市立大里南小学校 3年生 170名                    |
| 28 | 1月21日(水)  | 森下 愛子 (民俗)        |                                        |
| 29 | 1月29日(木)  | 森下 愛子 (民俗)        | 浦添市立内間小学校 3年生                          |
| 30 | 2月6日(金)   | 大城 直也 (歴史)        | 名桜大学                                   |
| 31 | 3月3日(火)   | 宇佐美 賢 (地学)        | 沖縄アミークスインターナショナル中学校<br>7年生 (中学1年生) 29名 |

### Ⅲ 博物館体験学習教室

#### 1 体験学習教室の実施要項

(1) 趣旨・目的

沖縄の歴史や文化および自然と結びついた体験的な活動をすることによって、郷土の文化や伝統に関心を持たせ、先人の知恵などを学ぶ。

(2) 内容

博物館の各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の展示内容と関連した体験的な活動を通して、県民が有意義に楽しく学ぶことが出来るよう企画する。

(3) 受講方法

1ヶ月前までに広報し、2週間前までに募集をかける。応募者多数の場合は抽選する。

※抽選の場合、当選者には、事前に当選の通知連絡を行う。

(4) 体験学習に係る役割

| 前日まで                   |                      | 当日運営        |            |
|------------------------|----------------------|-------------|------------|
| ①事業起案及び講師依頼            | 博教育普及担当              | ①受付及び材料費徴収  | 指定管理者      |
| ②マスコミ各社への取材依頼          | 指定管理者                | ②開講式 司会     | 〃          |
| ③受講生受付                 | 〃                    | ③講師紹介       | 〃          |
| ④講師事前打ち合わせ             | ○博物館教育普及担当<br>○指定管理者 | ④講座の進行      | 〃          |
| ⑤説明資料作成                |                      | ⑤材料等の準備及び配布 | ○博物館教育普及担当 |
| ⑥材料・道具等の諸準備            |                      | ⑥記念撮影       | ○指定管理者     |
| ⑦ボランティア事前学習<br>・準備作業調整 |                      | ⑦報償費支払い事務   | ○ボランティア    |

#### 2 体験学習教室の実施状況

| 講座日       | タイトル                                               | 講師名                                      | 内容                 | 参加者 |
|-----------|----------------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------|-----|
| 7月26日(土)  | 第1回<br>ウチナーの民話<br>上映会                              | 沖縄県立八重山<br>商工高等学校家<br>庭クラブ同好会            | デジタルミュージアム<br>推進事業 | 64  |
| 10月5日(日)  | 第2回<br>ウチナーの民話<br>上映会                              | 沖縄県立南部農<br>林高校生活デザ<br>イン科                | デジタルミュージアム<br>推進事業 | 40  |
| 11月23日(日) | 戦災文化財展<br>フィールドワーク<br>「首里の戦跡と戦<br>災文化財の痕跡を<br>めぐる」 | 崎原 恭子<br>(歴史担当学芸員)<br>大城 直也<br>(歴史担当学芸員) | 戦災文化財展関連催事         | 21  |
| 2月8日(日)   | いのちのカタチ展<br>体験教室「昆虫の<br>標本をつくってみ<br>よう！」           | 菊川 章<br>(生物担当学芸員)                        | いのちのカタチ展<br>体験教室   | 16  |

民 俗「ウチナーの民話上映会」

日時：7月26日(土)

講師：沖縄県立八重山商工高等学校家庭クラブ同好会

内容：第1部

沖縄県立八重山商工高等学校家庭クラブ同好会による民話紙芝居  
上映民話：①「人魚と津波」

第2部

デジタルミュージアム動画コンテンツの上映  
(標準語と話者のバージョンで上映)

- 上映民話：①「天福地福」(東村)  
②「黒金座主と北谷王子」(那覇市)  
③「マジウムヌと火」(多良間村)  
④「雀孝行」(与那国町)



民 俗「ウチナーの民話上映会」

日時：10月5日(日)

講師：沖縄県立南部農林高等学校生活デザイン科

内容：第1部

沖縄県立南部農林高等学校生活デザイン科による民話紙芝居  
上映民話：①「なからとキジムナー」  
②「おにムーチャー」

第2部 デジタルミュージアム動画コンテンツの上映  
(標準語と話者のバージョンで上映)

- 上映民話：①「古屋の漏り～漏り加那志～」(多良間村)  
②「団子どっこいしょ」(大宜味村)  
③「弁当のお返し」(粟国村)  
④「ニュースピの神の話」(竹富町)



## 歴史 戦災文化財展フィールドワーク「首里の戦跡と戦災文化財の痕跡をめぐる」

日時：11月23日（日）

講師：崎原 恭子（歴史担当学芸員）

大城 直也（歴史担当学芸員）

内容：今から80年前、沖縄の住民を巻き込んだ激しい地上戦の中で、多くの尊い命とともに数々の貴重な文化財も失われた。首里城や円覚寺等、琉球王国時代から引き継がれてきた多くの文化財が被災した首里で、戦跡と戦災文化財の痕跡をめぐる。



沖縄戦後80年沖縄特別展「戦災文化財」関連事業  
首里の戦跡と戦災文化財の痕跡をめぐる

2025.11.23(日)  
9:00~12:00  
集合 8:30

講師 崎原 恭子（歴史担当学芸員）  
大城 直也（歴史担当学芸員）

観覧料 無料  
20名（小学生以上）  
200円（観覧料）

会場 沖縄県立博物館・美術館

## 生物 いのちのカタチ展「昆虫の標本をつくってみよう！」

日時：2月8日（日）

講師：菊川 章（生物担当学芸員）

内容：外来種のヤエヤママトボタルを使って、標本の作り方を学んだ。外来種問題について考えながら、針の刺し方や肢の広げ方など基本技術を体験した。標本が生物多様性の記録としてどのように役立つのかも知ることができた。



いのちのカタチ展  
昆虫の標本をつくってみよう！

2026.2.8(日)  
10:00~11:30  
受付 9:30

講師 菊川 章（生物担当学芸員）  
沖城 直也（生物担当学芸員）

観覧料 無料  
150円（観覧料）

会場 沖縄県立博物館・美術館

## IV 博物館文化講座

### 1 文化講座の実施要項

#### (1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、広い視点から分かりやすく楽しく、有意義な学習ができるよう、文化講座を開催する。これを開催することにより、沖縄の自然・歴史・文化に対する県民の意識の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 内容

当博物館の展示内容と関連する自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野についての講演、展示品の解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が分かりやすく有意義に学習できるよう企画されている。

#### (3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、土曜日 午後2時～4時までの2時間  
場 所：特に指定がない場合は、当館講堂（3F）

#### (4) 受講方法：当日先着 200 名

### 2 文化講座の実施状況

| 回数  | 期日        | 演題                                  | 講師名                               | 定員  | 参加者 |
|-----|-----------|-------------------------------------|-----------------------------------|-----|-----|
| 573 | 4月19日（土）  | ゲノムから見た沖縄の人類史                       | 木村 亮介                             | 200 | 140 |
| 574 | 5月17日（土）  | 近世琉球における抜荷-17世紀末から18世紀初めの時期を中心にして-  | 上原 兼善                             | 200 | 145 |
| 575 | 6月21日（土）  | 島嶼で調べる生物進化と生物多様性の保全：陸産貝類の例          | 平野 尚浩                             | 200 | 60  |
| 576 | 7月19日（土）  | グスク発掘調査最前線-これまでのグスクのイメージが一新された調査成果- | 横手 伸太郎<br>太田 美緒<br>菅原 広史<br>宮城 良真 | 200 | 154 |
| 577 | 8月16日（土）  | 首里復興基金(寄附金)を活用した令和の首里城復元について        | 城間 太基                             | 200 | 72  |
| 578 | 9月20日（土）  | マグマが語る琉球列島の形成史-大陸と海の地質をつなぐもの        | 谷 健一郎                             | 200 | 115 |
| 579 | 10月18日（土） | 沖縄戦における首里周辺の部隊配置-日本軍の戦略の背景-         | 仲程 勝哉                             | 200 | 130 |
| 580 | 11月15日（土） | 文化財返還の取り組みと帰ってきた御後絵                 | 萩尾 俊章<br>濱地 龍磨                    | 200 | 139 |
| 581 | 12月20日（土） | 南太平洋の人々と自然の関わりから見る海洋文化              | 木下 靖子                             | 200 | 60  |
| 582 | 1月17日（土）  | 中国絵画の歴史と福建、そして孫億-琉球絵師たちの留学先-        | 植松 瑞希                             | 200 | 75  |
| 583 | 2月21日（土）  | 花に隠された仕掛け 身近な植物の送粉作戦                | 傳田 哲郎                             | 200 | 90  |
| 584 | 3月21日（土）  | 沖縄における門中の歴史民俗学的研究                   | 小熊 誠                              | 200 | 170 |

## 第 573 回 文化講座

演題：「ゲノムから見た沖縄の人類史」

講師：木村 亮介（琉球大学大学院 医学研究科 教授）

内容：本講座では、琉球列島における人類集団の形成史を、最新のゲノム解析を通じて紹介した。地理的に隔絶された琉球列島は、独自の文化を育んできた地域であり、近年のゲノム研究により、各島の人類集団の構成や変遷が明らかになりつつある。

講演では、古人骨の解析によって人の移動や文化の伝播に関する新たな知見が示され、考古学に新たな視座をもたらす可能性が語られた。今後の研究の進展が期待される。



## 第 574 回 文化講座

演題：「近世琉球における抜荷 -17 世紀末から 18 世紀初めの時期を中心にして-」

講師：上原 兼善（岡山大学 名誉教授）

内容：抜荷とは江戸時代の密貿易のことである。従来、江戸時代の抜荷の舞台といえば長崎口が注目されてきたが、本講座では、琉球口、薩摩口の抜荷を追跡し、近世琉球の民衆像の一端に触れた。冒頭 15 分、大城直也学芸員から趣旨説明があった。難しい題材ではあったが、先生の資料や年表、また絵画から読み取れる情報の話などで分かりやすく説明をいただいた。



## 第 575 回 文化講座

演題：「島嶼で調べる生物進化と生物多様性の保全：陸産貝類の例」

講師：平野 尚浩（琉球大学 理学部 海洋自然科学科 助教）

内容：内容に興味を惹かれて今まで文化講座に来たことのなかった参加者や生物研究に関して興味を持つ若手の参加が多かった。内容としても陸産貝類について最前線の話や種の保全のための実践例などの話も出たため、参加者一同興味深く聞いていた。



## 第 576 回 文化講座

演題：「グスク発掘調査最前線 - これまでのグスクのイメージが一新された調査成果 -」

講師：横手 伸太郎（名護市教育委員会）

太田 美緒（読谷村教育委員会）

菅原 広史（浦添市教育委員会）

宮城 良真（豊見城市教育委員会）

内容：毎年、グスクの発掘調査が沖縄県内各地の市町村教育委員会を中心に行われており、これまでに分からなかったグスクの姿が明らかになっている。

本講座では、4人の報告者により近年におけるグスクのイメージを変えた4カ所の発掘調査の成果報告と、そこから見えてくるグスクの実態について、発掘調査担当者の視点で詳しく解説した。

2025.  
7.19 ±  
13:30~16:30  
(開場 13:00)

毎年、グスクの発掘調査が沖縄県内各地の市町村教育委員会を中心に行われており、これまでに分からなかったグスクの姿が明らかになってきています。そのほかにも、調査現場で発見されていることに加え、調査員たちならではの調査成果が見ることが出来ます。

近年におけるグスクのイメージを変えた4カ所の発掘調査と、そこから見えてくるグスクの実態について、発掘調査担当者の視点で詳しくお話ししていきます。

報告者：横手 伸太郎 氏（名護市教育委員会）  
太田 美緒 氏（読谷村教育委員会）  
菅原 広史 氏（浦添市教育委員会）  
宮城 良真 氏（豊見城市教育委員会）

主催：沖縄県立博物館・美術館  
協賛：名護市教育委員会、読谷村教育委員会、浦添市教育委員会、豊見城市教育委員会

会場：沖縄県立博物館・美術館  
3F 講堂  
〒901-8200  
沖縄県豊見城市豊見城3-1-1

申込：9月14日（金）15時～16時（申込締切）  
申込費：無料  
申込先：沖縄県立博物館・美術館  
〒901-8200 沖縄県豊見城市豊見城3-1-1

お問い合わせ：098-941-8200  
沖縄県立博物館・美術館  
E-mail: info@okinawamuseum.or.jp



## 第 577 回 文化講座

演題：「首里復興基金（寄附金）を活用した令和の首里城復元について」

講師：城間 太基（沖縄県 首里城復興課担当）

内容：令和元年10月31日未明に発生した火災により焼失した首里城の復興を願い、火災直後から県内外より寄せられた寄附金は、令和6年度末時点で60億円を超え、多くの方々の厚意とともに復興は進められている。沖縄県では、寄せられた寄附金（首里城復興基金）を活用、焼失した城郭内施設等の復元として、様々な人々の想いや技術などを積み重ね、正殿復元の歩みを進めており、その進捗の概況を説明した。

2025.  
8.16 ±  
14:00~16:00  
(開場 13:30)

令和元年10月31日未明に発生した火災により焼失した首里城の復興を願い、火災直後から県内外より寄せられた寄附金は、令和6年度末時点で60億円を超え、多くの方々の厚意とともに復興は進められています。

沖縄県では、寄せられた寄附金（首里城復興基金）を活用し、焼失した城郭内施設等の復元として、様々な人々の想いや技術などを積み重ね、正殿復元の歩みを進めているところで、その進捗の概況をお話しします。

報告者：城間 太基 氏（沖縄県 首里城復興課担当）

主催：沖縄県立博物館・美術館  
協賛：沖縄県 首里城復興課

会場：沖縄県立博物館・美術館  
3F 講堂  
〒901-8200  
沖縄県豊見城市豊見城3-1-1

申込：9月14日（金）15時～16時（申込締切）  
申込費：無料  
申込先：沖縄県立博物館・美術館  
〒901-8200 沖縄県豊見城市豊見城3-1-1

お問い合わせ：098-941-8200  
沖縄県立博物館・美術館  
E-mail: info@okinawamuseum.or.jp



## 第 578 回 文化講座

演題：「マグマが語る琉球列島の形成史 - 大陸と海の地質をつなぐもの」  
 講師：谷 健一郎（国立科学博物館・理学研究部）

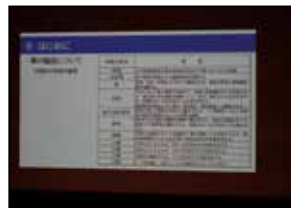
内容：琉球列島の島々や周辺海域には、マグマが固まってできた火成岩や海底火山が点在している。本講演では、これまでの調査成果をもとに、琉球列島の成り立ちと現在も活動している海底火山活動について、深海の映像などを交えながらわかりやすく紹介した。

2025.  
**9.20**  
 (開催 13:30)  
 14:00~16:00  
 (開場 13:30)  
 会場 3F講堂  
 申込先着 (定員 200 名)  
 941-8200  
 沖縄県立博物館・美術館

## 第 579 回 文化講座

演題：「沖縄戦における首里周辺の部隊配置 - 日本軍の戦略の背景 -」  
 講師：仲程 勝哉（沖縄県平和祈念資料館 学芸員）

内容：住民を巻き込んだ国内最大の戦闘である沖縄戦。第 32 軍はその準備段階で首里に司令部を設置し、周辺に多くの部隊配置を行った。結果、首里周辺で日米間の激戦が繰り広げられ、尊い人命や文化財が失われた。当時の資料を交えながら第 32 軍の部隊配置の背景について解説した。



2025.  
**10.18**  
 14:00~16:00  
 (開場 13:30)  
 会場 3F講堂  
 申込先着 (定員 200 名)  
 941-8200  
 沖縄県立博物館・美術館

## 第 580 回 文化講座

演題：「文化財返還の取り組みと帰ってきた御後絵」  
 講師：萩尾 俊章（沖縄民俗学会 会長）

濱地 龍磨（沖縄県教育庁文化財課 主任）

内容：住民を巻き込んだ激しい地上戦の中で、多くの尊い命とともに町並みや風景だけでなく、数々の貴重な文化財も失われた。沖縄戦の混乱の中、琉球王家ゆかりの美術工芸品等の文化財が米国へ持ち出される。これらの流出した沖縄の文化財返還の取り組みと、2024 年に米国から帰ってきた国王の肖像画「御後絵」について紹介した。



2025.  
**11.15**  
 14:00~16:00  
 (開場 13:30)  
 会場 3F講堂  
 申込先着 (定員 200 名)  
 941-8200  
 沖縄県立博物館・美術館

## 第 581 回 文化講座

演題：「南太平洋の人びとと自然の関わりから見る海洋文化」

講師：木下 靖子（沖縄美ら島財団総合研究所 主任研究員）

内容：南太平洋には大小さまざまな島が点在している。人が渡って来た年代、島に持ち込んだ動植物、漁撈や耕作の方法は、島の位置や環境によって違いがあり、その島特有の文化がつけられている。

本講座では、バヌアツ共和国にある人口約 500 名の離島の暮らしを事例に、島の人たちが実践してきた自然利用の方法、資源管理の考え方、また現在直面している環境問題について講話が行われた。



## 第 582 回 文化講座

演題：「中国絵画の歴史と福建、そして孫億—琉球絵師たちの留学先—」

講師：植松 瑞希（東京国立博物館 研究員）

内容：近世琉球の絵師たちは、中国の福建地方で学び、個性豊かな琉球絵画の様式を作り上げた。琉球の絵師たちが学んだ画家孫億は、17～18 世紀に福建で活躍した人物である。では、中国絵画史において、福建はどのような地域で、そこで活動していた孫億の作品はどのように位置づけられるのか。中国絵画史を紐解きながら、琉球絵師たちが学んだ福建絵画の魅力にも迫った。



## 第 583 回 文化講座

演題：「花に隠された仕掛け 身近な植物の送粉作戦」

講師：傳田 哲郎（琉球大学 理学部 教授）

内容：植物の花は我々の眼を楽しませるための飾りではなく、確実に種子を残すための戦略に満ちた生殖器官である。身近な植物の花にも、動物に効率良く花粉を運んでもらうための巧妙で驚くべき仕掛けが隠れている。本講座では、送粉者を巧みに利用して受粉を成功させる仕組みを紹介し、花の機能的な魅力に迫った。





## V 博物館学芸員講座

### 1 学芸員講座の実施要項

#### (1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、学芸員が広い視点から分かりやすく講義・展示解説し、楽しく有意義な学習を通して、県民の意識の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 内容

当博物館の自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野の担当学芸員が行う講義・展示解説、実技指導などを通して、県民各層が楽しく、より深く沖縄について学べるよう企画されている。

#### (3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、土曜日 午後2時～4時までの2時間（講座により変更あり）  
場 所：当館講堂（3F）を基本とする

#### (4) 受講方法

当日先着（200名）

### 2 学芸員講座の実施状況

| 回数 | 期日        | 演題                                                 | 講師名            | 定員  | 参加者 |
|----|-----------|----------------------------------------------------|----------------|-----|-----|
| 1  | 4月12日（土）  | 御後絵（琉球国王の肖像画）と東アジアの帝王像-国王の正面向きの意味を考える-             | 平川 信幸          | 200 | 152 |
| 2  | 5月10日（土）  | 国際博物館の日2025記念事業「柳田國男生誕150年-海上の道を考える-               | 山崎 真治          | 200 | 138 |
| 3  | 6月14日（土）  | 資料からさぐる沖縄の製藍技術の変遷史                                 | 大湾 ゆかり         | 200 | 80  |
| 4  | 7月12日（土）  | 琉球王国尚王統成立600年記念事業 博物館学芸員講座「第一尚氏王統期のグスク-縄張りの完成形を見る- | 山本 正昭          | 200 | 160 |
| 5  | 8月9日（土）   | 「あるくみるきく」そして対話する-宮本常一流フィールドワークで地域の未来をつくる!?         | 森下 愛子          | 200 | 63  |
| 6  | 9月13日（土）  | 琉球王国尚王統成立600年記念事業「琉球王国尚王成立王権の痕跡-第一尚氏ゆかりの遺跡を辿る-     | 山本 正昭          | 200 | 215 |
| 7  | 10月11日（土） | 沖縄戦後80年博物館特別展「戦災文化財」の展示紹介                          | 崎原 恭子          | 200 | 85  |
| 8  | 11月8日（土）  | 琉球ルネサンス-近代化、そして沖縄戦で失った文化を 今この手に-                   | 伊禮 拓郎          | 200 | 96  |
| 9  | 1月10日（土）  | 「いのちのカタチ展-好奇心の標本箱-」見どころ紹介                          | 菊川 章           | 200 | 97  |
| 10 | 1月31日（土）  | 重要文化財指定記念「琉球家譜研究の最前線」                              | 大城 直也<br>ほか5名  | 200 | 140 |
| 11 | 2月14日（土）  | みんなの知らないカイケイチュウの世界                                 | 新山 颯大          | 200 | 30  |
| 12 | 3月1日（土）   | ジオツアー 名護市嘉陽層の褶曲                                    | 宇佐美 賢<br>新山 颯大 | 20  | 18  |

## 第1回 学芸員講座

演題：「御後絵（琉球国王の肖像画）と東アジアの帝王像 —国王の正面向きの意味を考える—」

講師：平川 信幸（教育普及・美術工芸）

内容：2024年3月、沖縄戦により消失した歴代国王の肖像画「御後絵」4点が、アメリカで奇跡的に発見され、沖縄へ返還されたという報道があった。本講座では、戦前に撮影された10枚の御後絵と、中国・朝鮮・日本における帝王や天皇の肖像画を比較し、それぞれの特徴を明らかにするとともに、正面向きの構図について考察を深めた。



## 第2回 学芸員講座

演題：国際博物館の日 2025 記念事業 「柳田國男生誕 150 年—海上の道を考える—」

講師：山崎 真治（人類学担当）

内容：2025年は、日本民俗学の創始者・柳田國男（1875～1962）の生誕150年にあたる。柳田は生涯で一度だけ琉球・沖縄を訪れ、1925年の見聞を『海南小記』として発表した。琉球・沖縄に日本文化の原像を見いだした柳田の構想は、戦後の著作『海上の道』（1952年）へと発展する。本講座では、米軍統治下の沖縄の状況、『海上の道』をめぐる研究者・知識人の議論、そしてその現代的意義についてわかりやすく紹介した。



## 第3回 学芸員講座

演題：「資料からさぐる沖縄の製藍技術の変遷史」

講師：大湾 ゆかり（民俗）

内容：参加者の中には琉球藍の製造・利用関係者などもおり、琉球藍についてより深く知りたいという参加者が多く集まった。内容についても、いままであまり知られていない資料について紹介があり、参加者は関心を寄せていた。





## 第7回 学芸員講座

演題：「沖縄戦後 80 年博物館特別展『戦災文化財』の展示紹介」

講師：崎原 恭子（歴史）

内容：沖縄戦では、住民を巻き込んだ激しい戦闘が繰り広げられ、多くの尊い命とともに、町並みや風景だけでなく、先人たちが生み出した数々の文化財も失われた。本講座では、沖縄戦により被害を受けた文化財を通して戦争の悲惨さを知り、平和の重要性について考えるとともに、先人が築いた沖縄独自の文化財を取り戻してきた歩みを、「戦災文化財」展の見どころとあわせて紹介した。



## 第8回 学芸員講座

演題：「琉球ルネサンス - 近代化、そして沖縄戦で失った文化を 今この手に -」

講師：伊禮 拓郎（美術工芸）

内容：近代化や沖縄戦の影響により、沖縄は多くの文化的財産を失うこととなった。戦後は、官民を問わず多くの人々の尽力によって文化の再興が着実に進められてきた。当館が実施した「琉球王国文化遺産集積・再興事業（復元事業）」も、そうした取り組みの延長線上に位置づけられる。本講座では、戦前および戦後における文化喪失の主な要因を整理し、当館が行っている文化財の復元事業について紹介した。





## 第11回 学芸員講座

演題：「みんなの知らないカイケイチュウの世界」

講師：新山 颯大（地質）

内容：本講座では、「介形虫（かいけいちゅう）」と呼ばれる小型甲殻類について紹介した。介形虫は、二枚貝のような左右二枚の殻の中にミジンコのような体が収まった形をしており、身近な水域でも観察できる生物である。しかし、肉眼では確認が難しく、一般にはあまり知られていない。

講座では、顕微鏡を通して初めて見える介形虫の特徴や多様性、その生態について解説し、普段目にするのこない「知られざる介形虫の世界」を参加者に紹介した。



## 第12回 学芸員講座

演題：ジオツアー 名護市嘉陽層の褶曲

講師：宇佐美 賢（博物館班班長）、新山 颯大（地質）

内容：国指定天然記念物である褶曲および生痕化石が確認される嘉陽層は、沖縄島中北部の東海岸に分布し、砂岩と泥岩が大きく褶曲した特徴的な地層を観察することができる。今回のジオツアーでは、こうした地質景観を現地で確認し、自然が長い時間をかけて形成した大地の構造を理解するとともに、地球の営みや島の成り立ち、さらには自然と人との関わりについて考察する機会とした。



## VI 博物館常設展展示解説会

### 1 展示解説会の実施要項

#### (1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、学芸員が広い視点から分かりやすく講義・展示解説し、楽しく有意義な学習を通して、県民の意識の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 内容

当博物館の自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野の担当学芸員が行う講義・展示解説を通して、県民が楽しく、より深く沖縄について学ぶことができる。

#### (3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、基本木曜日 14:00～15:00 までの1時間

場 所：博物館常設展示室

#### (4) 受講方法

定員 15 名（13:30～ふれあい体験室前にて受付）

### 2 展示解説会の実施状況

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。

| 回数 | 期日        | 分野   | 講師名    | 定員 | 参加者 |
|----|-----------|------|--------|----|-----|
| 1  | 4月10日（木）  | 歴史   | 大城 直也  | 15 | 15  |
| 2  | 5月8日（木）   | 人類   | 山崎 真治  | 15 | 15  |
| 3  | 6月12日（木）  | 地学   | 宇佐美 賢  | 15 | 15  |
| 4  | 7月17日（木）  | 生物   | 菊川 章   | 15 | 11  |
| 5  | 8月7日（木）   | 考古   | 山本 正昭  | 15 | 13  |
| 6  | 9月11日（木）  | 教育普及 | 平川 信幸  | 15 | 15  |
| 7  | 10月9日（木）  | 地質   | 新山 颯大  | 15 | 14  |
| 8  | 11月13日（木） | 美術工芸 | 伊禮 拓郎  | 15 | 15  |
| 9  | 12月11日（木） | 人類   | 渡辺 みどり | 15 | 15  |
| 10 | 1月8日（木）   | 民俗   | 森下 愛子  | 15 | 15  |
| 11 | 2月12日（木）  | 美術工芸 | 伊禮 拓郎  | 15 | 15  |
| 12 | 3月12日（木）  | 歴史   | 崎原 恭子  | 15 | 15  |

## Ⅶ バックヤードツアー

### 1 バックヤードツアーの実施要項

#### (1) 趣旨・目的

博物館が持つ、調査・研究・保存の機能を担う収蔵庫や各部屋を学芸員が分かりやすく解説し、普段見る事のできない博物館の機能の見学を通して、文化財への県民の意識向上を図る事を目的とする。

#### (2) 内容

普段見ることができない博物館内の各部屋を見学する。

#### (3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、今年度は基本第4土曜日 14:00～15:00までの1時間

場 所：博物館バックヤード

#### (4) 参加方法・定員

参加方法：開催1週間前より電話・総合案内で受付

定 員：12名（事前申込）

### 2 バックヤードツアーの実施状況

バックヤードツアーは学芸員が講師を務め、より専門性を活かした内容とリピーターづくりを目指している。安全性を考慮し、学芸員と指定管理者スタッフの2名体制で臨んだ。学芸員研究室、研究資料室（書庫）、自然史実験室、トラックヤード、写真撮影室、冷凍室、工作室を基本コースとし、収蔵庫は専門分野を中心に案内した。また、建物の構造やIPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）の取り組み、資料の修復等について解説するなど、博物館の役割や使命を理解しやすくする工夫をしながら実施した。

| 回数 | 期日        | 分野   | 講師名    | 定員 | 参加者 |
|----|-----------|------|--------|----|-----|
| 1  | 4月26日（土）  | 歴 史  | 大城 直也  | 12 | 12  |
| 2  | 5月24日（土）  | 人 類  | 山崎 真治  | 12 | 12  |
| 3  | 6月28日（土）  | 考 古  | 山本 正昭  | 12 | 11  |
| 4  | 7月26日（土）  | 地 質  | 新山 颯大  | 12 | 13  |
| 5  | 8月23日（土）  | 生 物  | 菊川 章   | 12 | 13  |
| 6  | 9月27日（土）  | 地 学  | 宇佐美 賢  | 12 | 12  |
| 7  | 10月25日（土） | 美術工芸 | 國吉 史乃  | 12 | 12  |
| 8  | 11月22日（土） | 人 類  | 渡辺 みどり | 12 | 12  |
| 9  | 12月27日（土） | 歴 史  | 大城 直也  | 12 | 12  |
| 10 | 1月24日（土）  | 歴 史  | 大城 直也  | 12 | 12  |
| 11 | 2月28日（土）  | 民 俗  | 森下 愛子  | 12 | 12  |
| 12 | 3月28日（土）  | 歴 史  | 崎原 恭子  | 12 | -   |

# VIII 夏休み！こどもフェスタ 2025

## 1 夏休み！こどもフェスタの実施要項

### (1) 趣旨・目的

学芸員が、夏季休暇中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究等について、可能な限り博物館の情報を提供し、郷土への興味・関心を高める。

### (2) 内容

総合・部門展示、ふれあい体験室、情報センターなどの博物館の機能を紹介し、博物館を通して沖縄の自然、歴史、文化について子ども向けの教室を行う。

### (3) 実施方法

- ①対象 県内の小学生・中学生
- ②実施日 令和7年7月29日（火）から7月31日（木）まで
- ③時間 10：00～16：30 ＊1教室およそ90分程度
- ④定員 各分野8～16名程度（事前申込制） ＊教室によって変更あり
- ⑤参加料 無料 ※材料費は実費・・・講座により異なる。
- ⑥材料費 受講分野により参加者負担あり。
- ⑦場所 実習室を中心に行う。  
7月29日（火）9：30～11：30 ①地学 常設展示室・屋外展示場  
④民俗 両端・新都心公園

### (4) 受講方法

- ①各分野の担当学芸員の日程表をチラシ等で表示し、参加者を募る。
- ②事前申込制 ※応募者多数の場合抽選
- ③各担当学芸員の指示のもと、諸注意を守り受講する。

**博物館** 夏休み! **こどもフェスタ 2025** **美術館**

いつもは静かな美術館で、あそびのワークショップ

7/26(土)・27(日)・29(火)・30(水)・31(木)

場所 沖縄県立博物館・美術館(県民アトリエ、こどもアトリエ) 博物館実習室ほか

受付期間 令和7年7月1日(水)～8日(水)当日必着

TEL 098-641-8200

① チラシ表

美術館 県民アトリエ、こどもアトリエ、美術館コレクションギャラリー

- 1 7/26 9:30-11:00 コロコロボール×カラフル絵画
- 2 7/26 11:00-15:30 自由なひとの色とカタチ
- 3 7/27 9:30-12:30 ミニテラリウムづくり
- 4 7/27 14:00-15:30 『知話による鑑賞』おしゃべりながら鑑賞してみよう!
- 5 7/29 9:00-11:30 石・土・博物館と街をめぐる探検ラリー
- 6 7/29 11:00-14:30 洞窟遺跡の堆積物を調査せよ!
- 7 7/29 15:00-16:30 カラツルリの不思議をさらべよう!
- 8 7/30 10:00-11:30 リゾウの虫コロコロと 節足動物でせみを捕まよう!
- 9 7/31 10:00-11:30 暑さを前に! 暑気払い体験
- 10 7/31 14:00-15:30 『まなづのミクロの世界を見てみよう』

② チラシ裏

## 2 夏休み！こどもフェスタ 2025

| 期日・教室内容・講師                             | 参加         |
|----------------------------------------|------------|
| 【7月29日（火）】                             |            |
| ① 「石、石、石！ 博物館をめぐる探検ツアー」 宇佐美 賢 【地学】     | 11名        |
| ② 「洞窟遺跡の堆積物を調査せよ！」 山崎 真治【人類】           | 8名         |
|                                        | 渡辺 みどり【人類】 |
| ③ 「カタツムリの不思議をしらべよう！」 菊川 章 【生物】         | 15名        |
| 【7月30日（水）】                             |            |
| ④ 「ソテツの虫かごづくりと芭蕉葉でセミを捕まえよう！」 森下 愛子【民俗】 | 15名        |
| ⑤ 「琉球銭【金圓世寶】をつくろう！」（日程A） 山本 正昭【考古】     | 11名        |
| 【7月31日（木）】                             |            |
| ⑥ 「香りを聞こう！ 香り袋と聞香体験」 伊禮 拓郎【美工】         | 11名        |
| ⑦ 「琉球銭【金圓世寶】をつくろう！」（日程B） 山本 正昭【考古】     | 8名         |
| ⑧ 「ズームイン！ 砂粒のミクロの世界を見てみよう」 新山 颯大【地質】   | 10名        |

### 1日目

7月29日（火）

#### ① 宇佐美 賢 「石、石、石！ 博物館をめぐる探検ツアー」

地球と琉球・沖縄の歴史をたどりながら、博物館常設展示室・屋外展示場で石の観察をした。



#### ② 山崎 真治、渡辺 みどり「洞窟遺跡の堆積物を調査せよ！」

洞窟遺跡の堆積物から生き物や人類の生活の痕跡を探した。



#### ③ 菊川 章「カタツムリの不思議をしらべよう！」

沖縄島のカタツムリたちを紹介し、貝殻を使って立体図鑑をつくった。



**2日目**

7月30日(水)

- ④ 森下 愛子「ソテツの虫かごづくりと芭蕉葉でセミを捕まえよう！」  
ソテツの葉の虫かごと芭蕉葉でセミ取り器をつくり、実際にセミや虫を捕まえた。



- ⑤ 山本 正昭「琉球銭【金圓世寶】をつくろう！」日程A  
合金を使って1470年につくられたとされる琉球のお金・金圓世寶を鑄造で製作した。

**3日目**

7月31日(木)

- ⑥ 伊禮 拓郎「香りを聞こう！香り袋と聞香体験」  
工芸品を実際に使用しながら香文化について学んだ。



- ⑦ 山本 正昭「琉球銭【金圓世寶】をつくろう！」日程B  
合金を使って1470年につくられたとされる琉球のお金・金圓世寶を鑄造で製作した。



- ⑧ 新山 颯大「ズームイン！“すなつぶ” のミクロの世界を見てみよう」  
電子顕微鏡を使用して、いろいろな砂粒を観察した。



## IX ふれあい体験室

### 1 ふれあい体験室の概要

#### (1) ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

#### (2) 体験キットの位置づけ

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」に触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。

体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

#### (3) ふれあい体験室・体験キットの対象者

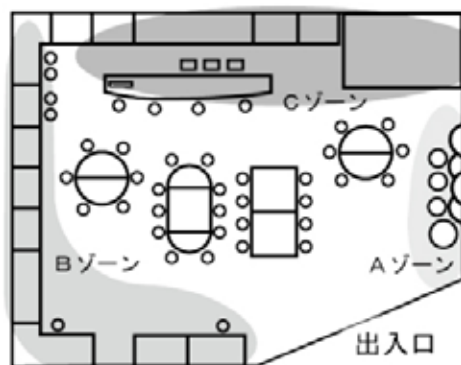
基本的に小学校中学年（3年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

#### (4) 体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本とし、一部の体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

| 体験キットグループ | キットの種類                                                                                        | 来館者への使用制限                                                                 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| グループA     | <b>【見る・触る】</b><br>・直感的に（一見して）内容が分かる。<br>・安全性、耐久性が高い。                                          | ・来館者は自由に出し入れできる。<br>*来館者によっては手助けが必要。                                      |
| グループB     | <b>【聞く・比べる・聞ける・押す】</b><br>・簡単な操作で内容が分かる。<br>・安全性がある程度確保されていて、耐久性が高い。                          | ・来館者は自由に出し入れできるが、<br>*来館者によっては手助けが必要な場合もある。                               |
| グループC     | <b>【組み立てる・作る・分類する】</b><br>・作業を通して仕組みや内容が分かる。<br>・細かい部品や安全面での指導、管理を要する。<br>・破損、摩耗しやすい等、耐久性が低い。 | ・スタッフを介してキットを受け渡し、<br>介助を得ながら、もしくは目の届く範囲で利用する。<br>*来館者によっては手助けが必要ない場合もある。 |

見取り図（ゾーニング図）



## 2 体験キットの種類

| No. | タイトル             | 分野   | 小テーマ                                                      | 中テーマ            | 大テーマ         | 備考           |    |
|-----|------------------|------|-----------------------------------------------------------|-----------------|--------------|--------------|----|
| 1   | サインを見のがすな！       | 自然史  | きみはだあれ？                                                   | 生物界             | 自然のしくみ・先人の知恵 | 平成19年度<br>製作 |    |
| 2   | 小さな生き物の大きな仕事     |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 3   | 耳をすませば           |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 4   | この骨だれの？          |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 5   | サンゴと生きる          |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 6   | いろいろなタネ          |      | 自然のすがた                                                    |                 |              |              |    |
| 7   | いろいろな木と草         |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 8   | いろいろな石と砂         |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 9   | 見える星座・見えない星座     |      | 考古                                                        | 地下にねむる<br>歴史のなぞ |              |              | 地史 |
| 10  | 化石 ～生きていたあかし～    |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 11  | 港川人研究所           |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 12  | 土層と遺物からわかること     | 民俗   | 食の知恵                                                      | 人々のくらし          |              |              |    |
| 13  | 石で築く             |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 14  | ヌチグスイ            |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 15  | イノー ～海の食料庫～      |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 16  | 御三味(ウサンミ)        |      | 食の習わし                                                     |                 |              |              |    |
| 17  | いろいろな道具          |      | 生活のくふう                                                    |                 |              |              |    |
| 18  | 島々のコトバ           |      | 沖縄のコトバ                                                    |                 |              |              |    |
| 19  | いろいろな玩具          |      | シマの心                                                      |                 |              |              |    |
| 20  | いろいろな楽器          | 美術工芸 | 色のひみつ<br>・形のふしぎ                                           |                 |              |              |    |
| 21  | 衣からわかること         |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 22  | 焼物 ～かたちのわけ～      |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 23  | 漆 ～飾るたのしみ～       | 歴史   | 国のかたち                                                     |                 |              |              |    |
| 24  | 印かんってなあに？        |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 25  | 島のかたち            |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 26  | 記録のくふう           |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 27  | 国々とのおつきあい        |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 28  | サンゴとカッチュウソウの深～い仲 | 自然史  | 沖縄県立博物館・美術館魅カアップ事業<br>「ふれあい体験室機能強化事業」実施における<br>体験キットとして製作 | 平成27年度<br>製作    |              |              |    |
| 29  | コロコロ生態系          |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 30  | 岩石観察             |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 31  | 化石組み立て体験         |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 32  | 耕のしくみ            | 美術工芸 |                                                           |                 |              |              |    |
| 33  | 三線のかたち①・②        |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 34  | 仁王像              |      |                                                           |                 |              |              |    |
| 35  | ウチナーの昔話          | 民俗   |                                                           |                 |              |              |    |
| 36  | チュンジー            | 歴史   |                                                           |                 |              |              |    |
| 37  | 万国津梁の鐘           |      |                                                           |                 |              |              |    |

※平成29年度に製作した開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連体験キットは、ふれあい体験室の体験キット登録を解除し、貸出用教育普及資料として利用。



No. 14 「ヌチグスイ」



No. 31 「化石組み立て体験」

### 3 ふれあい体験室の運営状況

#### (1) 今年度の運営状況

今年度の来場者数は、54,429名（1日平均181名/3月8日時点）。観光客も戻り、外国人観光客も増え、混雑時の安全管理を見直した。入口にデジタルサイネージを配置し、注意事項を見やすくすることで、お客様への利用案内が分かりやすくなった。また破損しやすい展示物のキットの使用方法もふれあい体験室の黒板に大きく掲示し、ふれあい体験室の利用の理解を周知することができた。



デジタルサイネージ



利用案内

#### (2) スタッフの配置状況

ふれあい体験室は常駐の職員1名（沖縄美ら島財団）と博物館ボランティアスタッフで運営を行っている。職員は常勤スタッフ1名とアルバイトスタッフ8名を配置している。ゴールデンウィークや夏期中の混雑時期にはアルバイトスタッフを2名体制で配置し、来場者と展示物の安全管理を徹底した。

### 4 ふれあい体験室の取組み

#### (1) ふれあい体験室ワークショップ

ふれあい体験室の体験キットや展覧会の充実および関心を高めることを目的として、毎週土曜日にワークショップを実施している。今年度は3つのプログラムを開催した。1プログラムが4ヶ月になるため、2ヶ月毎に制作物を変え、新規のワークショップも開発し、リピートして参加できるように工夫した。

各プログラムに参加するごとにスタンプを集めることができる「スタンプラリーカード」も、参加回数でスタンプがたまるように変更。新たな景品も追加し、リピーターにも集める楽しさを提供することができた。

また、ワークショップの材料セットを商品化した「ふれあい体験室てづくりおもちゃ」をミュージアムショップゆいむいにて販売。人気のキットの英語版も制作し、日本語版と共に好評であった。

場 所：ふれあい体験室前エントランスホール  
講 師：藤田 早苗、金城 絵舞、照屋 りずむ、金澤 野乃  
対 象：5歳から大人まで（小学生以下は保護者同伴）  
開催日数：45日  
参加者数：682名（一日平均15.1名）  
主 催：一般財団法人 沖縄美ら島財団

## ① 4・5・6・7月「沖縄の染め織りもようのデザイン」

内 容：体験キット No. 21「衣からわかること」、No. 32「絣のしくみ」、常設展の美術工芸部門展示に関連して、紅型と絣模様のスタンプを使用し、トートバッグとサコッシュバッグを制作した。

日 時：2025年4月～7月の毎週土曜日（全32回）

※8月2日、9日（追加開催）

① 10:00～11:00 / ② 11:00～12:00

定 員：事前申込 18名（各回9名）

参加費：600円

参加者数：286名（1日平均17.9名）



## ② 8・9・10・11月「キラキラ光る★星座のキーホルダーづくり」

内 容：体験キット No. 9「見える星座・見えない星座」に関連して、星座の形や星の色、沖縄に伝わる星などを学びながら、レジンを使ったオリジナルの星座キーホルダーを制作した。

日 時：2025年8月16日（土）～11月の毎週土曜日（全30回）

① 10:00～11:00 / ② 11:00～12:00

定 員：事前申込 18名（各回9名）

参加費：600円

参加者数：261名（1日平均17.4名）



### ③12・1・2・3月「ペーパービーズでアクセサリーづくり」

内 容：常設展の総合展示貝塚時代の暮らしに関連して、不要になったポスター等の古紙からペーパービーズのアクセサリーを制作した。

日 時：2025年12月～2026年3月の毎週土曜日（全28回）  
① 10:00～11:00 / ② 11:00～12:00

定 員：事前申込18名（各回9名）

参加費：500円

参加者数：135名（1日平均9.6名）



### (2) ふれあい体験室ワークショップ特別編

#### ①「おきみゅーのゴールデンウィーク 2025」関連催事

内 容：GWにあわせて、過去に人気のあったプログラムを実施した。

プログラム：「沖縄のおまもりサンストラップづくり」

日 時：2025年5月3日（土）14:00～15:00

講 師：藤田 早苗（沖縄美ら島財団）

定 員：事前申込10名

参加費：500円

参加者数：10名



## ②第16回 移動展 in 恩納村

内 容：上記催事の一環として、過去に人気のあったプログラムを特別に実施した。

プログラム：a「キラキラ光る★星座のキーホルダーづくり」

b「沖縄のおまもりサンストラップづくり」

日 時：2026年1月18日（日）

a 10:00～11:00 / b 13:30～14:30

講 師：藤田 早苗、森 萌子（沖縄美ら島財団）

定 員：a 15名 / b 10名

参加費：a 600円 / b 500円

参加者数：a 13名 / b 9名 計 22名



## ③「おきみゆーの迎春祭 2026」関連催事

内 容：上記催事の一環として、過去に人気のあったプログラムを実施した。

プログラム：「沖縄の紅型・かすりデザイン」

日 時：2026年2月15日（日）

① 10:00～11:00 紅型トートバック

② 13:00～14:00 かすりサコッシュ

講 師：藤田 早苗（沖縄美ら島財団）

定 員：事前申込 19名（各回9名）

参加費：600円

参加者数：21名



## X ボランティア養成事業

### 1 目的

沖縄県立博物館・美術館は県民の自己啓発や学習の場の提供、また、博物館支援活動を目的として「ボランティア」を導入している。この活動は、多様化する来館者のニーズに対して、よりきめ細かく適切なサービスへの寄与を目的としている。

### 2 ボランティアの活動内容

#### (1) ボランティアの種類

博物館ボランティア

#### (2) 活動の種類・活動内容

| <b>博物館ボランティア</b>                                   |                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 博物館ボランティア                 |                                                                                                                                                                                           |
| ①展示解説ガイド                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、一般団体向け常設展示解説補助（主に学習プログラム対応）</li> <li>・総合展示部門、各部門展示解説補助</li> </ul>                                                                              |
| ②体験学習サポート                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校団体、教職員向け講座対応：誘導、民具体験学習の支援</li> <li>・ふれあい体験室支援：ふれあい体験室における活動支援</li> <li>・体験学習教室支援：体験学習・各種講座</li> <li>・移動展等における補助</li> <li>・各種行事の際の補助</li> </ul>  |
| ③資料整理活動                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞スクラップ等</li> </ul>                                                                                                                               |
| ④その他                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア間の連絡</li> <li>・各種刊行物の発送業務</li> <li>・沖縄美ら島財団（指定管理者）主催催事支援、ふれあい体験室ワークショップ支援</li> <li>・ふれあい体験室 I P M 清掃</li> <li>※原則：毎月第4月曜日 13：20～</li> </ul> |
| <b>■総合展示ガイドボランティア</b><br>※博物館ボランティアのうち、ガイドライセンス保持者 |                                                                                                                                                                                           |
| ①案内型ガイド                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合展示部門解説ガイド（学校団体/一般来館者）</li> <li>対象：県外高校（修学旅行）、大学、専門、一般【指定管理対応】</li> <li>県内少人数校（離島、へき地、特別支援学級）【県対応】</li> <li>※県内小・中・高校へのガイドは行わず自由見学とする</li> </ul> |
| ②待機型ガイド（ジンプンBOX）                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合展示部門における展示解説</li> <li>※曜日の縛りなし（開館日 9：00 から 16：00）</li> </ul>                                                                                    |
| ③10分ガイド                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般団体、県外修学旅行生等へのガイド</li> </ul>                                                                                                                     |

※ふれあい体験室専属ボランティアは、令和2年度より博物館ボランティアへ統合。

# 令和7年度博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座

## 1 目的

来館者へのサービス向上や多様化するニーズに対応するため、一般来館者（修学旅行生含む）向けの総合展示及び5つの部門展示解説ガイドボランティア養成を行う。

## 2 方針

(1) 展示解説ガイド実施に向けて

- ① 博物館ボランティアの分野別勉強会協力のもと、ボランティアによる総合展示及び部門展示解説ガイドを実施する。
- ② 活動においては、指定管理者（沖縄美ら島財団）教育普及担当がコーディネートの役割を担う。
- ③ 解説場所や内容については、「展示解説マニュアル」を基本とする。

(2) 展示解説ガイドボランティア養成について

- ① 博物館教育普及担当は令和7年度総合展示及び部門展示解説ガイドボランティア養成の企画・立案を行う。
- ② 分野別担当学芸員は、解説ガイドの項目及び内容等について監修をおこなう。

## 3 組織体制

(1) 学校団体対象（県内）《実施中》・・・現行通りの体制で実施。

情報センター受付 → 学習プログラム（学校下見必修） \* 県教育普及コーディネート

(2) 一般来館者（修学旅行生）対象

☆総合展示部門

情報センター受付 → \* 沖縄美ら島財団教育普及コーディネート⇔友の会連携

## 4 内容

(1) 開催方法

本養成講座は、

- ① ガイド基礎・・・展示室における、学芸員の資料解説（主に概要・見どころ）受講を実施。  
募集定員を30名以内にする。
- ② 先輩ガイド観察期間・・・③の訓練の前に最低3回以上、7月・8月に先輩展示ガイドの後ろについて学習を深める期間。
- ③ ガイド解説訓練・・・下記 B（待機型：ジブンBOX）ガイド解説訓練を中心にして実施の講座を開催する。

(2) 展示室における、ガイド内容について（通常のガイドボランティアの活動）

**A（案内型）** 30分コース⇒ 総合展示室のみを30分でまわる

(1) 総合展示室5か所ほどの展示項目について、来館者を解説案内する。

(2) 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

本講座は、Bを中心に開催する

**B（待機型）** ジブンボックス⇒総合展示室への配置（時間設定を行う）

(1) 総合展示室の5カ所に配置。一カ所5分程度を目安に来館者に解説する。

(2) 「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

## 5 講座受講対象

(1) ①ガイド基礎・・・学芸員によるガイドを受けるため、全ボランティアを受講対象とする。

(2) ②先輩ガイド観察期間・・・新規の展示ガイド養成講座受講生を対象とする。

(3) ③ガイド実習・・・新規の展示ガイド養成講座受講生を対象とする。

※すでに総合展示ガイドの交付を受けている方は、受講申請書の提出は必要ありません。

そのほかの全ての方々については、受講申請書を提出して下さい。

※本講座は『ガイドを育成する』ことを目的としております。つきましては、受講を希望される際には、その趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 6 講座修了までの流れ

### ①ガイド基礎

☆ボランティア養成講座における専門講座  
第1回～第8回終了後、新規の養成講座受講者は②へ

☆講座修了要件として、ボランティア養成の専門講座は第1回～第8回全部を受講すること。

☆原則として講座の補講は設けない。



### ②先輩ガイド 観察期間

(1)先輩展示ガイドの後ろについて学習  
※ガイドの活動日程・曜日は後日情報提供を行う。  
(2)この参加を経て③ガイド訓練へ  
(3)7月～8月は、先輩ボランティアのガイドの様子を、実際に隣について学習を深めること。(最低2回)

☆最低3回以上参加すること。

☆各位のスケジュールに合わせて計画を行ってよい。



### ③ガイド実習

(1)全5回中2回以上の出席。  
(2)実習では、1日あたり各自2度のガイド実習(実践研修)を行う。  
\*1人=1度に2～3カ所(約10分～15分)

**ガイド基礎 「第6回博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座（①ガイド基礎）」**

| 回 | 開催日・場所   | 時 間                                       | 内 容                                                | 担当者        |
|---|----------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------|
| ① | 5月14日（水） | 13:40～14:00<br>14:00～14:45<br>14:45～15:00 | ○開講 ○ガイドの心得についてほか<br>○美術工芸分野の展示解説について<br>●学芸員への質問等 | 教育普及<br>美工 |
| ② | 5月23日（金） | 14:00～14:45<br>14:45～15:00                | ○考古分野の展示解説について<br>●学芸員への質問等                        | 考古         |
| ③ | 5月29日（木） | 14:00～14:45<br>14:45～15:00                | ○歴史分野の展示解説について（王国時代）<br>●学芸員への質問等                  | 歴史         |
| ④ | 6月4日（水）  | 14:00～14:45<br>14:45～15:00                | ○歴史分野の展示解説について（近現代）<br>●学芸員への質問等                   | 歴史         |
| ⑤ | 6月6日（金）  | 14:00～14:45<br>14:45～15:00                | ○民俗分野の展示解説について<br>●学芸員への質問等                        | 民俗         |
| ⑥ | 6月18日（水） | 14:00～15:00<br>14:45～15:00                | ○人類分野の展示解説について<br>●学芸員への質問等                        | 人類         |
| ⑦ | 6月20日（金） | 14:00～14:45<br>14:45～15:00                | ○地学分野の展示解説について<br>●学芸員への質問等                        | 地学         |
| ⑧ | 6月26日（木） | 14:00～14:45<br>14:45～15:00<br>15:00～15:15 | ○生物分野の展示解説について<br>●学芸員への質問等<br>○今後の取組みについて、打合せ     | 自然         |

※学芸員による総合展示室での展示解説（8分野）及び担当分野について、主に総合展示、また必要に応じて各部門展示に重点を置いた解説を実施。

ボランティアが学校団体の支援に入った時や一般来館者（修学旅行生含む）への解説ガイドを想定し展示室の見どころを紹介、解説してもらう。

※諸事情により内容を変更する場合があります。

※春の全体会とメールで配布した資料から民俗と美術工芸の開催日が入れ替わりました。

**ガイド実習「第6回博物館 総合展示及び部門展示解説ガイドボランティア養成講座」（③ガイド訓練）」**

9月5日(金)、9月10日(水)、9月17日(水)、9月19日(金)、9月27日(土)に、計5回の研修を行った。

## 沖縄県立博物館・美術館 博物館ボランティア活動実施要項

平成 20 年 2 月 13 日  
館長決裁

(趣旨)

第 1 条 沖縄県立博物館・美術館は、博物館が行う教育普及活動または研究資料の収集・整理・充実を図るため、その活動の補助員としてボランティア（以下「博物館ボランティア」という。）を置くことができる。

(博物館ボランティアの活動)

第 2 条 博物館ボランティアは、次の各号に掲げる活動を行う。

- (1) 展示解説、文化講座、体験学習教室、ふれあい体験室、相談室における対応等の教育普及活動全般にわたる補助的活動。
- (2) 調査研究等を推進するために必要な資料の収集に関し、専門知識を生かした補助的な活動。

(登録等)

第 3 条 博物館ボランティアの登録は、博物館ボランティア講座の修了者、沖縄博物館友の会の会員、博物館ボランティア活動を希望する者で、登録票(第 1 号様式)により申請のあった者の中から、沖縄県立博物館・美術館館長(以下「館長」という。)が審査のうえ適当と認められる者について、登録簿(第 2 様式)へ登載を行う。

- 2 館長は登録を受けた博物館ボランティアに対し、博物館ボランティア登録証(第 3 号様式)を交付する。
- 3 登録期間は、登録した日の属する年度の末日までとする。但し、当該博物館ボランティアが希望する場合は審査のうえ登録を更新することができる。
- 4 館長は博物館ボランティア登録者に博物館の名誉を傷つける等の行為があった場合は、登録を取消すことができる。

(研修)

第 4 条 館長は博物館ボランティアの活動が効果的にすすめられるよう、随時研修会を開催する。

(ボランティア室の設置)

第 5 条 館長は博物館ボランティア活動の連絡及び相互交流の場として、ボランティア室を設置する。

(庶務等)

第 6 条 博物館ボランティアの登録は、博物館教育普及担当において処理する。

- 2 博物館ボランティア活動の連絡調整は、博物館教育普及担当と沖縄博物館友の会において処理する。

(雑則)

第 7 条 この要項に定めるもののほか博物館ボランティア活動の実施に必要な事項は、館長が別に定める。

付則

- この要項は、平成 5 年 7 月 1 日から実施する。  
この要項は、平成 12 年 8 月 1 日から実施する。  
この要項は、平成 20 年 2 月 13 日から実施する。

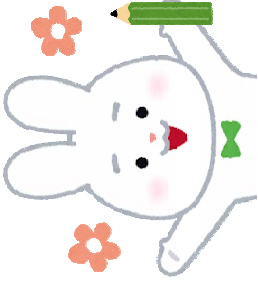
R7年4月9日(水)作成

# ボランティア活動のイメージ ～R7年度の例～

※あくまで参考です。実際の状況は変更になる場合があります。  
 実施日の一か月前には募集を開始している場合があります。

●=教育普及活動のサポート ○=ミーティング

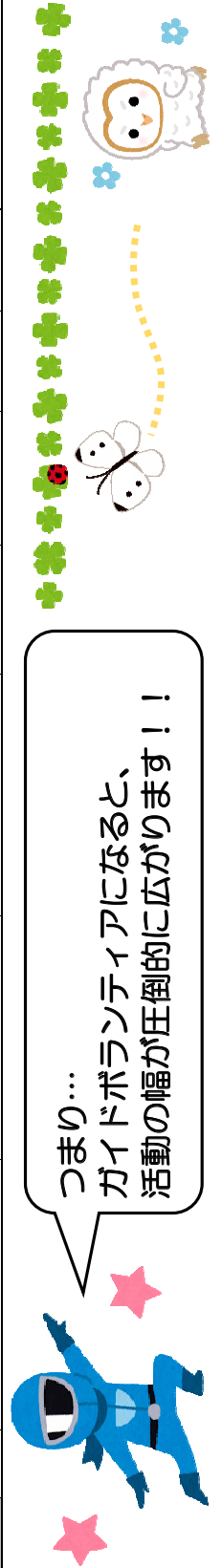
みなさまのご協力、  
 よろしく願います！



## ▼以下の活動は「ボランティア活動記録簿」に記入可能です！！

| 活動範囲                | 区分                      | 活動名                                        | 説明                                                          | 参加方法                               | およその実施予定回数               | 実施時期、およその日程                       | 所要時間        | 一回の募集人数                               | 備考                                                                               |
|---------------------|-------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|-------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 通常ボランティア（進貢船なし）     | ② 学校団体<br>対応            | ●民身体験<br>(小学3年生向け)                         | 県内小学校(3年生)に向けた民身体験のサポートを行います。晴天時は屋外で行います。                   | 県普及担当が事前に募集しますので、参加可能な方はご応募お願いします。 | 8回程度<br>※年度による変動あり       | 11月頃～<br>2月頃、<br>平日(火～金)          | 2～3時間<br>程度 | 15名程度                                 |                                                                                  |
|                     |                         | ●夏休み子どもフェスタ<br>のサポート                       | 学芸員からの要請がある場合、夏休み子どもフェスタのサポートを行います。                         | 県普及担当が事前に募集しますので、参加可能な方はご応募お願いします。 | 6回程度<br>※年度による変動あり       | 7月下旬頃、<br>平日(火～金)                 | 2時間<br>程度   | 2～5名<br>程度<br>※年度による変動あり              | ※プログラムによっては事前物<br>資が必要なものもあります。<br>※事前勉強会の際、材料費を頂<br>くことがございますので、ご協<br>力をお願いします。 |
|                     | ④ 整<br>理<br>料           | ●体験学習教室サポート                                | 学芸員からの要請がある場合、体験学習教室のサポートを行います。                             | 県普及担当が事前に募集しますので、参加可能な方はご応募お願いします。 | 5回程度<br>※年度による変動あり       | 年間を通して<br>実施、<br>平日(火～金)<br>土日、祝日 | 2時間<br>程度   | 2名～5名<br>程度<br>※学芸員からの要請による<br>ため変動あり |                                                                                  |
|                     |                         | ●資料整理ボランティア                                | 沖繩の自然や文化・歴史についての新聞記事の切り抜きを行います。スクラップブックは情報センターで資料として活用されます。 | 指定の日時にボランティア室に集合をお願いします。           | 毎週1回程度                   | 原則：<br>毎週水曜日の午<br>後               |             | 5名～10名<br>程度                          |                                                                                  |
|                     | ⑤ 体<br>験<br>室<br>支<br>援 | ●ふれあい体験室の<br>IPM清掃                         | 毎月1回、ふれあい体験室に展示されている体験キットの拭き掃除を行います。                        | 県普及担当が事前に募集しますので、参加可能な方はご応募お願いします。 | 12回程度<br>(毎月1回)          | 原則：第4月曜日<br>13:20～                | 1時間<br>程度   | 10名程度                                 |                                                                                  |
| ●ふれあい体験室の<br>サポート   |                         | ふれあい体験室にて来館者の体験サポートを行います。                  | ふれあい体験室が閉室中であれば、随時参加可能です。(事前募集等はありません)                      | 全開館日                               | 全開館日<br>平日(火～金)<br>土日、祝日 |                                   |             | 随時参加OKです！                             |                                                                                  |
| ●ふれあい体験室<br>ワークショップ |                         | ふれあい体験室のワークショップのサポートに入ります。                 | ワークショップ開催前に指定管理者が協力をお願いします。(応募手紙等はありません)                    | 原則：<br>毎週土曜日                       |                          |                                   |             |                                       |                                                                                  |
| ⑥ 会                 | ○曜日班定例会                 | 毎月一回、各曜日ごとに集まりのボランティア活動に関する情報共有を行います。      | 各曜日班で決まった日時にボランティア室に集合をお願いします。                              | 12回程度<br>(毎月1回)<br>※各曜日班で調整        | 各曜日班ごとの<br>開催日時          | 1時間<br>程度                         |             |                                       | 【参加対象者】<br>各曜日班メンバー全員                                                            |
|                     | ○ボランティア連絡会              | 毎月1回、各曜日班と各分野別勉強会の世話係が集まり、県普及担当・指定管理者と情報共有 | 県普及担当が指定する日時に各場集合をお願いします。                                   | 10回程度<br>(毎月1回)                    | 原則：<br>第3火曜日<br>13:20～   | 1時間<br>程度                         |             |                                       | 【参加対象者】<br>原則：<br>各曜日班の世話係、                                                      |

| 講   | を行います。                 | 15000～                                                  | 15000～                                           | 15000～                                                               | 分野別勉強会の世話係  |                                                                 |                                                                         |
|-----|------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 講   | ○ボランティア全体会             | 年2回、ボランティア全員が集まり、県普及担当・指定管理者と、1年間のボランティア活動の方針等を確認します。   | 2回<br>(春・秋)                                      | 4月頃、10月頃<br>平日 (火～金)                                                 | 1時間<br>程度   | 【参加対象者】<br>博物館ボランティア全員                                          |                                                                         |
|     | ●封入作業のサポート             | 博物館から学校団体向けに発送している、教育普及プログラム案内の封入作業をお願いします。             | 2回程度                                             | 5月頃、<br>平日 (火～金)                                                     | 3時間<br>程度   | 10名程度                                                           |                                                                         |
|     | ●燻蒸サポート                | 全館燻蒸の際に、ふれあい体験室、博物館実習準備室の物品の養生作業・回復作業をお願いします。           | 2回程度                                             | 7月上旬頃、<br>平日 (月～金)                                                   | 3時間<br>程度   | 10名程度                                                           |                                                                         |
|     | ●夏休み教員向け研修             | 県内の教職員(15名程度)に向けて、 <b>民員体験</b> を行います。                   | 1回程度                                             | 8月頃、<br>平日 (火～金)                                                     | 1～2時間<br>程度 | 10名程度                                                           |                                                                         |
|     | ●新規ボランティア養成講座のサポート(隔年) | 新規ボランティア養成講座の受講者に向けて、 <b>民員体験</b> の実施研修を行います。           | 1回程度                                             | 6月頃、<br>平日 (火～金)                                                     | 1～2時間<br>程度 | 10名程度<br>※ボランティア経験の豊富な方のご協力をお願いいたします。<br>※民員体験の復習としてのご参加も大歓迎です！ |                                                                         |
|     | ●民員体験練習会               | 11月ごろから始まる小学3年生対象の <b>民員体験</b> に向けて、事前練習会を行います。         | 3回程度<br>※休日に隔日で開催予定です。                           | 9月～10月頃、<br>平日 (火～金)                                                 | 2時間<br>程度   | 10名程度<br>※初心者だけでなく、民員体験の経験が豊富な方にもご参加いただけるかと大変助かります。             |                                                                         |
|     | ●小規模校向けガイド             | 離島など小規模(20名以下)の県内学校団体(小中高)に向けて、解説ガイドを行います。              | 10回程度<br>※年度による変動あり                              | 年間を通して<br>実施。<br>平日 (火～日)                                            | 1～2時間<br>程度 | 2名～5名<br>程度                                                     |                                                                         |
|     | ①ガイド                   | ●Aコース<br>(団体密向け<br>案内型ガイド)                              | 団体客(県内外の一般団体、修学旅行生等/10～100名以内)に向けて総合展示室の解説を行います。 |                                                                      |             | 【解説】<br>30分程度                                                   | 使用するマニュアル<br>『博物館総合展示室<br>ガイドマニュアル』<br>作成：各分野別勉強会<br>監修：県普及担当<br>各分野学芸員 |
|     |                        | シンクソックス                                                 | ●Bコース<br>(団体密向け<br>待機型ガイド)                       | 総合展示室内の指定の場所に待機し、解説ガイドを希望する団体客(県内外の一般団体、修学旅行生等/100名以上)に向けて展示解説を行います。 |             | 【解説】<br>30分程度                                                   |                                                                         |
|     |                        |                                                         | ●個人客向け<br>待機型ガイド                                 | 総合展示室内の指定の場所に待機し、解説ガイドを希望する個人客に向けて展示解説を行います。                         | 開館日毎日       | 全開館日<br>9:00から<br>16:00                                         |                                                                         |
| その他 | ○総合ガイドボランティア           | 年2回、ガイドボランティアと県普及担当・指定管理者で集まり、ガイド活動のふりかえりや周知事項の確認を行います。 | 年2回程度                                            | 平日 (火～金)                                                             | 1時間<br>程度   | 【参加対象者】<br>ガイドボランティア全員                                          |                                                                         |



4月1日発行 第208号(R7年4月)

# 博物館 ボランティア通信 4月号!

春... お散歩日和...!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098 - 851 - 5401  
FAX: 098 - 941 - 3650

### 令和7年度 博物館班メンバー紹介

|     |         |           |           |
|-----|---------|-----------|-----------|
| 館長  | 里井 洋一   | 山崎 真治     | 山本 正昭     |
| 副館長 | 親富 祖 ちか | 臨時職員 (未定) | 臨時職員 (未定) |
| 班長  | 宇佐 美 賢  | 新山 颯大     | 大湾 ゆかり    |

### 令和7年度 ボランティア登録者

|      |       |      |           |         |           |
|------|-------|------|-----------|---------|-----------|
| 歴史   | 崎原 恭子 | 人類   | 山崎 真治     | 考古      | 山本 正昭     |
| 歴史   | 大城 直也 | 人類   | 臨時職員 (未定) | 民俗      | 臨時職員 (未定) |
| 美術工芸 | 景山 千裕 | 地学   | 新山 颯大     | 学芸員業務補佐 | 大湾 ゆかり    |
| 美術工芸 | 伊禮 拓郎 | 生物   | 菊川 章      | 教育普及    | 平川 信幸     |
| 学芸補助 | 勝連 涼子 | 事務補助 | 大底 ひろみ    | 普及補助    | 城間 智子     |

今年度は54名の方がボランティア活動を継続して登録してくださいました。そのうち、10期生(令和6年度新加入生)は12名です。今年度も、どうぞよろしくお願いたします!

裏面につづきますー

4月1日発行 第208号(R7年4月)

## お知らせ① ボランティア全体会の日程について

【日程】 令和7年4月15日(火)  
【時間】 15:00~16:30  
【場所】 3階 講堂  
【対象】 ボランティア全員  
※R6年度の「ボランティア証」「駐車許可証」をお持ちください。会場にてR7年度の証と交換いたします。

### お知らせ② ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程                        | 募集内容                                         | 募集人数  |
|---------------------------|----------------------------------------------|-------|
| 4月28日(月)<br>13:20~14:20頃迄 | ふれあい体験室 IPM 清掃<br>ふれあい体験室の体験キットの拭き掃除などを行います。 | 10名程度 |

### お知らせ③ 3月の教育普及関連催事

| 日程                      | 内容                                                                                                      | 場所                      |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 4月10日(木)<br>14:00~15:00 | 常設展示解説会(歴史)<br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説:大城 直也(歴史担当学芸員)                                          | 13:30<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 4月12日(土)<br>14:00~16:00 | 学芸員講座<br>【御後絵(琉球国王の肖像画)と東アジアの帝王像<br>—国王の正面向きの意味を考える—】<br>定員:200名 ※当日先着順(開場13:30)<br>講師:平川 信幸(教育普及担当学芸員) | 3F 講堂                   |
| 4月19日(土)<br>14:00~16:00 | 文化講座<br>【ゾノムから見た沖縄の人類史】<br>定員:200名 ※当日先着順(開場13:30)<br>講師:本村 亮介氏(琉球大学大学院 医学研究科 教授)                       | 3F 講堂                   |
| 4月26日(土)<br>14:00~15:00 | 博物館パワーカードツアー(考古)<br>定員:12名 ※事前申込(4/19(土)から受付)<br>解説:山本 正昭(考古担当学芸員)                                      | 13:50<br>ふれあい体験室前<br>集合 |

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

5月1日発行 第210号(R7年5月)

# 博物館

# ボランティア通信5月号!

ガイド養成講座  
始動…!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098 - 851 - 5401  
FAX: 098 - 941 - 3650

## 【重要】ボランティアガイド養成講座について

春のボランティア全体会でご案内した通り、今年度の5月14日(水)から「博物館ガイドボランティア養成講座」が開講されます。この講座は、博物館でガイドするボランティアの養成を目的としております。本講座修了後には「ガイド資格」を取得することができ、「博物館ボランティアガイド」として活動することが可能になります。博物館ボランティアガイドは、観光客や修学旅行生等に博物館の魅力を伝える重要な役割を担います。

講座を通じて、博物館の見どころを短時間で分かりやすく解説する技術を磨くことができます。これからガイド資格の取得をご希望される方は、申請書の提出が必要となります。お申し込みの締切は5月9日(金)までですので、どうぞお早めにお申し込みください。なお、既にガイド資格をお持ちの方は申請書の提出は不要です。詳しい内容は同封の資料をご確認のうえ、お申し込みください。

皆さまのご応募・ご参加を心よりお待ちしております。

博物館班 教育普及担当

## お申し込み方法

申請用紙に記入し、ボランティア室のBOXに投函してください。

申し込み締切: **5月9日(金)まで**

対象: 新たにガイド資格取得を希望される方

詳細は添付資料「令和7年度博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座実施要項」をご確認ください。

※既にガイド資格をお持ちの方で、講座に参加をご希望の方は、申請書のご提出は不要です。

【注意事項】日時の変更はありませんが、講座内容は諸事情により急遽変更となる場合があります。その際、変更したスケジュールをボランティア室に掲示いたします。予めご了承ください。

裏面につづきます→

5月1日発行 第210号(R7年5月)

## 【重要】旧ボランティア証の回収について

まだR6年度のボランティア証をお持ちの皆さまへお願いです。旧ボランティア証は回収いたしますので、博物館班 教育普及担当まで直接お持ち込みください。

対応可能な時間: 平日 9:00~17:00 (土日・祝日は休み)

皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※担当者不在の場合があるため、事前にご連絡いただいただけると助かります。

## お知らせ① ボランティア連絡会の日程について

【日程】 令和7年5月20日(火)

【時間】 15:00~16:00

【場所】 美術館講座室

【対象】 ボランティア世話係、分野別勉強会世話係

## お知らせ② ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記入をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程                                               | 募集内容                                                  | 募集人数  |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------|
| ① 5月22日(木)<br>② 5月27日(火)<br>9:30~12:00<br>※②は予備日 | 封入作業ボランティア<br>博物館から県内中学校(約550校)向けに発行する文書の封入作業をお願いします。 | 10名程度 |
| 5月28日(月)<br>13:20~14:20                          | ふれあい体験室 IPM 清掃<br>ふれあい体験室の体験キットの拭き掃除等を行います。           | 10名程度 |
| 5月30日(金)<br>9:00~10:00                           | 小規模校ガイド 多良間小学校<br>小学生向けにガイドを行います。<br>5~6年生 14名 引率4名   | 4名程度  |
| 6月6日(金)<br>16:40~17:30                           | 満星小学校<br>小学生向けにガイドを行います。<br>5~6年生 25名 引率3名            | 4名程度  |

2枚目につづきます→

5月1日発行 第210号(R7年5月)

お知らせ③ 5月の教育普及関連催事

| 日程                      | 内容                                                                                                   | 場所                       |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 5月8日(木)<br>14:00～15:00  | 常設展示解説会(人類)<br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説:山崎 真治(人類学担当学芸員)                                      | 13:30<br>ふれあい体験<br>至前 集合 |
| 5月10日(土)<br>14:00～16:00 | 国際博物館の日2025記念事業 博物館学芸員講座<br>「柳田國男生誕150年ー海上の道を考えるー」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br>講師:山崎 真治(人類学担当学芸員) | 3F 講堂                    |
| 5月17日(土)<br>14:00～16:00 | 文化講座<br>「近世地球における抜荷<br>ー17世紀から18世紀初めの時期を中心にしてー」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br>講師:上原 兼善氏(岡山大学 名誉教授)  | 3F 講堂                    |
| 5月24日(土)<br>14:00～15:00 | 博物館バックヤードツアー(人類)<br>定員:12名 ※事前申込(5/17(土)から受付)<br>解説:山崎 真治(人類学担当学芸員)                                  | 13:50<br>ふれあい体験<br>至前 集合 |

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)



6月1日発行 第211号(R7年6月)

# 博物館 ボランティア通信 6月号!

かたつむりの季節!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班(直通)  
TEL: 098 - 851 - 5401  
FAX: 098 - 941 - 3650

お知らせ① ボランティア連絡会の日程について

- 【日程】 令和7年6月17日(火)
- 【時間】 15:00～16:00
- 【場所】 美術館講座室
- 【対象】 ボランティア世話係、分野別勉強会世話係

お知らせ② ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程                                                           | 募集内容                                                 | 募集人数  |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------|
| 6月6日(金)<br>15:45～16:50<br>※ボランティア準備<br>5月号から隔日が変更<br>しております。 | 小規模校ガイド 海星小学校<br>小学生向けにガイドを行います。<br>6年生 25名 引率3名     | 4名程度  |
| 6月24日(火)<br>13:20～14:20                                      | ふれあい体験室 IPM 清掃<br>ふれあい体験室の体験キットの<br>拭き掃除等を行います。      | 10名程度 |
| 7月3日(木)<br>09:00～12:00                                       | 燻蒸作業サポート(養生)<br>燻蒸の前に、ふれあい体験室にて、<br>資料を養生します。        | 10名程度 |
| 7月9日(水)<br>09:00～12:00                                       | 燻蒸作業サポート(回復)<br>燻蒸が終わった後、ふれあい体験室にて、<br>養生した資料を回復します。 | 10名程度 |

裏面につづきます→

6月1日発行 第211号(17年6月)

**お知らせ③ 6月の教育普及関連行事**

| 日程                      | 内容                                                                                                               | 場所                      |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 6月12日(木)<br>14:00～15:00 | <b>特設展示解説会(地学)</b><br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br><b>解説:宇佐美 寛(地学担当学芸員,博物館班 班長)</b>                             | 13:30<br>ふれあい体験<br>室前集合 |
| 6月14日(土)<br>14:00～16:00 | <b>学芸員講座</b><br>「資料からさぐる沖縄の製糖技術の変遷史」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br><b>講師:大濱 ゆかり(民俗学担当学芸員)</b>                   | 3F 講堂                   |
| 6月21日(土)<br>14:00～16:00 | <b>文化講座</b><br>「島嶼で開べる生物進化と生物多様性の保全:<br>陸産貝類の例」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br><b>講師:平野 尚浩氏(琉球大学 海洋自然科学科 助教)</b> | 3F 講堂                   |
| 6月28日(土)<br>14:00～15:00 | <b>博物館バックヤードツアー(考古)</b><br>定員:12名 ※事前申込(6/21(土)から受付)<br><b>解説:山本 正昭(考古学担当学芸員)</b>                                | 13:50<br>ふれあい体験<br>室前集合 |

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200(県立博物館・美術館 代表)

**お知らせ④ ガイドボランティア養成講座 日程変更のお知らせ**

5月14日(水)より開催中の「ガイドボランティア養成講座」について、一部講座の日程が変更となりました。

**変更前のスケジュール: 6月6日(金) 美術工芸分野の講座**  
**変更後のスケジュール: 6月6日(金) 民俗分野の講座**

受講予定の方は、最新の日程をご確認の上、ご参加くださいますようお願いいたします。



2枚目につづきます→

**お知らせ⑤ 夏休み子どもフェスタについて**

今年度も「夏休み子どもフェスタ」のボランティアサポーターをお願いいたします。  
「夏休み子どもフェスタ」は、子どもたちに体験学習を通じて夏休みの自由研究のヒントとなる貴重な体験を提供するイベントです。

毎年、多くのボランティアの皆様に応募いただいておりますが、会場の広さの関係で定員に限りがあるため、抽選を行っております。そのため、お申し込みいただいても、抽選の結果によってはご参加いただけない場合がございます。何卒ご了承ください。

また、応募の際は1人2教室までの申し込みをお願いしております。これは、例年応募者多数であるため、できるだけ多くのボランティアの皆様に体験頂くためです。ご了承ください。

また、一部の活動では事前の勉強会(打ち合わせ)が必要となります。応募の際は、実施日だけでなく、事前勉強会の日程もあわせてご確認ください。

皆様の温かいご支援を心よりお待ちしております。

博物館班 教育普及担当

**●募集および結果発表日程**

**募集: 6月1日(日)～6月23日(月)まで**  
**抽選結果発表: 6月25日(水) ※ボランティア室に掲示いたします。**

**●申込についてのご案内**

- (1) ボランティア活動の場をできるだけ多くつくるため、お申し込みは「1人2教室」までとします。  
※定員を超える希望があった場合は抽選となり、期日を過ぎても募集人数に達していないプログラムは、再募集をかけます。再募集の場合は、「1人2教室」の条件を外すものとします。
- (2) 一部のプログラムを除いて、本番の一週間前頃から事前勉強会を行います。材料費徴収へのご理解とご協力をお願いいたします。
- (3) 希望者は、ボランティア室の募集用紙にご記入をお願いします。



今年の夏も  
よろしくおねがいしますワン!

裏につづきます→

| 日程                          | 担当<br>学芸員         | タイトル                                 | ボランティア<br>募集人数               | ボランティア内容                                                                                        | 事前勉強会<br>(場所・実習室)               |
|-----------------------------|-------------------|--------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 7月29日<br>(火)<br>9:00~11:30  | 宇佐美<br>(地学)       | 石!石!石!<br>博物館と<br>街をめぐる<br>探検ツアー     | 3名                           | 安全管理をお願いします。<br>【注意】博物館内を約30分、<br>屋外を約1時間歩きますので、暑さ<br>対策と水分補給を十分に行ってくだ<br>さい。                   | 7月23日<br>(水)<br>10:00~<br>11:30 |
| 7月29日<br>(火)<br>13:00~14:30 | 山崎、<br>渡辺<br>(人類) | 洞窟遺跡の<br>堆積物を<br>調査せよ!               | 3名                           | 体験のサポートや安全管理をお願い<br>します。<br>※事前勉強会および当日は堆積物を<br>扱います。汚れてもよい服装でお越<br>しください。                      | 7月25日<br>(金)<br>10:00~<br>11:30 |
| 7月29日<br>(火)<br>15:00~16:30 | 菊川<br>(生物)        | カタツムリの<br>ふしぎに<br>せまって<br>みよう!       | 3名                           | カタツムリの殻を使った立体図鑑づ<br>くり体験のサポートや安全管理をお<br>願います。<br>※事前勉強会はありません。                                  | 勉強会なし                           |
| 7月30日<br>(水)<br>10:00~11:30 | 森下<br>(民俗)        | ソテツの虫かご<br>づくりと芭蕉葉<br>でセミを捕まえ<br>よう! | 3名                           | 体験のサポート、安全管理をお願い<br>します。雨でなければ実際に虫捕り<br>体験を行う予定です。<br>【注意】屋外作業のため、暑さ対策<br>と水分補給を十分に行ってください<br>。 | 7月23日<br>(水)<br>14:00~<br>15:30 |
| 7月30日<br>(水)<br>13:00~14:30 | 山本<br>(考古)        | 琉球銭<br>【金貨世賞】<br>をつくらう<br>(1日目)      | 4名                           | セッティング、片付け、体験のサポ<br>ート、安全管理をお願いします。<br>※2日間とも同じ内容で開催しま<br>す。                                    | 7月25日<br>(金)<br>14:00~<br>15:30 |
| 7月31日<br>(木)<br>10:00~11:30 | 伊禮<br>(美術<br>工芸)  | 香りを聞こう!<br>香り袋と<br>間香体験              | 4名<br>(間香イベン<br>ト未経験者優<br>先) | 体験のサポート、安全管理をお願い<br>します。<br>【注意】勉強会では材料費として<br>1,000円を頂きます。勉強会で作っ<br>た香り袋はお持ち帰りいただけま<br>す。      | 7月24日<br>(木)<br>10:00~<br>11:30 |
| 7月31日<br>(木)<br>13:00~14:30 | 山本<br>(考古)        | 琉球銭<br>【金貨世賞】<br>をつくらう<br>(2日目)      | 4名                           | セッティング、片付け、体験のサポ<br>ート、安全管理をお願いします。<br>※2日間とも同じ内容で開催しま<br>す。                                    | 7月25日<br>(金)<br>14:00~<br>15:30 |
| 7月31日<br>(木)<br>15:00~16:30 | 新山<br>(地質)        | ズームイン!<br>砂粒のミクロの<br>世界を<br>見てみよう    | 2名                           | 顕微鏡の使い方などの体験サポ<br>ート、安全管理をお願いします。                                                               | 7月24日<br>(木)<br>14:00~<br>15:30 |

7月1日発行 第212号(R7年7月)

# 博物館 ボランティア通7月号!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098 - 851 - 5401  
FAX: 098 - 941 - 3650



夏だ!海だ!  
ひまわいだ!

**お知らせ① 全館燻蒸・消毒について**

全館燻蒸にともない、以下の日程はメンテナンス休館となります。

## 7月2日(水)~7月10日(木)まで

※メンテナンス休館中は、燻蒸ボランティアを除き入館できません。  
 ・燻蒸ボランティア (養生) …7月3日(木) 9:00~12:00  
 ・燻蒸ボランティア (回復) …7月9日(水) 9:00~12:00

**お知らせ② ボランティア連絡会の日程について**

【日程】 令和7年7月15日(火)  
 【時間】 15:00~16:00  
 【場所】 美術館講座室  
 【対象】 ボランティア世話係、分野別勉強会世話係



裏面につづきます→

7月1日発行 第212号(R7年7月)

お知らせ③ ポランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ポランティア室の掲示板へご記入をお願いします。募集の詳細につきましては、ポランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程                      | 募集内容                                               | 募集人数  |
|-------------------------|----------------------------------------------------|-------|
| 7月3日(木)<br>9:00~12:00   | 燻蒸作業サポート(養生)<br>燻蒸消毒の前に、ふれあい体験室にて、資料を養生します。        | 10名程度 |
| 7月9日(水)<br>9:00~12:00   | 燻蒸作業サポート(回復)<br>燻蒸消毒が終わった後、ふれあい体験室にて、養生した資料を回復します。 | 10名程度 |
| 7月28日(月)<br>13:20~14:20 | ふれあい体験室 IPM清掃<br>ふれあい体験室の体験キットの拭き掃除を行います。          | 10名程度 |
| 8月1日(金)<br>13:00~14:00  | 夏休み教員向け講座(民具体験実演)<br>小学校の教員向けに、民具体験のレクチャーを行います。    | 12名程度 |



お知らせ④ 7月の教育普及関連催事

| 日程                      | 内容                                                                                                   | 場所                  |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 7月17日(木)<br>14:00~15:00 | 常設展示解説会(生物)<br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説:菊川 章(生物担当学芸員)                                        | ふれあい体験室前集合          |
| 7月12日(土)<br>14:00~16:00 | 琉球王国尚王統成立600年記念事業 学芸員講座<br>「第一尚氏王統期のグスク—縄張りの完成形を見る—」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場13:30)<br>講師:山本 正昭(考古担当学芸員) | 3F 講堂               |
| 7月19日(土)<br>13:30~16:30 | 文化講座<br>「グスク発掘調査最前線」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場13:30)<br>講師:菅原 広史氏 ほか3名                                    | 3F 講堂               |
| 7月26日(土)<br>14:00~15:00 | 博物館/バックヤードツアー(地質)<br>定員:12名 ※事前申込(7/19(土)から受付)<br>解説:新山 颯大(地質担当学芸員)                                  | 13:50<br>ふれあい体験室前集合 |

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

7月1日発行 第212号(R7年7月)

夏休みこどもフェスタの日程(事前勉強会があるものは必ず参加をお願いします)

※7月29日(火)「石! 石! 石! 博物館と石をめぐる体験ツアー」は6月号より時間帯・一部内容が変更となっております。ご確認ください。

| 日程                      | 担当学芸員     | タイトル                                                          | ポランティア募集人数 | ポランティア内容                                                                  | 事前勉強会(場所・実習室)           |
|-------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 7月29日(火)<br>9:00~11:30  | 宇佐美(地学)   | 石! 石! 石! 博物館と石をめぐる探検ツアー                                       | 3名         | 安全管理をお願いします。<br>【注意】博物館内を約30分、屋外を約2時間歩きますので、暑さ対策と水分補給を十分に行ってください。         | 7月23日(水)<br>10:00~11:30 |
| 7月29日(火)<br>13:00~14:30 | 山崎 渡辺(人類) | 河原遺跡の堆積物を調査せよ!                                                | 3名         | 体験のサポートや安全管理をお願いします。<br>※事前勉強会および当日は堆積物を扱います。汚れてもよい服装でお越しください。            | 7月25日(金)<br>10:00~11:30 |
| 7月29日(火)<br>15:00~16:30 | 菊川(生物)    | カタツムリのカタツムリの殻を使った立体図鑑づくり体験のサポートや安全管理をお願いします。<br>※事前勉強会はありません。 | 3名         | カタクムリノ殻を使った立体図鑑づくり体験のサポートや安全管理をお願いします。<br>※事前勉強会はありません。                   | 勉強会なし                   |
| 7月30日(水)<br>10:00~11:30 | 森下(民俗)    | ソテツの虫かごづくりと芭蕉葉でセミを捕まえてみよう!                                    | 3名         | ソテツの虫かごづくりと芭蕉葉でセミを捕まえてみよう!<br>【注意】屋外作業のため、暑さ対策と水分補給を十分に行ってください。           | 7月23日(水)<br>14:00~15:30 |
| 7月30日(水)<br>13:00~14:30 | 山本(考古)    | 琉球銭【金園世寶】をつくらう(1日目)                                           | 4名         | セッティング、片付け、体験のサポート、安全管理をお願いします。<br>※2日間とも同じ内容で開催します。連続講座ではありません。          | 7月25日(金)<br>14:00~15:30 |
| 7月31日(木)<br>10:00~11:30 | 伊禮(美術 工芸) | 香りを聞こう! 香り袋と 間香体験                                             | 4名         | 体験のサポート、安全管理をお願いします。<br>【注意】勉強会では材料費として1,000円を頂きます。勉強会で作った香り袋はお持ち帰りができます。 | 7月24日(木)<br>10:00~11:30 |
| 7月31日(木)<br>13:00~14:30 | 山本(考古)    | 琉球銭【金園世寶】をつくらう(2日目)                                           | 4名         | セッティング、片付け、体験サポート、安全管理をお願いします。<br>※2日間とも同じ内容で開催します。連続講座ではありません。           | 7月25日(金)<br>14:00~15:30 |
| 7月31日(木)<br>15:00~16:30 | 新山(地質)    | ズームイン! 砂粒のミクロの世界を見てみよう                                        | 2名         | 顕微鏡の使い方などの体験サポート、安全管理をお願いします。                                             | 7月24日(木)<br>14:00~15:30 |

8月1日発行 第213号(R7年8月)

# ボランティア通 8月号!

にぎやか夏日和!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098 - 851 - 5401  
FAX: 098 - 941 - 3650

今年度、  
民俗の森下さん、  
人類の渡辺さん、  
美術工芸の國吉さんが  
加わりました!

博物館 メンバー紹介 (令和7年度8月1日版)

|      |         |      |        |             |        |
|------|---------|------|--------|-------------|--------|
| 館長   | 里井 洋一   | 人類   | 山崎 真治  | 考古          | 山本 正昭  |
| 副館長  | 親富 祖 ちか | 人類   | 渡辺 みどり | 民俗          | 森下 愛子  |
| 班長   | 宇佐 美 實  | 地学   | 新山 颯太  | 学芸員業務<br>補佐 | 大湾 ゆかり |
| 歴史   | 崎原 恭子   | 生物   | 菊川 章   | 教育普及        | 平川 信幸  |
| 歴史   | 大城 直也   | 事務補助 | 大庭 ひろみ | 教育普及<br>補助  | 城間 智子  |
| 美術工芸 | 國吉 支乃   |      |        |             |        |
| 美術工芸 | 伊禮 拓郎   |      |        |             |        |
| 学芸補助 | 勝連 涼子   |      |        |             |        |

8月以降も  
よろしくお願ひします!

裏面につづきますー

8月1日発行 第213号(R7年8月)

**お知らせ① ボランティア連絡会の日程について**

【日程】 令和7年8月19日(火)  
【時間】 15:00~16:00  
【場所】 博物館実習室  
【対象】 ボランティア世話係、分野別勉強会世話係

**お知らせ②「ガイドボランティア訓練」日程について**

令和7年度ガイドボランティア講座に登録されている方へ

9月に実施を予定しております「ガイドボランティア訓練」は、下記の日程のうちいずれか2日間をお選びいただき、ご参加くださいますようお願いいたします。  
※全4日程すべてにご参加いただく必要はございません。  
※都合がつかない場合は、恐れ入りますが博物館班 教育普及担当までご相談ください。  
当日は、開始時刻までにお集まりいただきますようお願いいたします。

**対象:** 令和7年度ガイドボランティア講座登録者

**内容:** ガイドの実施練習を行います。ガイドする箇所は  
シンブンボックスの場所  
①琉球王国の成立、②万国津梁の礎、③通寶船  
④琉球王国の衰亡、⑤米置真面とナランプレート  
を予定しています。(他の場所でも大歓迎!)

**当日の持ち物:** ガイドマニュアル、鉛筆等の筆記用具  
**集合場所:** エントランスホール (博物館常設展付近)

**「ガイドボランティア訓練」日程**

|   |          |             |
|---|----------|-------------|
| ① | 9月5日(金)  | 14:00~16:00 |
| ② | 9月10日(水) | 14:00~16:00 |
| ③ | 9月17日(水) | 10:00~12:00 |
| ④ | 9月19日(金) | 14:00~16:00 |

※上記4日程のうち、ご都合のよろしい2日間をお選びいただき、ご参加をお願いします。  
※すべての日程にご参加いただく必要はございません。

ガイド講座もしよじよ  
スタート!

2枚目につづきますー

8月1日発行 第213号(R7年8月)

**お知らせ③ 夏休み期間中のご協力をお願い**

令和7年度ガイドボランティア講座に登録されている方へ  
8月は夏休み期間中のため、多くの子どもたちが来館される見込みです。  
この機会に、先輩ガイドさんの案内を観察したり、ふれあい体験室で来館者との交流を行おうとしてご参加いただければと存じます。

ご都合のつく方は、ぜひご協力賜りますようお願いいたします。  
※なお、ふれあい体験室での交流活動につきましては、事前の応募や予約は不要です。  
来館されたタイミミングでご参加いただけますので、お気軽に足をお運びください。



**お知らせ④ ボランティア募集**

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いいたします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程                      | 募集内容                                                   | 募集人数  |
|-------------------------|--------------------------------------------------------|-------|
| 8月1日(金)<br>13:00~14:00  | <b>夏休み教員向け講座(民具体験実演)</b><br>小学校の教員向けに、民具体験のレクチャーを行います。 | 12名程度 |
| 8月25日(月)<br>13:20~14:20 | <b>ふれあい体験室 IPM 清掃</b><br>ふれあい体験室キットの拭き掃除等を行います。        | 10名程度 |

**お知らせ⑤ 8月の教育普及関連催事**

| 日程                      | 内容                                                                                                                    | 場所                  |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 8月7日(木)<br>14:00~15:00  | <b>常設展展示解説会(考古)</b><br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説:山本 正昭(考古担当学芸員)                                                | 13:30<br>ふれあい体験室前集合 |
| 8月9日(土)<br>14:00~16:00  | <b>学芸員講座</b><br>「あるくみる きく」そして対話する<br>～民俗学者・宮本常一流フィールドワークで地域の未来をつくる!～<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br>講師:森下 寛子(民俗担当学芸員) | 3F 講堂               |
| 8月16日(土)<br>14:00~16:00 | <b>文化講座</b><br>「首里城復興基金(寄付金)を活用した<br>令和の首里城復元について」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br>講師:城間 太基 氏(首里城復興担当)                 | 3F 講堂               |
| 8月23日(土)<br>14:00~15:00 | <b>博物館バックヤードツアー(生物)</b><br>定員:12名 ※事前申込(8/16(土)から受付)<br>解説:菊川 章(生物担当学芸員)                                              | 13:50<br>ふれあい体験室前集合 |

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200(県立博物館・美術館 代表)

8月1日発行 第213号(R7年8月)

**新職員からのコメント!**

R7年度新職員からのコメントです!  
みなさま、よろしくお願ひします!



**森下 寛子 (民俗担当)**

民俗担当学芸員の森下愛子です。大城沙織さんが勉強を頑張っている間のピンチヒッターとして赴任しました。昨年までは大宜味村にて文化財保護や、自然に育まれた歴史・文化体験を子ども連に届ける仕事をしていました。短い間ですが、皆様ともたくさん交流できたら嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。

**渡辺 みどり (人類学担当)**

今年度5月よりお世話になっております。渡辺みどりと申します。人類の漂捕さんの後任で参りました。期間は今年度の予定ですので次の方へ繋げていけるように尽力いたします。今年度の1、2月の恩納村での移動展も担当させていただくことになりました。こちらでもみなさまとより関わりますことを楽しみにしております。どうぞご助言、お力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

**國吉 史乃 (美術工芸担当)**

お世話になっております。國吉史乃です。このたび、産休に入られた篠原さんの代理として、7月9日より来年3月末まで、再び博物館の業務に携わらせていただくこととなりました。これまで真摯にご指導くださった皆さまへの感謝の気持ちを持って、少しでもご恩返しができるよう、誠心誠意努めてまいります。今後とも変わらぬご厚情にご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。



9月1日発行 第214号(R7年9月)

# 博物館 ボランティア通 9月号!

お月見びより!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班(直通)  
TEL: 098-851-5401  
FAX: 098-941-3650

**お知らせ① ボランティア連絡会の日程について**

【日程】令和7年9月17日(水)  
【時間】15:00~16:00  
【場所】美術館講座室  
【対象】ボランティア世話係、分野別勉強会世話係  
※ 第3火曜日(9月16日)が休館日のため、翌日の9月17日(水)に開催いたします。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**お知らせ② ボランティア募集**

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記入をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程                       | 募集内容                                | 募集人数  |
|--------------------------|-------------------------------------|-------|
| 9月22日(月)<br>13:20~14:20  | ふれあい体験室 IPM 清掃<br>体験キット等の拭き掃除を行います。 | 10名程度 |
| 10月21日(火)<br>12:00~13:00 | 小規模校ガイド 座間味小学校<br>1年生10名、2年生3名      | 4名程度  |

裏面につぎます→

9月1日発行 第214号(R7年9月)

# お知らせ③ 9月の教育普及催事

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

| 日程                      | 内容                                                                                                                  | 場所                  |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 9月11日(木)<br>14:00~15:00 | 常設展示解説会(教育普及)<br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説:平川 信幸(教育普及担当学芸員)                                                  | 13:30<br>ふれあい体験室前集合 |
| 9月13日(土)<br>14:00~16:00 | 琉球王国尚王統成立600年記念事業 学芸員講座<br>「王権の痕跡-第一尚氏ゆかりの遺跡を辿る」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br>講師:山本 正昭(考古担当学芸員)                   | 3F 講堂               |
| 9月20日(土)<br>14:00~16:00 | 文化講座<br>「マグマが語る琉球列島の形成史<br>—大陸と海の地質をつなぐもの—」<br>定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30)<br>講師:谷 雄一郎 氏<br>(国立科学博物館 地学研究所 館物科学研究グループ) | 3F 講堂               |
| 9月27日(土)<br>14:00~15:00 | 博物館/バックヤードツアー(地学)<br>定員:12名 ※事前申込(9/20土)から受付<br>解説:宇佐美 賢(博物館班長、地学担当学芸員)                                             | 13:50<br>ふれあい体験室前集合 |

**【お礼】夏イベントのご協力 誠にありがとうございました!**

7月29日~31日に開催された「夏休み子どもフェスタ」、そして8月1日の「夏休み教員向け講座」では、ボランティアの皆さまにたくさんのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

猛暑の中、屋外での作業も含まれる体験教室では、皆さまが快く参加・協力してくださったおかげで、どの教室も安全で充実した内容となりました。子どもたちにとっても、楽しくて思い出に残る夏のひとときになったことと思います。

また、教員向け講座では、民具体験の解説のコツや子どもへの声かけのポイントなど、先生方にとっても学びの多い時間となりました。現場での知恵や工夫を共有していただき、本当にありがとうございました。今後とも、変わらぬご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(教育普及担当)

▲「ソラツツの中かごづくりと芭蕉葉でせみを捕まえるよ!」の様子

▶「金門世帯をつくらう!」の様子

2枚目につぎます→

9月1日発行 第214号(R7年9月)



「夏休み教員向け講座」の様子



本当に  
ありがとう  
ございました！



### 【再掲】「ガイドボランティア訓練」日程について

令和7年度 ガイドボランティア講座に登録されている方へ

9月に実施を予定しております「ガイドボランティア訓練」は、下記の日程のうちいずれか2日間をお選びいただき、ご参加くださいますようお願いいたします。  
※すべての日程にご参加いただく必要はございません。  
ご都合がつかない場合は、恐れ入りますが博物館班 教育普及担当（098-851-5401）までご相談ください。

対象：令和7年度 ガイドボランティア講座 登録者

内容：ガイドの実施練習を行います。  
ガイドする箇所はシンブンボックスの場所：  
①琉球王国の成立、②万国津梁の鐘、③進貢船  
④琉球王国の善亡、⑤米夏真面とサンパレーラート  
を予定しています。（他の場所でも大歓迎！）

当日の持ち物：ガイドマニュアル、鉛筆等の筆記用具  
（展示室内では、ボールペン・シャープペンの  
使用ができません）

集合場所：エントランスホール（博物館常設展付近）

「ガイドボランティア訓練」 日程

|            |             |
|------------|-------------|
| ① 9月5日(金)  | 14:00～16:00 |
| ② 9月10日(水) | 14:00～16:00 |
| ③ 9月17日(水) | 10:00～12:00 |
| ④ 9月19日(金) | 14:00～16:00 |

※ご都合のよろしい2日間をお選びいただき、ご参加をお願いいたします。

※すべての日程にご参加いただく必要はございません。

▲ガイドマニュアル  
※ 6月14日(火)のガイド講座で  
配布したものと  
同じです。



裏面につづきます→

9月1日発行 第214号(R7年9月)

### 【重要】工事に伴う一部施設休室のお知らせと今後の活動について

いつも博物館・美術館の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。このたび博物館・美術館の施設において、一部休室となる期間がございますので、下記のとおりお知らせ申し上げます。  
なお、今後のボランティア活動につきましては、継続して実施する予定ですが工事の進捗状況により、一部活動を縮小または変更する可能性があります。その際にはご連絡のうえ、可能な限りご迷惑をおかけしないよう配慮・対応してまいります。今後とも、博物館・美術館への変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 《HP 公表文》

L E D 化等工事に伴う一部休室予定について

沖縄県立博物館・美術館では、館内全室照明設備L E D 化工事、天井耐震化工事等のため、令和8年9月頃から令和10年3月頃までの間、展示室や共用部分等の一部休室を予定しています。

一部休室の期間中も館内での展覧会開催以外の資料の収集・保存、調査研究、教育普及等の活動は通常どおり実施してまいります。

また、ふれあい体験室、情報センター、ミュージアムショップ、カフェ、貸施設については、通常通り運営を予定しておりますが、2～3ヶ月の休室を予定しています。  
今年度予定している各工事の実施設設計後、工事工程等の詳細が確定次第、貸施設を含む各施設の開室・休室予定や貸出可能予定期間、館内外での実施予定事業等について、当館ホームページ等で随時お知らせしてまいります。

**一部休室期間は、工事の進捗状況等により前後する場合がありますので、ご了承ください。**

皆様には長い期間ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ  
沖縄県立博物館・美術館  
代表番号：098-941-8200  
時間：9：00～18：00

10月1日発行 第215号 (R7年10月)



**博物館 ボランティア 通 10月号!**

沖繩県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098-851-5401  
FAX: 098-941-3650

文化の秋は  
うきうき気分!

**お知らせ① 秋のボランティア全体会のご案内**

今年度も「秋のボランティア全体会」を開催いたします。この全体会は、年に2回、博物館ボランティアの皆さんが一堂に会し、活動の振り返りや今後の方向性について認識を共有する貴重な機会です。普段、曜日班ミーティングへの参加が難しい方も、ぜひこの機会にご参加をお願いいたします。

**【日程】 令和7年10月15日(水)**  
**【時間】 14:00～16:00 (13:30 開場)**  
**【場所】 3階 講堂**  
**【対象】 博物館ボランティア全員**

**新規ガイド登録者の方へ**  
 新規ガイド証の交付式を行います。当日、会場にて名札をお渡ししますので、お受け取りをお願いします。


**お知らせ② ボランティア募集**

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程        | 時間                        | 募集内容                                 | 募集人数  |
|-----------|---------------------------|--------------------------------------|-------|
| 10月21日(火) | 12:00～13:00<br>(集合:11:15) | 【小規模校ガイド】座間味小学校<br>1年生10名、2年生3名、引率3名 | 4名程度  |
| 10月27日(月) | 13:20～14:20               | ふれあい体験室 IPM 清掃<br>体験キット等の拭き掃除を行います。  | 10名程度 |
| 11月27日(木) | 13:00～14:00<br>(集合:12:45) | 【小規模校ガイド】奥間小学校<br>6年生20名、引率4名        | 4名程度  |

1 / 4

10月1日発行 第215号 (R7年10月号)



**お知らせ③ 今年度の民具体験入スケジュール**


今年度の民具体験スケジュールが決まりましたのでご案内します。募集は各実施日の約1カ月前から開始予定で、集合は開始30分前を予定しています。現在学校と日程を最終調整中で、確定次第改めてご案内します。また生徒数には若干の増減があります。

| No. | 日付       | 開始時間～終了時間   | 学校名         | 人数                      |
|-----|----------|-------------|-------------|-------------------------|
| 1   | 11/6(木)  | 9:25～11:55  | 那覇市立 真嘉比小学校 | 90人<br>(うち引率4人、ヘルパー4人)  |
| 2   | 11/20(木) | 9:40～11:20  | 豊見城市立 上田小学校 | 159人<br>(うち引率6人、ヘルパー1人) |
| 3   | 12/5(金)  | 9:15～11:20  | 那覇市立 小祿小学校  | 52人 (うち引率3人)            |
| 4   | 12/11(木) | 10:05～12:00 | 那覇市立 大連小学校  | 45人<br>(うち引率3人、保護者5人)   |
| 5   | 12/17(水) | 9:25～11:25  | 那覇市立 宇栄原小学校 | 82人<br>(うち引率3人、ヘルパー2人)  |
| 6   | 1/28(水)  | 9:25～11:25  | 那覇市立 天久小学校  | 104人<br>(うち引率3人、ヘルパー1人) |

**お知らせ④ 民具体験 事前練習会のご案内**

小学3年生を対象とした民具体験のサポートに先立ち、事前練習会を開催いたします。民具の使い方や指導のポイント、当日の動き方などを確認し、参加者の皆様が安心して本番に臨めるよう、準備の機会としてご利用いただければ幸いです。ボランティアの方も初めての方も、ぜひお気軽にご参加ください!

今年度の民具体験は  
森下学芸員 (民俗担当) と  
國吉学芸員 (美術工芸担当) が  
主に対応いたします。  
どうぞよろしくをお願いします。



**練習会の内容:**

- ・民具の使い方の確認
- ・体験指導のポイントの共有
- ・当日の動き方のコミュニケーション
- ・学芸員による民具解説

**お願い:**  
 参加を希望される方は、ボランティア室の名簿にご記名をお願いします。  
 ※10月16日(木)までのご記名にご協力をお願いします。

2 / 4

10月1日発行 第215号 (R7年10月号)



おいらせ⑤ 10月の教育普及仕事

| 日程                       | 内容                                                                                                     | 場所                      |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 10月5日(日)<br>15:00～16:00  | ウチナーの民話上映会<br>(沖縄県立南部農林高校 生活デザイン科)<br>定員: 80名 ※当日先着順 (受付: 14:30～)                                      | 博物館講座室                  |
| 10月9日(木)<br>14:00～15:00  | 常設展展示解説会(地質)<br>定員: 15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説: 新山 颯大(地質担当学芸員)                                      | 13:30<br>ふれあい体験室前集<br>合 |
| 10月11日(土)<br>14:00～16:00 | 学芸員講座<br>「沖縄戦後80年博物館特別展『戦災文化財』の<br>展示紹介」<br>定員: 200名 ※当日先着順(開場13:30)<br>講師: 崎原 恭子(歴史担当学芸員)             | 3F 講堂                   |
| 10月18日(土)<br>14:00～16:00 | 文化講座<br>「沖縄戦における首里周辺の部隊配置—日本軍の<br>戦略の背景—」<br>定員: 200名 ※当日先着順(開場13:30)<br>講師: 仲根 勝哉氏(沖縄平和記念資料館 学芸員)     | 3F 講堂                   |
| 10月25日(土)<br>14:00～15:00 | 博物館/バックヤードツアー(美術工芸)<br>定員: 12名 ※事前申込(10/18(土)から受付)<br>解説: 國吉 史乃(美術工芸担当学芸員)                             | 13:50<br>ふれあい体験室前集<br>合 |
| 10月26日<br>10:00～12:00    | 特別展『戦災文化財』特別講座<br>「沖縄歴史建造物保存百年史のなかの戦後建造物<br>復元と貢献した人々」<br>定員: 200名 ※当日先着順(開場9:30)<br>講師: 伊従 勉氏(京大名誉教授) | 3F 講堂                   |
| 10月26日(日)<br>15:00～16:00 | 特別展『戦災文化財』展示解説会<br>定員: 15名程度 ※当日先着順<br>解説: 崎原 恭子(歴史担当学芸員)<br>※当日有効の『戦災文化財展』観覧券が必要です。                   | 3F 特別展会場                |

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)



10月1日発行 第215号 (R7年10月号)

民具体験の季節はぜひ「ふれあい体験室」へ!

民具体験の季節が近づいてまいりました。博物館1階の「ふれあい体験室」では、沖縄の民具に実際に触れながら、使い方をゆっくりと体験していただけます。民具体験ボランティアが初めての方でも、安心して練習できる環境です。

また「ふれあい体験室」では、体験をサポートして下さるボランティアも随時募集しております。来室されたお客様が安全かつ楽しく体験できるようサポートする活動で、事前のお申し込みは不要です。ご都合のよい時間だけの参加も可能ですので、無理なくご参加いただけます。土日・祝日も、開室日であれば活動可能です。

どうぞお気軽に「ふれあい体験室」へお越しください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



ふれあい体験室ボランティアは、すきま時間にちよこっと参加できるから、忙しい方でも気軽に活動できるっぴよ〜!



よい秋をお過ごしください...



11月1日発行 第216号 (R7年11月)

## 博物館

# ボランティア通 11月号!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098-851-5401  
FAX: 098-941-3650

**パマーみなぎる！  
スポーツの秋…!**

**お知らせ① ボランティア連絡会のご案内**

【日程】令和7年11月18日(火)  
 【時間】15:00～16:00 (14:45 開場)  
 【場所】美術館 講座室  
 【対象】曜日世話係、分野別勉強会世話係

**お知らせ② ボランティア募集!**

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いします。募集の詳細及び最終確定内容につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。※生徒数は若干の増減があります。

| 日程            | 時間                         | 募集内容                           | 募集人数  |
|---------------|----------------------------|--------------------------------|-------|
| 11月6日<br>(木)  | 9:25～11:55<br>(集合: 9:00)   | 【民具体験】真嘉比小学校<br>3年生…87名 (3クラス) | 13名程度 |
| 11月20日<br>(木) | 9:40～12:20<br>(集合: 9:10)   | 【民具体験】上田小学校<br>3年生…151名 (5クラス) | 17名程度 |
| 11月27日<br>(木) | 13:00～14:00<br>(集合: 12:45) | 【小規模校ガイド】奥間小学校<br>6年生20名、引陸4名  | 4名程度  |
| 12月5日<br>(金)  | 9:15～11:20<br>(集合: 8:45)   | 【民具体験】小禄小学校<br>3年生…49名 (2クラス)  | 12名程度 |
| 12月11日<br>(木) | 10:05～12:00<br>(集合: 9:30)  | 【民具体験】大道小学校<br>3年生…37名 (1クラス)  | 11名程度 |

11月1日発行 第216号 (R7年11月号)

## お知らせ③ 11月の教育普及催事

| 日程                             | 内容                                                                                                                                                                                                   | 場所                      |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 11月2日(日)<br>14:00～16:00        | 戦災文化財展 特別講座<br>「琉米歴史研究会の足跡<br>～沖縄戦の戦利品収集から文化財の返還まで～」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 喜舎場 静夫氏 (NPO法人琉米歴史研究会理事長)<br>國原 謙氏 (沖縄県文化協会事務局長)                                                                      | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 11月8日(土)<br>14:00～16:00        | 学芸員講座<br>「琉球ルネサンス<br>～近代化、そして沖縄戦で失った文化を今この手に～」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 伊禮 拓郎 (美術工芸担当学芸員)                                                                                                           | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 11月13日(木)<br>14:00～15:00       | 常設展展示解説会 (美術工芸)<br>定員: 15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説: 伊禮 拓郎 (美術工芸担当学芸員)                                                                                                                              | 13:30<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 11月15日(土)<br>14:00～16:00       | 文化講座<br>「文化財返還の取り組みと帰ってきた御後絵」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 萩原 恭子 (沖縄民俗学会会長)<br>渡地 龍磨氏 (沖縄県教育庁文化財課主任)                                                                                                    | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 11月21日(金)<br>18:00～19:00       | 戦災文化財展 展示解説会<br>定員: 15名程度 ※当日先着順<br>解説: 崎原 恭子 (歴史担当学芸員)                                                                                                                                              | 3階<br>特別展会場             |
| 11月22日(土)<br>14:00～15:00       | 博物館バックヤードツアー (人類)<br>※当日有効の「戦災文化財展」観覧券が必要です。<br>定員: 12名 ※事前申込 (11/15(土)から受付)<br>解説: 渡辺 みどり (人類担当学芸員)                                                                                                 | 13:50<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 11月23日(日)<br>9:00～12:00        | ファイールドワーク<br>「首里の戦跡と戦災文化財の痕跡をめぐる」<br>定員: 20名程度 ※事前申込<br>対象: 小学4年生以上 (小中学生は保護者同伴)<br>講師: 大城直也、崎原恭子 (歴史担当学芸員)<br>※当日保険料を徴収します。<br>(詳細は展覧会ホームページをご確認ください)<br>事前申し込み先: (11月1日から、先着順)<br>WEB・電話・来館 (総合案内) | 那覇市<br>おもろまち<br>～首里     |
| 11月24日<br>(月・祝)<br>14:00～16:00 | 戦災文化財展 特別講座<br>「写真が語る沖縄～沖縄戦前後の風景～」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 当山 昌直氏<br>((公財) 沖縄県文化芸術振興会嘱託員)                                                                                                          | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

11月1日発行 第216号 (R7年11月号)

**お知らせ④ ボランティア室 定期清掃のお知らせ**

下記の日時に、美装班によるボランティア室のワックス清掃を実施いたします。

- ・ 日時：11月 25 日(火) 8:30～9:30
- ・ 場所：ボランティア室
- ・ ※本作業は美装班によるものであり、ボランティアの募集は行っておりません。



**お知らせ⑤ 民具体験解説マニュアル WEB 版**

以前、ボランティアの皆さまに配布いたしました「学校対応(民具体験)解説マニュアル」は、現在ウェブ上でもご覧いただけます。ご興味のある方は、下記のアドレス・QR コードからアクセスしてご確認ください。

なお、掲載内容は令和5年・令和6年に配布したものと同一です。



↓ QR コード



<https://okimu.jp/education/worksheet/>

※ページを下までスクロールしていただくと、「学校対応(民具体験)解説マニュアル ダウンロード(10MB)」というリンクがあります。そちらをクリックしていただくと、マニュアルをダウンロードできます。



3 / 3

12月1日発行 第217号 (R7年12月)

**博物館 ボランティア通信 12月!**

寒い季節も ぽかぽか気分...!

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班 (直通)  
TEL: 098 - 851 - 5401  
FAX: 098 - 941 - 3650



**お知らせ① ボランティア連絡会のご案内**

【日程】令和7年12月16日(火)  
【時間】15:00～16:00 (14:45 開場)  
【場所】美術館 講座室  
【対象】曜日班世話係、分野別勉強会世話係

**お知らせ② ボランティア募集!**

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いします。募集の詳細及び最終確定内容につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。※生徒数は若干の増減があります。

| 日程            | 時間                        | 募集内容                                | 募集人数  |
|---------------|---------------------------|-------------------------------------|-------|
| 12月5日<br>(金)  | 9:15～11:20<br>(集合: 8:45)  | 【民具体験】小緑小学校<br>3年生…49名(2クラス)        | 13名程度 |
| 12月9日<br>(火)  | 15:00～15:45<br>(集合:14:45) | 【小規模校ガイド】与那国中学校<br>2年生…7名           | 2名程度  |
| 12月11日<br>(木) | 10:05～12:00<br>(集合:9:30)  | 【民具体験】大道小学校<br>3年生…37名(1クラス)        | 14名程度 |
| 12月17日<br>(水) | 9:25～11:25<br>(集合: 9:00)  | 【民具体験】宇栄原小学校<br>3年生…78名(3クラス)       | 14名程度 |
| 12月22日<br>(月) | 13:20～14:20               | ふれあい体験室 IPM 清掃<br>体験キットの拭き掃除等を行います。 | 10名程度 |
| 1月28日<br>(水)  | 9:25～11:25<br>(集合: 9:00)  | 【民具体験】天久小学校<br>3年生…103名(3クラス)       | 14名程度 |

1 / 2

12月1日発行 第277号 (R7年12月号)



おしらせ③ 12月の教育普及催事

| 日程                       | 内容                                                                              | 場所                 |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 12月11日(木)<br>14:00~15:00 | 常設展示解説会(人類)<br>定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説:渡辺 みどり(人類学担当学芸員)                | ふれあい体験室前<br>集合     |
| 12月20日(土)<br>14:00~16:00 | 文化講座<br>「南太平洋の人々と自然の関わりから見る海洋文化」<br>定員:200名 ※当日先着順<br>講師:木下 靖子氏(一般財団法人 沖縄美ら島財団) | 3階 講堂<br>(開場13:30) |
| 12月27日(土)<br>14:00~15:00 | 博物館バックヤードツアー(美術工芸)<br>定員:12名 ※事前申込(12/20(土)から受付)<br>解説:伊禮 拓郎(美術工芸担当学芸員)         | ふれあい体験室前<br>集合     |

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

おしらせ④ 年末年始の休館について



日頃より博物館をご支援いただき誠にありがとうございます。  
当館は12月29日(月)~1月3日(土)まで休館いたします。  
年始は1月4日より通常開館いたします。令和8年もよろしくお願ひ致します。



2025年も、ありがとうございます!

今年は、ガイドボランティア養成講座や学校対応、ジブンボックスなど、さまざまな活動に取り組むことができました。皆様の温かいご協力のおかげで、充実した一年となりました。心より感謝申し上げます。  
民具体験にもご協力いただき、誠にありがとうございました。短い時間ではありましたが、子どもたちにとっては貴重で充実した体験になったことと思います。  
民具体験は、残り3回(12月に2回、1月に1回)を予定しております。最後まで変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。  
年末ご多忙の折、どうぞご自愛のうえ、健やかにお過ごしください。



▲民具体験:真嘉比小学校の様子



▲民具体験:上田小学校の様子

1月1日発行 第218号 (R8年1月)



博物館  
ボランティア下通1月!



新年あけましておめでとうございます!  
今年もよろしくお願ひします★

沖縄県立博物館・美術館  
博物館班(直通)  
TEL: 098-851-5401  
FAX: 098-941-3650

おしらせ① ボランティア連絡会のご案内

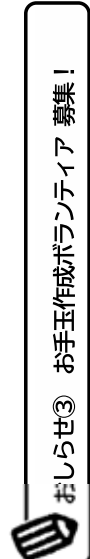
【日程】令和8年1月20日(火)  
【時間】15:00~16:00 (14:45 開場)  
【場所】美術館 講座室  
【対象】曜日班世話係、分野別勉強会世話係



おしらせ② ボランティア募集!

下記にだけご紹介いただけましたら、ボランティア室の掲示版へご記名をお願いします。募集の詳細及び最終確定内容につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程       | 時間                      | 募集内容                            | 募集人数  |
|----------|-------------------------|---------------------------------|-------|
| 1月28日(水) | 9:25~11:25<br>(集合:9:00) | 【民具体験】天久小学校<br>3年生...103名(3クラス) | 16名程度 |
| 1月30日(金) | 14:00~16:00             | お手玉作成<br>ふれあい体験室のお手玉を作ります。      | 10名程度 |




おしらせ③ お手玉作成ボランティア募集!

ふれあい体験室で使用しているお手玉は、子どもたちに大変人気がありますが、長年の使用により、少しずつ傷みや汚れが目立ってきました。  
そこで、新しいお手玉と一緒に作ってくださるボランティアの方を募集いたします。  
手芸が得意な方や、ものづくりがお好きな方のご参加を心よりお待ちしております。

- 実施日時 1月30日(金) 14:00~16:00
- 場所 実習室
- ご協力のお願い 当日は、針や糸などの裁縫道具のご持参、およびお手玉作成に使用できる布地のご提供にもご協力いただけると幸いです。

1月1日発行 第218号 (R8年1月号)



## お知らせ④ 1月の教育普及催事

| 日程                      | 内容                                                                                          | 場所                      |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 1月8日(木)<br>14:00～15:00  | 常設展示解説会 (民俗)<br>定員: 15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説: 森下 愛子 (民俗担当学芸員)                          | 13:30<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 1月10日(土)<br>14:00～16:00 | 学芸員講座<br>「いのちのカタ子展 - 好奇心の標本箱 -<br>見どころ紹介」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 菊川 章 (生物担当学芸員)          | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 1月17日(土)<br>14:00～16:00 | 文化講座<br>「中国絵画の歴史と福建、そして孫億<br>- 琉球絵師たちの留学先 -」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 植松 瑞希 氏 (東京国立博物館研究員) | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 1月24日(土)<br>14:00～15:00 | 博物館バックヤードツアー (教育普及)<br>定員: 12名 ※事前申込 (1/17(土)から受付)<br>解説: 平川 信幸 (教育普及担当学芸員)                 | 13:50<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 1月31日(土)<br>13:30～17:00 | 学芸員講座<br>「重要文化財指定記念、琉球家譜研究の最前線」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 大城 直也 (歴史担当学芸員)、他5名               | 3階 講堂<br>(開場 13:00)     |

※催事問合せ・申込: TEL 098 - 941 - 8200 (県立博物館・美術館 代表)



## お知らせ⑤ 次年度活動継続のご意向確認のお願い

このたび、次年度のボランティア活動継続に関するご意向を確認させていただきます。今月号に関係書類を同封しております。


必要事項をご記入のうえ、以下のいずれかの方法でご提出くださいますようお願い申し上げます。

- ・ ボランティア室のBOXへのご投函
- ・ 同封の返信用切手によるご返送

なお、次年度の活動を休止されるご予定の方、または退会をご希望の方は、恐れ入りますが事務局までご一報くださいますようお願いいたします。

**【提出締切】2月1日(日)** ※郵送の場合は当日必着  
何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

メールアドレスを  
ご記入の際は、  
大文字と小文字に  
お気をつけください



R8年2月1日発行 第219号



## お知らせ① ボランティア連絡会のご案内



### お知らせ② ボランティア募集!

下記について、ご参加いただける内容がございます。ボランティア室の掲示板へご記入をお願いします。募集の詳細及び最終確定内容につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程           | 時間          | 募集内容                       | 募集人数  |
|--------------|-------------|----------------------------|-------|
| 2月24日<br>(火) | 13:20～14:20 | IPM 清掃<br>ふれあい体験室キットの拭き掃除等 | 10名程度 |



## お知らせ③ 次年度活動継続のご意向確認について (未提出の方へ)

2月1日(日)を提出締切としてご案内しております。次年度のボランティア活動継続に関する書類につきまして、まだご提出がお済みでない方は、急ぎ提出をお願いいたします。

提出方法は以下のいずれかをご利用ください。

- ・ ボランティア室のBOXへのご投函
- ・ 同封の返信用封筒での返送

ご提出が難しい場合や、活動休止・退会をご希望の方は、お手数ですが事務局(内線 253)までご連絡ください。

皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

おいらせ④ 2月の教育普及催事

R8年2月1日発行 第219号  
企画展関連催事も  
ご注目!



| 日程                      | 内容                                                                                            | 場所                      |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 2月8日(日)<br>10:00~       | 企画展関連催事 バックヤード見学<br>「収蔵庫の標本たちを見てみよう」<br>定員: 12名 ※事前申し込み(2/1(日)から受付)<br>解説: 菊川 章 (生物担当学芸員)     | 9:50<br>ふれあい体験室前<br>集合  |
| 2月12日(木)<br>14:00~15:00 | 常設展展示解説会 (美術工芸)<br>定員: 15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br>解説: 伊禮 拓郎 (美術工芸担当学芸員)                       | 13:30<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 2月14日(土)<br>11:00~      | 企画展示解説<br>「いのちのカタチ展—好奇心の標本箱—展示解説会」<br>定員: 15名 ※当日先着順<br>講師: 菊川 章 (生物担当学芸員)                    | 10:30<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 2月14日(土)<br>14:00~16:00 | 学芸員講座<br>「みんなの知らない『カイケイチュウ』の世界」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 新山 颯大 (地質担当学芸員)                     | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 2月21日(土)<br>11:00~      | 企画展関連催事 バックヤード見学 (生物)<br>「収蔵庫の標本たちを見てみよう」<br>定員: 12名 ※事前申込(2/14(土)から受付)<br>解説: 菊川 章 (生物担当学芸員) | 10:50<br>ふれあい体験室前<br>集合 |
| 2月21日(土)<br>14:00~16:00 | 文化講座<br>「花に隠された仕掛け—身近な植物の放送作戦」<br>定員: 200名 ※当日先着順<br>講師: 傳田 哲郎 氏 (琉球大学 理学部 教授)                | 3階 講堂<br>(開場 13:30)     |
| 2月28日(土)<br>14:00~15:00 | 博物館バックヤードツアー (民俗)<br>定員: 12名 ※事前申込(2/21(土)から受付)<br>解説: 森下 愛子 (民俗担当学芸員)                        | 13:50<br>ふれあい体験室前<br>集合 |

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

**「おれ」民具体験へのご協力、ありがとうございました!**

11月から始まった今年度の民具体験は、1月28日(水)をもって全日程を無事に終了いたしました。期間中はご多忙の中、連日多くの方にご協力いただき、心より感謝申し上げます。学校行事として来館した子どもたちの中には、今回の体験が初めての博物館訪問となる子も多くいました。皆様の温かなサポートとわかりやすい解説のおかげで、緊張していた子どもたちも笑顔になり、博物館を「楽しい学びの場」として身近に感じてくれたことと思います。今年度も長期間にわたり支えていただき、ありがとうございました。来年度も変わらぬお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

(博物館班 教育普及担当)





▲大連小学校来館時の様子  
▲小塚小学校来館時の様子

3月号①

おいらせ① ボランティア連絡会のご案内

R8年3月1日発行 第220号



**【日程】** 令和8年3月10日(火)  
**【時間】** 15:00~16:00 (14:45 開場)  
**【場所】** 美術館 講座室  
**【対象】** 曜日別世話係、分野別勉強会世話係  
 ※通常の第3火曜日と異なるため、改めて日程確認をお願いします。

おいらせ② ボランティア募集!

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示版へご記名をお願いします。募集の詳細及び最終確定内容につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

| 日程       | 時間          | 募集内容                       | 募集人数  |
|----------|-------------|----------------------------|-------|
| 3月23日(月) | 13:20~14:20 | IPM 清掃<br>ふれあい体験室キットの拭き掃除等 | 10名程度 |


1 / 2

- 70 -

**おしらせ③ 3月の教育普及催事**

春もぜひ博物館に！

18年3月1日発行 第20号

| 日程                                               | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 場所                       |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 3月4日(水)<br>12:00～16:20                           | <p><b>さんしんの日 演奏会 in おさきひゅー</b><br/>「三線の日」にちなみ、参加者の皆さんとともに三線演奏会を開催します。当館の琉球王国集積・再興事業で模造復元した開鑼三線の音色も、会場にて生演奏でお楽しみいただけます。ぜひ三線を片手にお楽しみください。</p> <p>※当日受付・参加費無料。<br/>※三線をご持参のうえ、演奏開始の20分前までにお越しください。必要の方は楽譜もご持参ください。</p> <p>12:00 オープンセレモニー（三線体験会）<br/>13:00 演奏希望者集合・調弦・リハーサル<br/>14:00 第1回演奏<br/>14:20 模造復元した開鑼三線の演奏披露<br/>15:00 第2回演奏<br/>16:00 RBC1 ラジオ放送に合わせて演奏（仮）<br/>(楽曲：かぎやで風節、安波節、安里屋ユンタ)</p>  | エントランスホール                |
| 3月12日(木)<br>14:00～15:00                          | <p><b>常設展示解説会（歴史）</b><br/>定員：15名 ※当日先着順(13:30より受付開始)<br/>解説：崎原 恭子（歴史担当）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 13:30<br>ふれあい体験<br>至前 集合 |
| 3月7日(土)<br>10:30～16:00<br>(集合：10:15)<br>※途中、昼休憩有 | <p><b>【受付終了】学芸員講座</b><br/>「シオツアー 名護市嘉陽の褶曲」<br/>定員：20名 ※受付期間は2月22日をもって終了しました<br/>講師：宇佐美 賢（博物館班長/地学担当学芸員）<br/>新山 颯大（地質担当学芸員）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 名護市底仁屋、天仁屋               |
| 3月15日(日)<br>14:00～17:00                          | <p><b>琉球王国文化遺産集積・再興事業</b><br/><b>令和7年度事業報告会</b><br/>テーマ「鎌倉芳太郎が撮影した絵画資料2件の復元模写に向けた調査報告」<br/>定員：200名 ※当日先着順<br/>講師：伊禮 拓郎（事業統括・美術工芸担当学芸員）<br/>湊 信幸（監修委員・東京国立博物館名誉館員）<br/>喜屋武 千恵（製作者・沖縄県立芸術大学非常勤講師）<br/>仁添 まりな（製作者・沖縄県立芸術大学非常勤講師）<br/>荒井 経（監修委員・東京藝術大学大学院教授）<br/>山口 美波（製作者・東京藝術大学大学院教育研究助手）<br/>須澤 芽生（製作者・東京藝術大学大学院専門研究員）<br/>早川 泰弘（監修委員・東京文化財研究所特別研究員）</p>                                                                                                                            | 3階 講堂<br>(開場 13:30)      |
| 3月21日(土)<br>14:00～16:00                          | <p><b>文化講座</b><br/>「沖縄における門中の歴史民俗学的研究」<br/>定員：200名 ※当日先着順<br/>講師：小熊 誠 氏（前神奈川大学学長）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 3階 講堂<br>(開場 13:30)      |
| 3月28日(土)<br>14:00～15:00                          | <p><b>博物館バックヤードツアー（歴史）</b><br/>定員：12名 ※事前申込（3/21(土)から受付）<br/>解説：崎原 恭子（歴史担当学芸員）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 13:50<br>ふれあい体験<br>至前 集合 |

※催事問合せ・申込：TEL 098 - 941 - 8200（県立博物館・美術館 代表）



一般財団法人  
**沖縄美ら島財団**  
Okinawa Churashima Foundation  
R7年4月1日 第209号

## 博物館 ボランティア通信

今年度も、沖縄美ら島財団をよろしく  
お願いいたします(〇〇)!

早速ですが、GWのイベントについてお願いです。

今年のGWは、  
「普段のボランティアさんの活動を伝えよう!!」と「おきみゅーの楽しみ方を伝えよう!!」  
「みんなで交流を楽しもう!!」という目的で実施します。

ボランティアのみなさんが、普段、博物館常設展示室やふれあい体験室等で、感じている  
「知って楽しいわあ!!」という思いを、来館者にもぜひお伝えいただきたくお願いたします。  
そして、活動を通してボランティアの皆さんには、来館者、博物館のボランティアさん同士、  
美術館のボランティアさん、沖縄県立博物館友の会のみなさん、財団職員との交流も楽しんで  
いただきたいと思います。

今回は、5/3(土)～5/5(日)3日間に、下記内容を実施予定です。  
ボランティアのみなさんと一緒にイベントを作りたいこともあり、勉強会を実施します。  
みなさまのご参加を心よりお待ちしております(〇〇)

森 萌子

### 具体的なイベント(予定)

- ・ 廃材工作教室
- ・ ふれあい体験室サポート(ワークショップ含む)
- ・ かみしばい
- ・ ガイド(常設展、民家など無料ゾーン)
- ・ 鑑賞体験(美術館アートカード)
- ・ おりがみ

### GWワークショップ勉強会

4/2(水)・4/8(火)  
4/16(水)・4/22(火)・4/30(水)  
10時～12時 美術館講座室  
・ 全ての会にでもOK!  
・ 勉強会も当日も途中参加・退室OK!

## 4～7月「沖縄の染め織りもよりのデザイン」

日頃からふれあい体験室とワークショップのサポートのご協力ありがとうございます!  
4月から新しいワークショップが始まります。引き続き、皆さまのご協力お願いいたします。

今年度のワークショップは、年間3プログラムとなります。これまで人気があった  
ワークショップに新規の内容を追加し、更にブラッシュアップして実施いたします。  
新規のお客だけだけでなくリピーターのお客様にも楽しんでいただける内容を考えながら、  
今年度はワークショップに取り組みたいと思っております。  
4～7月は沖縄の染物「紅型」や織物「紬」をテーマに模様やデザインについて考え  
ながらスタジオでオリジナルバッグを制作します。今回初となる紺デザイン!  
皆さまのワークショップのご参加もお待ちしております(〇〇)

【日程】2025年4月～7月の土曜日  
【時間】①10:00～11:00 ②11:00～12:00  
【定員】各回9名【参加費】600円【申込】3/22(土)～



詳しくは、  
こちらから



一般財団法人  
**沖縄美ら島財団**  
Okinawa Churashima Foundation  
R7年5月1日 第210号

## 博物館 ボランティア通信





GW勉強会実施しました!  
詳しくは、ボランティア室に掲示中!  
みなさまのご参加お待ちしております(〇〇)!

- ・ 廃材工作教室
- ・ ふれあい体験室サポート(ワークショップ含む)
- ・ かみしばい
- ・ ガイド(常設展、民家など無料ゾーン)
- ・ 鑑賞体験(美術館アートカード)
- ・ おりがみ

イベント詳細はこちら

## おきみゅーの ゴールデン ウィーク

2025  
5/3(土)～5/5(月)

沖繩のおまもり  
サンストラップづくりも5/3(土)に実施!

## 万国津梁の鐘プロジェクト

in おきみゅーのゴールデンウィーク

万国津梁の鐘を、あらゆる角度から掘り下げ、その魅力を発信する  
プロジェクト。今年のゴールデンウィークでは、万国津梁の鐘の  
ことをもっと好きになってもらう、様々なイベントを用意していま  
す!皆様のサポートをよろしくお願いたします。  
詳しくはボランティア室に掲示中!

【イベント内容】

- ・ 鐘の音をサイエンス! ・ 銘文ぬり絵リレー
- ・ アニメ「万国津梁の鐘ものがたり」上映

…他にもいろいろあります!



ほんちゃん  
鐘の響きを、  
骨伝導で体験!





一般財団法人  
**沖縄美ら島財団**  
Okinawa Churashima Foundation  
R7年6月1日 第211号

**博物館 ボランティア通信**



おきみゆーの  
**ゴールデンウィーク**  
2025  
5/3(土) - 5/5(月)

ボランティアのみなさま、GWのお忙しい中、サポート頂き本当にありがとうございます。3日間で1,098人(目標750人)のお客様にお楽しみいただきましたことができました。イベントでは、お客様の面白い発想や感想だけでなく、ボランティアさんの素敵な笑顔に出会うことができ、心から感動しました。アンケート結果は、改めてボランティア室に掲示します！  
ご支援ありがとうございます。(財団 森)







**万国津梁の鐘プロジェクト**  
in おきみゆーのゴールデンウィーク







3日間で377名のお客様にお越しいただき、楽しんでいただきました。沢山のサポートを、本当にありがとうございます！(財団 石田)

イベントの様子 (一部)

**ふれあい体験室からのお知らせ**

日頃から、ふれあい体験室とワークショップのサポートのご協力ありがとうございます。

6～7月のふれあい体験室ワークショップ「沖縄の染め織りもよりのデザイン」は、絆もよりのスタンプに変わります。6月はトートバッグ(A4サイズ)、7月はサコッシュ(A5サイズ)になります。ワークショップサポートやご参加をお待ちしております！  
(財団 藤田)



一般財団法人  
**沖縄美ら島財団**  
Okinawa Churashima Foundation  
R7年7月1日 第212号

**博物館 ボランティア通信**



**☆ ネットストラップが新しくなりました！**

この度、名札を付けるストラップが新しくなりました！ブランドイングの一环でおきみゆーのストラップが同じストラップを使って盛り上げていこう！という想いが込められています。



白地に  
ロゴ

**博物館 ボランティア**

春の全体会でお渡しました、右のような用紙は、カスタマーハラスメントの観点から今年度より始めた取り組みです。活動中にお名前を知られたくないという方は、ぜひご利用頂きますようお願いいたします。

**ガイドボランティアのみなさま**


いつもジンプンボックスや団体対応など、日頃から様々な活動に携わっていただき、本当にありがとうございます。近頃、ジンプンボックスを希望される団体が増えています。6月は、日本語学校の海外の学生さん、ハワイからのお客様の対応などがございました。7月も盛岡からの小中学生の対応を予定しております。また、夏休みには、県内外からの来館者も増えますので、お客様との対話も楽しみながら、おきみゆーや沖縄の魅力をお伝えいただけますと嬉しいです。

声、観光学の授業で、「旅の思い出は人と人の対話やその時のハプニングなどが強く残るし、それがまた、行きたい要素となることもある。」と学んだことがあります。お客様がおきみゆーでボランティアさんとの対話を、旅の思い出にしてもらえたら嬉しいなあとおもっていますので、引き続きよろしくお願いたします。あ！でも、毎日暑いので、活動できそうなときにご支援お願いいたします。

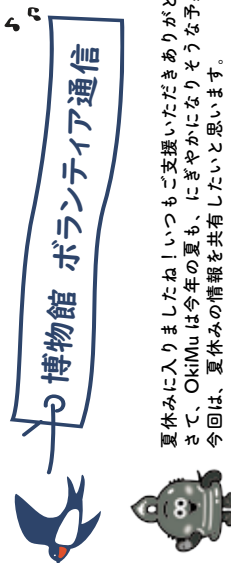
森

〇ジンプンボックス予定  
7月24日(木) 16:30～17:30 盛岡からの学生

ボランティア室におきみゆー予定を  
お知らせ



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churaumi Foundation  
R7年8月1日 第213号



## 博物館 ボランティア通信

夏休みに入りまりましたね！いつもご支援いただきありがとうございます。さて、OkimUは今年の夏も、にぎやかになりそうな予感があります。今回は、夏休みの情報を共有したいと思います。

### 博物館常設展の取り組み

**大人気！ワークシート**  
ワークシートで常設展の魅力を皆さまにお伝えします！特にガイドボランティアさんにもぜひ一度体験いただけたら嬉しいです。

**高校生が来館します！**  
那覇国際高校、首里高校の学生が、課題のため常設展示室を利用する予定です。特にガイドボランティアのみなさん！サポーターをお願いします。


\*期間：7/19（土）～8/26（火）

**ふれあい体験もにぎやかに！**  
いつも以上に、来場者が増える時期。県内外のお客様との交流を楽しめる機会です。ボランティアのみなさんのサポートをお願いします。


\*8月から、星座のワークショップもはじまります！

### 入場無料

タネには人の生活を豊かにするためのヒントがたくさんつまっています。  
2025年の夏休みは五感をフル稼働して「タネのふしぎ」に迫ってみませんか？



**お勉強のためなら、ボランティア証で入場OK！**  
「命の尊さとは何か」ー 手塚治虫の名作医療マンガ『ブラックジャック』で繰り返し問いかけられるこのテーマを、戦後80年という節目に改めて見つめます。



**お勉強のためなら、ボランティア証で入場OK！**  
「命の尊さとは何か」ー 手塚治虫の名作医療マンガ『ブラックジャック』で繰り返し問いかけられるこのテーマを、戦後80年という節目に改めて見つめます。

### ネックストラップについて

以前、新しい名札のリボンにつけてお知らせしていましたが、従来の緑色のストラップも使ってもいいということになりました！館内のボランティアのため、新しいリボンも活用いただけます。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churaumi Foundation  
R7年9月1日 第214号



## 博物館 ボランティア通信

この夏も、多くのボランティアの皆さんによる様々なご支援をいただき、充実した夏休みとなりました。本当にありがとうございました！秋からは、民島体験や修学旅行・遠足で訪れる団体や海外のお客様も多くなり予想されます。ふれあい体験室やジンプランボックスなど引き続きご支援いただきたくお願ひ申し上げます。

### ワークシート特徴

- ・小4以上のお子様と一緒に遊べるような内容を意識
- ・親子で挑戦できるような内容を意識
- ・ボランティアの視点で、展示物を見つめることを重視！
- ・現在は、2つのクイズシステムから成る！

**01 みつけ** て、知る！

- 化石を観察して時代背景を知る
- ジオラマからアタクを見つけて生態を知る
- 文様的美しさを身につけて細部の歴史を知る
- 生活の中にある魔除けを身につけて人々の意を知る
- 三線の特徴を身につけて形の美しさを知る

**02 うーん** と、考えて知る！

- 石をさわりながら石の力で万や時代を知る
- ヤブウツクイの生態をジオラマから考え飛べない鳥の生活を知る
- 海川人と現代人の違いを2万年間の歴史を知る
- 現代の道具から昔の道具を考え人々の生活を知る
- ぜひ一度挑戦してみてくださいね（森）

### 8/16～11/22開催のふれあい体験室ワークショップ 「キラキラ光る星座のキーホルダーづくり」

今回のワークショップは星座の形や沖縄に伝わる星などを学びながら、キラキラ光るオリジナルの星座キーホルダーを作ります。

キーホルダーは約3.5cmの大きさで金色か銀色から選べます。  
8～9月はお誕生日の星座か春～夏の星座から1つ、10～11月はお誕生日の星座か秋～冬の星座から1つ、お好きな星座を選んでもらいます。  
ふれあい体験室に見本を置いてありますので、ぜひ見に来てみてください！  
ご参加お待ちしております☆彡



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churaumi Foundation  
R7年10月1日 第215号

## 博物館 ボランティア通信

先月に続き、ワークショップに関する情報をちょこっとお伝えします！

### ちょこっと紹介！ ワークショップ体験者の声

「アタクを見つけたのが大変だったけど楽しかった。」  
「意外と小さいトカゲもいることがわかった。」  
「化石には、今も生きている生きものの化石もあると分かった。」  
「知らなかった石などがわかって面白かった。」  
「三線には、こんな秘密が隠されてたんだと思いました。」  
「もっと知りたいという好奇心がうまれた。」  
「すべてが楽しい、新鮮！」  
「何回でも博物館にきて、展示物を見たい！大だいすき！」

### 知るを楽しむ体験

お子様から大人までの感想からは、「ちよっと楽しかったけど、楽しかった！」というご意見を多数いただきました。いくつになっても、発見することは、喜びなんですね〜！



ポランティアのみなさんも  
お友達同士や曜日班などでワークショップを使って  
新しい発見をする楽しさをぜひ体験してみてください！  
そして、もしよろしかったらご感想等、お聞かせ願います！（森）

### 8/16～11/22 開催のふれあい体験室ワークショップ 「キラキラ光る星座のキーホルダーづくり」



ワークショップをいつも支えてくださっているボランティアのみなさん、本当にありがとうございます！  
今回、いつも関わってくださっている方はもちろん、「ちよっと気になるけどまだ参加したことがない」という方にも向け、「サポートお願いしますシート」を作ってみました！  
ワークショップサポートの一番の楽しさは、参加者のみなさんの素敵な作品に出会えることだと思います。それに加えて、対話を通しての交流も新しい発見があって、とっても楽しいです！  
このシートを通じて、「サポートってどんなことするんだろう？」が少しでも伝わったら嬉しいです。まずは見に来てくださるだけでも大歓迎ですので、気軽にのぞきにきてくださいな。

これからもどうぞよろしくお願います！（森）



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churaumi Foundation  
R7年11月1日 第216号

## 博物館 ボランティア通信

### おきみゅー 誕生祭 2025

11/1（土）～11/3（月祝）

今年のおきみゅー誕生祭は、3日開催です！  
講演会やワークコーナー、鑑賞イベントの他、お笑いライブやフードイベント、クイズラリーなど、ご来館いただいた方に楽しんでいただけるよう、様々なイベントを開催します！  
みなさまもぜひ、おきみゅーの18才の誕生日を祝いに、遊びにいらしてください！！詳細は、webページとチラシでご確認ください！  
また、3連休でたくさんのご来館者様が予測されます。「ふれあい体験室」や「ジンブロンボックス」でのサポートのご協力をよろしくお願いたします。

### ふれあい体験室ワークショップからのお知らせ


ワークショップをサポートして下さっているボランティアのみなさん、いつもありがとうございます！

8月～11月の「キラキラ光る星座のキーホルダーづくり」  
現在実施しているワークショップは11/22（土）で最後となります。皆さまのサポートもあり、参加したお客様から「楽しかった」「スタッフにすてきと認められてうれしかったです。」などのご感想を多数いただいております。  
残りの期間もほぼ予約が一杯になってきてますので、引き続き、皆さまにサポートいただくと助かります。どうぞよろしくお願いたします。


12月～3月のワークショップ「ペーパービーズでアクセサリーづくり（仮）」  
12月からのワークショップはペーパービーズをつかったアクセサリーづくりを予定しております。下記日程でワークショップのサポートをしてくださる方向けに勉強会を行います。ご参加お待ちしております！

勉強会日程： 11/22（土）12：15～13：15 博物館実習室





一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churashima Foundation  
R7年12月1日 第217号



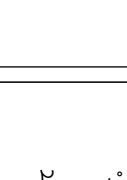
博物館 ボランティア通信

みなさま、日々のご支援ありがとうございます。

11月は、ふれあい体験室におけるご支援や誕生祭や団体対応（民具体験・ジンプンボックス）など、様々な場面でご支援いただき本当にありがとうございます！  
先月は県内外からの来館者も多かったのですが、みなさまのご支援により、お客様もおきみゆーのこと、沖縄のことを知るきっかけになったと感じます。

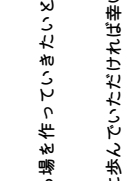
個人的に印象深かったのは、民具体験でボランティアのみなさんが笑顔で児童に対応している様子でした。そして、ボランティア仲間や職員と一緒に声を掛け合って、安全にプログラムを進行する様子から、博物館ボランティアのみなさんのお力を感じ、とてもかっこよくて素晴らしい連携の取れたチームだなあと感じました！

ボランティア活動も様々な種類がございますが、お一人お一人の皆さんのペースで活動を楽しんで頂けたら嬉しいです！今後も一緒に活動を盛り上げられるよう、私自身も意識して努めたいと思います！




**【博物館常設展 入場予定数】**  
\*特に人数の多い日を下記に記載しました

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 12/3 (水)  | 午前：団体3件 298名、午後：団体1件 16名 |
| 12/4 (木)  | 午前：団体4件 307名             |
| 12/5 (金)  | 午前：団体2件 58名、午後：団体2件 28名  |
| 12/12 (金) | 午前：団体2件 124名             |
| 12/16 (火) | 午後：団体2件 109名             |
| 12/19 (金) | 午前：団体3件 170名、午後：1件 374名  |
| 12/27 (土) | 午前：団体1件 297名             |




常設展示室（ガイドボランティアさん）やふれあい体験室でボランティアのみなさまのお力をおかりたくご支援の程、お願い申し上げます。  
(森 萌子)


2025年も大変お世話になりました！  
2026年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



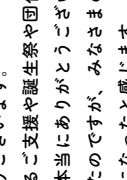
財団スタッフ



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churashima Foundation  
R8年1月1日 第218号



博物館 ボランティア通信



**謹んで新春のお慶びを申し上げます。**

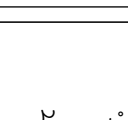
昨年は、ふれあい体験室ワークショップやGW・夏休みの催事、展示ガイドや民具体験など、様々な場面で大変お世話になりました。


ボランティアの皆様を持つ多才なアイデアや、お客様に楽しんでいただくための細やかな工夫には、いつも驚かされ、感謝の気持ちでいっぱいです。特にお客様の目線に立った知恵や工夫を教えていただく機会は、私たちスタッフにとっても大変勉強になっております。

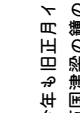
そして、皆様とお客様が楽しそうに交流されている姿は、館内の何よりの彩りとなっております。

今後も皆様の感性や経験を存分に発揮していただけたら嬉しいと考えております。


おきみゆーがさらに活気あふれる場所になるよう、共に歩んでいただければ幸いです。本年も引き続きよろしくお願ひいたします。








**おきみゆー  
迎春祭 2026**  
2/14 (土)・2/15 (日)



今年も正月イベントを実施します！  
万国津梁の鐘のプロジェクトやふれあいワークショップの他、お抹茶点て体験など様々なイベントを予定しています！  
詳しくは、チラシ・HPをご覧ください。皆様のご参加、おまちしております。



財団スタッフ



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churashima Foundation  
R8年2月1日 第219号

### 「第16回移動展 in 恩納村」でワークショップを実施しました！

1/16 (金) より開幕した、『第16回移動展 in 恩納村』では、様々なワークショップを開催中です！ 去った、1/18 (日) には、毎週土曜日のおふれあひ体験室ワークショップより、今年大人気だった『キラキラ光る★星座のキーホルダーづくり』と沖繩の魔よけグッズ『沖繩のおまもりサン』ストラップづくり』を実施しました。

両方のワークショップに参加するご家族や親子2人で日曜日のお出かけにワークショップに参加して下さったご家族等、多くのお客様にお楽しみいただきました！ 中には、ふれあひ体験室に遊びにいらしたことがある方もいましたよ(\*´艸`)

参加者の皆さんの表情からは、楽しいひと時をお過ごしの様子を感じました。また、当日にはボランティアさんもサポートに入ってくれたり、お客様との交流を楽しみながら接する様子や安全管理、作業のコツなどを伝えていました！ そして今回、私自身も午後の部の講師に挑戦し、ボランティアの皆さんのサポートに多くの場面で助けていただきました。本当にありがとうございました！

『第16回移動展 in 恩納村』は、2/11 (水) までとなります。もし、お近くで用事のある方は、道の駅のおいしいサターアターダギーを買いつつ、おとなりの恩納村博物館の移動展もぜひご覧くださいませ★

引き続き、ご支援のほど、お願い申し上げます。(森)



「はじめてのお抹茶点て体験」や「古書フェアと福袋セール」、首里城の再建で利用したヒノキの端材の振る舞いや平成・令和の首里城復元作業に携わった山本総棟梁をお迎えし、カンナかけや木組みなど「宮大工の技術体験」等を開催予定です。  
詳しくは、HPやチラシをご覧くださいませ。

★ おさみゆー 迎春祭 2026  
2/14 (土)・2/15 (日)



一般財団法人  
沖縄美ら島財団  
Okinawa Churashima Foundation  
R8年3月1日 第220号

一般財団法人 沖縄美ら島財団は、このたびが指定管理期間の満了に伴い、令和8年3月31日をもって、当該業務を終了することとなりました。10年間 お世話になりました！ ありがとうございます。財団スタッフより、みなさまにご挨拶申し上げます。

令和8年3月31日をもって沖縄美ら島財団はおさみゆーの管理運営を卒業します。11期・10年間に渡り、職員やボランティアの皆さんに支えられ職員一同、日々楽しくお仕事をすることができました！ 「菜園者がよるご博物館に！」という一つの目標に向かってボランティアの皆さん、県職員、財団が一丸となって取り組んだ結果、おさみゆーアーンが増加したのと同じように、また居心地のよい癒される空間であり続けられるようご協力をお願い致します。 次の指定管理者にバトンタッチしますが、博物館活動の承継とおさみゆーがお客様にとって学びの場であり、これからも健康に気をつけてボランティア活動を続けて下さい。

おさみゆー一たいすきです！  
大変お世話になりました。そして・・・  
ありがとうございます！  
係保ゆかり (沖縄美ら島財団 総括)

教育普及担当の森萌子です。沖縄美ら島財団が指定管理となって10年間、様々な場面でご支援を賜り誠にありがとうございました。私は、団体対応におけるボランティアガイドやGW (ゴールデンウィーク) のイベント、ワークショップの体験会など、様々な場面でボランティアの皆さんと一緒に活動を行うことができました。その中で、面白いアイデアをたくさんいただき、指導いただくことも多々あり、私自身の学びにつながったと感じています。4月以降の体制については、また未定ですが、必ずボランティアの皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っております。最後になりますが、皆様の益々のご継続とご多幸を心よりお祈り申し上げます。  
森 萌子 (沖縄美ら島財団 教育普及)

みなさまご無沙汰しております。日頃から、博物館の教育普及事業のサポート・ご協力をありがとうございます。教育普及担当の石田沙紀です。およそ2年半の間、力量不足の私に業務や博物館の様々なことを教えていただきありがとうございます。特に印象に残っているのは、2025年のゴールデンウィークで「万国博覧会の種」コーナーを作った時のことです。たくさんボランティアさんが皆さんを呼んでくださり、そして種を育てていただき、本当に嬉しかったです。初めてのプロジェクトで不安でしたが、皆さんの大きなサポートのおかげで好評のうちに終えることが出来ました。4月以降は未定ですが、もしここに残っていたら、またご一緒させていただけると嬉しいです。2年半、本当にありがとうございました！  
石田沙紀 (沖縄美ら島財団 教育普及)

教育普及担当の藤田早苗です。ふれあひ体験室やワークショップの運営など、ボランティアの皆さんには日頃から温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。総務班から異動して2年、右も左もわからず、あつという間に過ぎていく中で、ボランティアの皆さんにはいつも親切にサポートいただき、またたくさんのお話を教えていただき、本当にありがとうございました！ 特に忙しい日のふれあひ体験室や慣れないワークショップでは、ご迷惑をおかけし至らない点も多々あったかと思いますが、最後までご協力いただき、感謝の気持ち一杯です。もともと皆さんと一緒にこの館を盛り上げていきたいのですが、指定管理の終了により一区切りとなります。4月以降は未定ですが、ご縁がありましたら、また宜しくお願いいたします。  
藤田早苗 (沖縄美ら島財団 教育普及)



ありがとうございます！



# XI その他

## 1 移動展

- ① 名称：第16回 沖縄県立博物館・美術館 移動展 in 恩納村
- ② 開期：令和8年1月16日（金）～2月11日（水・祝）
- ③ 開催時間：午前9時～午後5時 1月16日のみ午後1時開場
- ④ 開催地：恩納村博物館
- ⑤ 対象：一般
- ⑥ 観覧料：無料
- ⑦ 主催：沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人沖縄美ら島財団
- ⑧ 共催：恩納村博物館

### 趣旨

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を認識できるように、これまで収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収集資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的とし実施した。



### 展示内容

#### (1) 博物館展示

- 「沖縄の自然、歴史、文化」(生物、人類、地質・地学、歴史、美術工芸、民俗、考古、教育普及に関する総合展示)
- デジタルミュージアム動画コンテンツ上映・・・ウチナーの民話上映

#### (2) 美術館展示

- 「展覧会展示パネル」・・・これまでの展覧会概要パネルの展示
- 《Now・・・(1)》(川平 恵造)、《八重山風景》(大嶺 政寛) の精細な複製を展示。

総入館者数 2907人（開会式1月16日（金）14：00～ 参加人数43名）



①展示解説会 in 恩納村博物館

日 程：a 1月16日（金）15:00頃  
b 1月17日（土）14:00～  
c 1月18日（日）14:00～

場 所：博物館展示室（各分野の資料前）

講 師：各分野学芸員

参加人数：a 37名

b 24名

c 19名

参加費：無料



②「ジオツアー - 恩納村の地形と地質の観察 -」

日 程：1月18日（日）9:30～13:00

場 所：恩納村内数か所（名嘉真海岸 他）

講 師：宇佐美 賢（博物館班班長、地学担当学芸員）

新山 颯大（地質担当学芸員）

対 象：小学3年生以上 ※小学生は保護者同伴

参加人数：16名

参加費：50円（保険代）



③ふれあい体験室ワークショップ「キラキラ光る★星座のキーホルダーづくり」

日 程：1月18日（日）10:00～11:00

場 所：研修室

講 師：藤田 早苗（沖縄美ら島財団）

対 象：5歳～一般 ※小学3年生以下は保護者同伴

参加人数：13名

参加費：600円

④ふれあい体験ワークショップ「沖縄のおまもり “サン” ストラップづくり！」

日 程：1月18日（日）

a 13:30～14:30 b 15:00～16:00

場 所：研修室

講 師：森 萌子（沖縄美ら島財団）

対 象：5歳～一般 ※小学3年生以下は保護者同伴

参加人数：9名

参加費：500円



⑤「山シシから沖縄の歴史・民俗・自然を考えよう」

日 程：2月1日（日）9:30～12:30

場 所：研修室等

講 師：宇佐美 賢（博物館班班長、地学担当学芸員）

森下 愛子（民俗担当学芸員）

藤田 祐樹（国立科学博物館）

崎原 恒寿（恩納村博物館）

長浜 建一

対 象：小学4年生以上 ※小学生は保護者同伴

参加人数：14名

参加費：500円



⑥おきみゆー館長歴史講座「ペリー測量隊、恩納間切発砲事件」

日 程：2月1日（日）14:00～15:00

場 所：研修室

講 師：里井 洋一（沖縄県立博物館・美術館 館長）

対 象：小学生以上

参加人数：18名

参加費：無料



⑦「ネアンデルタール人について調べてみよう」

日 程：a 1月17日（土）11:00～12:00

b 2月1日（日）16:00～17:00

場 所：研修室

講 師：山崎 真治（人類担当学芸員）、渡辺 みどり（人類担当学芸員）

対 象：小学生～中学生 ※小学3年生以下は保護者同伴

定 員：各回10名

参加人数：a 5名

b 9名

参加費：無料



⑧「琉球家譜の読み方講座」

日 程：2月11日（水）14:00～15:00

場 所：研修室

講 師：大城 直也（歴史担当学芸員）

対 象：小学生以上

定 員：30名

参加人数：16名

参加費：無料



## 2 職場体験

令和7年度は中学校1校4名、高等学校2校6名、特別支援学校1校1名を受け入れた。生徒たちは、当館の理念や活動、IPM（総合的病害虫・雑草管理）への理解を深めた後、ふれあい体験室やミュージアムショップでの接客業務、情報センターでの資料整理などを体験した。

体験内容：ふれあい体験室(ワークショップの準備)、ミュージアムショップ(接客、商品の管理)、情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)、博物館班・美術館班(バックヤードおよび学芸業務の見学)

受入校：4校11名(中学校1校、高等学校2校、特別支援学校1校)

- ① 沖縄県立沖縄水産高等学校 6月25日(水)～6月26日(木) 4名
- ② 沖縄県立沖縄工業高等学校 9月17日(水)～9月19日(金) 2名
- ③ 沖縄県立島尻特別支援学校真和志分教室 11月5日(水)～11月6日(木) 1名
- ④ 那覇市立那覇中学校 12月10日(水)～12月12日(金) 4名

### 3 教育普及資料の活用

#### (1) 学校団体貸出一覧

|   | 利用者       | 資料名       | 利用目的          | 貸出期間                 |
|---|-----------|-----------|---------------|----------------------|
| 1 | 那覇市立石嶺図書館 | 化石組み立てキット | 展示            | 7月30日から<br>9月2日まで    |
| 2 | 那覇市立城北中学校 | 岩石観察      | 授業利用<br>(社会科) | 10月23日から<br>10月28日まで |
| 3 | 那覇市立城北中学校 | 岩石観察      | 授業利用<br>(社会科) | 10月28日から<br>11月4日まで  |
| 4 | 沖縄県立図書館   | 記録のくふうキット | 体験コーナー展示      | 12月2日から<br>2月3日まで    |

資料利用申請書  
(教育普及資料の借用)

令和元年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印  
 申請者 団体名：  
 (担当者氏名 )  
 住 所：〒  
 TEL：  
 FAX：  
 E-mail：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

| 利用区分    | 1 学校 (学年・学級) 行事           | 2 地域・団体行事 | 3 その他 |
|---------|---------------------------|-----------|-------|
| 希望日時・期間 | 年 月 日 ( 時 ) ~ 年 月 日 ( 時 ) |           |       |
| 行事名     |                           | 参加人員      |       |
| 目的      |                           |           |       |
| 資料名     | 数量                        | 備考        |       |
| 1.      | 1                         |           |       |
| 2.      | 1                         |           |       |
| 3.      |                           |           |       |
| 4.      |                           |           |       |

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
  - ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
  - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
  - ⑤申請の際には、返信用封筒 (切手貼付) を添えること。
  - ⑥貸与期間は1週間以内とする。
  - ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
  - ⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないように取り扱いに十分留意すること。
  - ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
- 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

## 民具借用にあたってご注意いただくこと

### 1, 児童による着用・使用体験は行わないでください

通常であれば、児童の使用・体験を目的として貸し出しを行います。が、本年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大勢の児童が次々に同一のアイテムに触れることを避ける措置をとっています。

使用・実演は教員が行うよう、お願いいたします。

### 2, 丁寧な扱いを心がけてください

民具は自然由来の素材で作成されているものが多く、破損しやすいです。

特に着衣の道具は、ニットなどの素材が引っかかることがあるためご注意ください。

### 3, 博物館の防虫対策・防カビ対策にご協力ください。

博物館の所蔵品は、虫・カビなどの害に弱い。ため、それらの影響を受けないように館内の環境（温度・湿度）を一定に保ち、また、外部から虫などの持ち込み・虫などを誘引するもの（食べ物・植物など）の排除を行っています。害虫が発生してから駆除する考え方もありますが、被害が拡大してしまうこと、薬剤が収蔵品に影響を与える可能性があるため、近年では予防対策の徹底を行う方法が主流になっています。

具体的には、以下のような対策を行います。

- ① 飲食を博物館の中で行わない・飲食物を持ち込まない。
- ② 動物・植物・土を持ち込まない。
- ③ カビなどが発生しやすい状況を作らない（ほこりを溜めない、湿度調整する、乾燥させる）
- ④ 汚染されたものとは隔離する

学校は給食や弁当、そして児童の水筒、プランターなど、博物館では極力避けているものとの接触が想定されます。民具の保管場所には十分にご注意下さい。

特に、水を使うターレー（洗濯の道具・たらい）は乾燥させたうえでの返却をお願いいたします。

### 4, アルコール消毒をした場合の対応

民具をアルコールで拭いて消毒することは可能です。ただし、消毒液の水分が多いため、消毒後にそのまま衣裳ケースやビニール袋に入れるとカビの原因となります。

消毒後は民具の乾燥をご確認のうえ、収納をお願いします。

### 5, 何かトラブルが発生した場合は、博物館へご連絡ください

## 4 ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに、展示解説ガイドがある。来館者サービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」にて、ボランティアがお客様へわかりやすく解説することを目指している。まず、民俗部門展示解説ガイドは、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）において教育普及担当とボランティアが調整しガイドを実施した。今年度は、合計5校85名を受け入れた。また、「総合展示部門」のガイドと、指定管理者のスタッフによるCコース「沖縄の歴史を知る10分ガイド」の、受け入れ実績は無かった。しかし、今年度から利用者の声を受け、実施した。「博物館常設展示室のみどころガイド」は7団体198名に実施した。また、ジブンボックスガイド（展示室待機型ガイド）は、ボランティアからの要望を受け、曜日・時間を決めず、ボランティアが主体的に活動に取り組めるよう工夫した。

### （1）小規模校向け解説ガイド実施内容

- ①実施日：開館日の9:00～16:00
- ②所用時間：15分～30分
- ③対象：県内の離島をはじめとする20名以下の小学校・中学校・高等学校
- ④受付方法：事前申込
- ⑤参加費：無料
- ⑥内容：3種類のメニューから選ぶ。
  - ・ Aコース【15分】「海とのかかわりを学びたい子どもたちへ」  
見学マナーと博物館常設展示室＜ウミのワザ、沖縄の住まいと衣食、年中行事と魔よけ＞を案内。
  - ・ Bコース【15分】「昔の道具を学びたい子どもたちへ（田畑仕事を中心に）」  
見学マナーと博物館常設展示室＜アギのワザ、くらしに生きる自然素材、沖縄の住まいと衣食＞を案内。
  - ・ Cコース【30分】「民俗分野全体を学びたい子どもたちへ」  
見学マナーと博物館常設展示室（村落をとりまく世界→御嶽と神人→訪ね来る神々→人の一生→ウミのワザ→アギのワザ→くらしに生きる自然素材→沖縄の住まいと衣食→年中行事と魔よけ→祭り→行事の現在→変わりゆく風景）を案内。

※メニューを基準に、内容の組み換えは可能。

### （2）総合展示部門解説ガイド実施内容

- ①実施日：開館日の9:00～16:00
- ②所用時間：30分～60分
- ③対象：県内外の一般・修学旅行団体
- ④受付方法：事前予約
- ⑤参加費：無料
- ⑥内容：3種類のメニューから選ぶ。
  - ・ Aコース【30分】「総合展示部門：10～100名以内」  
総合展示部門の展示資料の前で沖縄の歴史を簡潔に学ぶことができる。
  - ・ Bコース【30分】「ジブンボックス\*：100名以上」  
おすすめの展示資料の前でボランティアが来場者へ解説を行う。
  - ・ Cコース【10分】「沖縄の歴史を知る10分ガイド」  
展示室に入る前に別室で沖縄の歴史の流れを簡潔に解説する。

「小規模校向け展示ガイド」実施団体

| 回数 | 利用区分 | 地域  | 日付        | 団体名                  | 対象 | 人数 | スタッフ数 |
|----|------|-----|-----------|----------------------|----|----|-------|
| 1  | 授業   | 沖縄県 | 5月30日(金)  | 多良間村立 多良間小学校         | 生徒 | 14 | 4     |
| 2  | 修学旅行 | 沖縄県 | 6月6日(金)   | 学校法人カトリック学園<br>海星小学校 | 生徒 | 25 | 3     |
| 3  | 授業   | 沖縄県 | 10月22日(水) | 沖縄県立 森川特別支援学校        | 生徒 | 6  | 5     |
| 4  | 修学旅行 | 沖縄県 | 11月27日(木) | 国頭村立奥間小学校            | 生徒 | 20 | 4     |
| 5  | 授業   | 沖縄県 | 12月9日(火)  | 与那国町立与那国中学校          | 生徒 | 20 | 4     |
| 合計 |      |     |           |                      |    | 85 | 20    |

「博物館常設展示室のみどころガイド」

| 回数 | 利用区分 | 地域  | 日付        | 団体名                       | 対象 | 人数  | スタッフ数 |
|----|------|-----|-----------|---------------------------|----|-----|-------|
| 1  | 修学旅行 | 大阪府 | 4月15日(火)  | 東洋きもの専門学校                 | 学生 | 11  | 1     |
| 2  | 授業   | 沖縄県 | 6月18日(水)  | ステップワールド日本語学院             | 学生 | 78  | 1     |
| 3  | 研修   | 岩手県 | 7月25日(金)  | 盛岡市・うるま市少年<br>ふれあい事業実行委員会 | 学生 | 16  | 1     |
| 4  | 研修   | 東京都 | 10月30日(木) | 武蔵野美術大学陶磁研究室              | 学生 | 34  | 1     |
| 5  | 研修   | 群馬県 | 12月17日(水) | (一財)群馬県遺族の会               | 一般 | 13  | 1     |
| 6  | 研修   | 東京都 | 1月27日(火)  | ワールド航空サービス                | 一般 | 16  | 1     |
| 合計 |      |     |           |                           |    | 168 | 6     |

多良間村立多良間小学校

5月30日(金)

日時：5月30日(金)9:00～10:00

対象：多良間村立 多良間小学校 6年生10名 5年生4名 引率4名 計18名

内容：博物館ボランティア4名 職員2名(計6名)



学校法人カトリック学園海星小学校

6月6日(金)

日時：6月6日(金)15:10～16:50

対象：学校法人カトリック学園海星小学校 6年生 25名 引率3名 計28名

内容：博物館ボランティア4名 職員2名(計6名)



国頭村立奥間小学校

11月27日(木)

日時：11月27日(木)13:00～14:00

対象：国頭村立奥間小学校6年生20名 引率4名 計24名

内容：博物館ボランティア4名 職員2名(計6名)

与那国町立与那国中学校

12月9日(火)

日時：12月9日(火)15:00～16:30

対象：与那国町立与那国中学校 2年生7名 引率3名 計10名

内容：博物館ボランティア4名 職員2名(計6名)

# 少人校ガイド ○○○立 ○○小学校(案)

日時 2025/○月/○日(○) 13:00～14:00 児童13名  
6名×2グループ

|               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| <b>《ポイント》</b> | ①沖縄の歴史・文化について<br>②昔の人々の衣食住について学びたい |
|---------------|------------------------------------|

|                       |                               | 13時                |    |    |    |    |    |    |       |                    |    |    |    |    | 14時         |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------|-------------------------------|--------------------|----|----|----|----|----|----|-------|--------------------|----|----|----|----|-------------|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|--|--|
|                       |                               | 0                  | 5  | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35    | 40                 | 45 | 50 | 55 | 0  | 5           | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 |  |  |  |  |  |  |
| 1班<br>児童6名<br>ボランティア2 | 博物館・美術館・トイレ休憩<br>オリエンテーション・移動 | 民俗・歴史・自然史 (25分)    |    |    |    |    |    |    | 休憩 5分 | 自由見学・ふれあい体験室 (25分) |    |    |    |    | エントランス集合・解散 | /  |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |  |
|                       |                               | 10                 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45    | 50                 | 55 | 0  | 10 | 15 |             | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 |    |    |  |  |  |  |  |  |
| 2班<br>児童7名<br>ボランティア2 |                               | 自由見学・ふれあい体験室 (25分) |    |    |    |    |    |    | 休憩 5分 | 民俗・歴史・自然史 (25分)    |    |    |    |    |             | /  |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |  |
|                       |                               | 10                 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45    | 50                 | 55 | 0  | 5  | 10 |             | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 |    |  |  |  |  |  |  |

**【解説・活動内容について】**  
 沖縄の歴史文化について  
 民俗部門展示での解説を多めの時間を配慮し、総合展示室ガイドほかのガイドも盛り込みます。

## 5 特別展・企画展関連事業

### (1) 特別展 「沖縄戦後 80 年 戦災文化財—失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡—」

会 期：2025 年 9 月 30 日（火）～ 11 月 30 日（日）

場 所：企画展示室、特別展示室 1・2

主 催：沖縄県立博物館・美術館



#### ①学芸員講座

「沖縄戦後 80 年博物館特別展『戦災文化財』の展示紹介」

日 時：10 月 11 日（土） 14:00～16:00

講 師：崎原 恭子（当館学芸員）

参加者：85 名

場 所：当館講堂

#### ②文化講座

「沖縄戦における首里周辺の部隊配置—日本軍の戦略の背景—」

日 時：10 月 18 日（土） 14:00～16:00

講 師：仲程 勝哉（沖縄県平和祈念資料館 学芸員）

参加者：130 名

場 所：当館講堂

#### ③特別講座

「沖縄歴史建造物保存百年史のなかの戦後建造物復元と貢献した人々」

日 時：10 月 26 日（日） 10:00～12:00

講 師：伊從 勉（京都大学 名誉教授）

参加者：76 名

場 所：当館講堂

#### ④特別講座

「琉米歴史研究会の足跡—沖縄戦の戦利品収集から文化財の返還まで—」

日 時：11 月 2 日（日） 14:00～16:00

講 師：喜舎場 静夫（NPO 法人琉米歴史研究会 理事長）

園原 謙（沖縄県文化協会 事務局長）

参加者：112 名

場 所：当館講堂

#### ⑤学芸員講座

「琉球ルネサンス—近代化、そして沖縄戦で失った文化を今この手に—」

日 時：11 月 8 日（土） 14:00～16:00

講 師：伊禮 拓郎（当館学芸員）

参加者：96 名

場 所：当館講堂

#### ⑥文化講座

「文化財返還の取り組みと帰ってきた御後絵」

日 時：11 月 15 日（土） 14:00～16:00

講 師：萩尾 俊章（沖縄民俗学会 会長）

濱地 龍磨（沖縄県教育庁文化財課 主任）

参加者：139 名

場 所：当館講堂

⑦特別講座

「写真が語る沖縄—沖縄戦前後の風景—」

日 時：11月24日（月・祝） 14:00～16:00

講 師：当山 昌直（（公財）沖縄県文化芸術振興会 嘱託員）

参加者：82名

場 所：当館講堂

⑧展示解説会

日 時：10月26日（日）15:00～16:00、11月21日（金）18:00～19:00

講 師：崎原 恭子（当館学芸員）

参加者：10月26日16名、11月21日11名

⑨特別公演

「お笑い米軍基地 in おきみゅー」

日 時：11月3日（月・祝） 14:00～16:00

出 演：FEC オフィス

参加者：200名

場 所：当館講堂

⑩おきげい出前コンサート

「琉球芸能鑑賞会～沖縄の歌と踊り～」

日 時：10月18日（土） 12:20～13:00

出 演：沖縄県立芸術大学音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻学生  
嘉数 道彦（同学科准教授）

場 所：エントランスホール

参加者：130名

⑪フィールドワーク

「首里の戦跡と戦災文化財の痕跡をめぐる」

日 時：11月23日（日）9:00～12:00

講 師：大城 直也、崎原 恭子（当館学芸員）

参加者：21名

対 象：小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）

場 所：那覇市おもろまち～首里

⑫パネル展

『沖縄県史 ビジュアル版 14 沖縄戦』刊行記念

主 催：沖縄県教育委員会（文化財課史料編集班）

共 催：沖縄県立博物館・美術館

会 期：10月28日（火）～12月7日（日）

場 所：3階講堂前ホワイエ

⑬『沖縄県史 ビジュアル版 14 沖縄戦』刊行記念シンポジウム

日 時：12月6日（土）13:30～16:30

主 催：沖縄県教育委員会（文化財課史料編集班）

共 催：沖縄県立博物館・美術館

場 所：当館講堂・博物館講座室

参加者：220名

## (2) 企画展 「いのちのカタチ展」—好奇心の標本箱—

会 期：2025年12月23日（火）～ 2026年2月23日（月・祝）

場 所：特別展示室1、企画展示室

主 催：沖縄県立博物館・美術館

### ①学芸員講座

「いのちのカタチ展—好奇心の標本箱—見どころ紹介」

日 時：1月10日（土）14:00～16:00

講 師：菊川 章（当館学芸員）

参加者：75名

場 所：当館講堂

### ②体験教室

「昆虫の標本をつくってみよう！」

日 時：2月8日（日）10:00～11:30

講 師：菊川 章（当館学芸員）

参加者：16名

場 所：博物館実習室

### ③バックヤード見学

「収蔵庫の標本たちを見てみよう」

日 時：2月8日（日）14:00～15:00

講 師：菊川 章（当館学芸員）

参加者：13名

場 所：博物館バックヤード

### ④展示解説

「いのちのカタチ展—好奇心の標本箱—展示解説会」

日 時：2月14日（土）11:00～12:00

講 師：菊川 章（当館学芸員）

参加者：15名

場 所：特別展示室1、企画展示室

### ⑤学芸員講座

「みんなの知らない『カイケイチュウ』の世界」

日 時：2月14日（土）14:00～15:00

講 師：新山 颯大（当館学芸員）

参加者：30名

場 所：当館講堂

### ⑥バックヤード見学

「収蔵庫の標本たちを見てみよう」

日 時：2月21日（土）11:00～12:00

講 師：菊川 章（当館学芸員）

参加者：12名

場 所：博物館バックヤード



⑦文化講座

「花に隠された仕掛け ― 身近な植物の送粉作戦」

日 時：2月21日（土）14:00～15:00

講 師：傳田 哲郎（琉球大学理学部 教授）

参加者：90名

場 所：当館講堂

⑧関連展示1

「なにそれ？ しらない！ 地味な虫」展

会 期：12月2日（火）～2月8日（日）

協 力：沖縄市立郷土博物館

場 所：エントランスホール

観覧料：無料

⑨関連展示2

「沖縄のオカヤドカリ展」

会 期：12月2日（火）～2月15日（日）

協 力：中城村護佐丸歴史資料図書館

場 所：エントランスホール

観覧料：無料

⑩関連展示3

「沖縄風俗画に描かれたいきものたち」

会 期：11月26日（水）～4月12日（日）

場 所：博物館常設展 美術工芸部門展示室

## 6 常設展に関する取組み

### (1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、約18,000枚（日本語版12,000枚、英語版6,000枚）を配布した。

### (2) 「沖縄2億年の歴史を1時間で旅するシート」

沖縄の歴史を短時間で伝えることを目的とした本シートは、約9,000枚配布した。観光客や県内のお客様、さらには、修学旅行生にも好評だった。

### (3) 博物館常設展示室ワークシート

常設展示室内で学芸員が特に見てほしい資料を紹介するため作成したワークシートは、全9種類約38,100枚を配布することができた。今年度は、展示室入り口のワークシートの設置方法を見直し、さらに、ふれあい体験室に設置することで、常設展との連携を試みた。さらに、夏休み前にボランティアと勉強会を行い、来館者の視点でワークシートの楽しみ方をスタッフと一緒に考える機会とした。

- 内 容：①「12匹のアタク（オキナワキノボリトカゲ）をさがせ」（生物①）  
②「飛べないとりのひみつ」（生物②）  
③「港川人のひみつ」（人類①）  
④「道具のひみつ」（考古①）  
⑤「よく見てサークルホールの化石」（地学①）  
⑥「石と友達になろう 石灰岩編」（地学②）  
⑦「沖縄の魔除けをさがせ！」（民俗①）  
⑧「三線のひみつ」（美術工芸①）  
⑨「銅鐘DOUSHOコレクション」（歴史①）

## 7 新聞・雑誌等掲載一覧

博物館で開催した教育普及の催事に関する新聞や雑誌における掲載は下記の通りである。

### ○ふれあい体験室

|   | 発行日       | 掲載媒体 | 局名    | 内容                                                          |
|---|-----------|------|-------|-------------------------------------------------------------|
| 1 | 7月25日(金)  | ラジオ  | ラジオ沖縄 | 「ユーグレーションタイム」<br>ふれあい体験室ワークショップ「キラキラ光る★<br>星座のキーホルダーづくり」の紹介 |
| 2 | 11月16日(日) | テレビ  | 沖縄テレビ | 「wake up ウィンウィン」<br>ふれあい体験室の紹介                              |
| 3 | 2月7日(土)   | テレビ  | 沖縄テレビ | 「ぐしけんさん」<br>ふれあい体験室の紹介                                      |

### ○移動展

|   | 発行日     | 掲載紙    | 掲載欄 | 内容                                               |
|---|---------|--------|-----|--------------------------------------------------|
| 1 | 2月6日(金) | 沖縄タイムス | 地域  | 「中学生、恐竜の骨格に驚き 11日まで 港川人<br>頭骨のレプリカも 恩納博物館で県博移動展」 |

## 8 印刷物一覧

| 回数 | タイトル                                                | 規格                  | デザイン        | 印刷                 | 部数    |
|----|-----------------------------------------------------|---------------------|-------------|--------------------|-------|
| 1  | 文化講座チラシ (12回)                                       | A 4 (片面カラー)         | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック<br>館内手刷り | 6,000 |
| 2  | 学芸員講座チラシ (12回)                                      | A 4 (片面カラー)         | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック<br>館内手刷り | 6,000 |
| 3  | 体験学習教室 (3回) *民話上映会含む                                | A 4 (片面カラー)         | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 500   |
| 4  | 「夏休み! こどもフェスタ2025」チラシ                               | A 4 (両面カラー)         | 古味 竜一       | (株)グラフィック          | 2,500 |
| 5  | 「第16回 移動展in恩納村」チラシ                                  | A 4 (両面カラー)         | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 1,500 |
| 6  | これだけは見逃すな! (日本語)                                    | A 4 (両面カラー)         | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 1,600 |
| 7  | これだけは見逃すな! (英語版)                                    | A 3 (両面カラー)         | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 0     |
| 8  | 博物館常設展ワークシート (生物1)<br>「12匹のアタク (オキナワキノボリトカゲ) をさがせ!」 | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 5,000 |
| 9  | 博物館常設展ワークシート (生物2)<br>「日本で唯一 飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」      | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 3,000 |
| 10 | 博物館常設展ワークシート (人類1)<br>「港川人を解析せよ」                    | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 3,000 |
| 11 | 博物館常設展ワークシート (地学1)<br>「よく見てサークルホールの化石」              | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 5,000 |
| 12 | 博物館常設展ワークシート (地学2)<br>「石と友達になろう」                    | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 4,000 |
| 13 | 博物館常設展ワークシート (考古1)<br>「道具を探せ」                       | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 4,000 |
| 14 | 博物館常設展ワークシート (美術工芸1)<br>「三線のひみつ」                    | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 5,000 |
| 15 | 博物館常設展ワークシート (民俗)<br>沖縄の魔除けをさがせ!                    | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 3,000 |
| 16 | 博物館常設展ワークシート (歴史1)<br>「銅鐘DOUSHOコレクション」              | A 4<br>(両面カラー・二つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 4,500 |
| 17 | 沖縄戦後80年「戦災文化財-失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡-」展覧会マップ            | A 3<br>(両面カラー・四つ折り) | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 4,000 |
| 18 | 沖縄戦後80年「戦災文化財-失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡-」ワークシート8種          | A 6<br>(両面カラー)      | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 8,000 |
| 19 | 「いのちのカタチ展-好奇心の標本箱-」<br>ワークシート                       | B 5<br>(片面モノクロ)     | (一財)沖縄美ら島財団 | (株)グラフィック          | 5,000 |

令和7年度  
沖縄県立博物館・美術館  
**博物館教育普及活動**  
2026（令和8）年3月

---

発行 沖縄県立博物館・美術館  
〒900-0006  
那覇市おもろまち3丁目1番1号  
Tel (098) 941-8200（代表）  
Fax (098) 941-2392

編集 沖縄県立博物館・美術館 博物館教育普及  
沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

制作 企画印刷 ハーツ